

農林漁業就業・ふるさと情報

イジュウインフォ

iju
info

Free
Magazine
無料

2007 | 冬号 | No. **08**
<http://web-iju.info/>

特集1

100年先にとどける仕事 林業就業へのガイダンス

特集2

研修
Style Catalog

特集3

北陸地方の
IJUライフ

無料送付登録



web-iju.info/i

ここから始まるI・J・Uターン

「人類の生命維持装置」＝農業」に 「環業革命」を興すべき時だ

山根 一眞

「農業」は英語で「agriculture」と書く。これは「agri」と「culture」の合成語。「agri」はラテン語の「ager」の複数形「agri」が語源で、意味は「原野」「土地」だ。一方、「culture」は「文化」と訳されるが、その語源はラテン語の「cultura」（耕す）だ。

人類は森林を伐採して耕地を作り、そこで農業を営むことで、安定的に食糧を得て生命の持続を可能にし、今日の繁栄を手にした。生命の維持を狩猟採集に頼っていただけでは、今の人類の繁栄は得られなかっただろう。だからこそ、その「農業」という人類の営みの努力で築いてきた世界を「文化＝culture」と呼ぶようになったのだろう。

漁業は自然生命資源の「狩猟採集」という

略奪に頼っている部分が多いし、林業も熱帯雨林の伐採利用のように自然略奪がまだ続いている。漁業では養殖などを「農業型」と呼び、また林業での「植林」も「農業型」であることを思うと、人類が続けてきた「農業」は人類の生命維持行為としてきわめて進んだものということが出来る。という農業だが、必ずしも望ましい文化を築いてきたわけではない。私たちの文明が大きな変換点を迎えたのは18～19世紀の産業革命だ。石炭という化石燃料をエネルギー源に鉄を効率的に作り、その鉄で作る機械によって人力に頼っていた仕事の機械化を果たした。工場に置かれた大型の蒸気機関は3000人分の仕事をこなし、精密な紡織機械は繊維製品の大量生産を実現した。その繊維製品によって世界を巻き込む商



やまね・かずま

ノンフィクション作家。1947年東京生まれ。獨協大学外国語学部卒業。環境問題を中心に世界各地で取材執筆を続け、温暖化危機を訴える講演は500回を超える。イリオモテヤマネコなど野生動物を通じて生物多様性を探る取材では、現地で功労勲章などを受章。週刊誌対談「メタルカラーの時代」では、日本のモノづくり技術者の貴重な証言記録を残し、東京クリエーション大賞で個人初の大賞を授賞した。著書に『環業革命』（講談社）、『メタルカラー 伝温暖化クライシス』（小学館）、『賢者のデジタル』（マガジンハウス）など多数。山根一眞オフィシャルサイト <http://www.yamane-office.co.jp/>

品取引市場が生まれ、資本主義経済が誕生する。モノだけで動いていた経済がカネで動く世界を作り、都市という消費世界を拡大させていったのである。

こういう工業化を支え、促進したのが農業だったことを忘れてはいけない。英国で繊維産業によって始まった産業革命を支えたものは、アメリカの綿花栽培だったからだ。1790年、アメリカ南部の綿花の生産高は4000バールにすぎなかったが、

1880年には約380万バールに達している。アメリカは農業国として、工業先進国、英国に輸出する綿花で外貨を稼ぎ、国力を蓄えていったのである。このアメリカの富の源泉である綿花栽培という「農業」は、実は今日のアメリカ最大の社会問題をもたらすことになった。綿花栽培に従事したのは、アフリカから強制的に連れて来られた黒人奴隷だったからだ。その数は、1790年には約70万人だったが、1880年には400万人に達している。

工業といえども原料は自然産品であり、農業は工業を支える大きな要素を占めている。だからこそ、農業はいつの時代にあっても工業の盛衰に振り回されてきたのである。今、農地で栽培するトウモロコシやサトウキビがバイオエタノールの原料としてもはやされるようになり、食用のトウモロコシの生産が減少、畜産農家にとっては飼料の値上がりが直撃、食品の値上がりが著しい。本来、人が命を維持するために食べてきた農産物を、人の代わりにクルマに食わせるというねじれが起こってしまっている。これは、産業革命時代にカネ産みマシンと化した繊維産業にひきずられた綿花栽培と、どこか通じるものがある。そこに共通するものは、「工業が主で農業が従」という序列関係が続いているからではないかと思う。

もちろん、より稼げる農業へ人々がなびくのは当然のことだが、利益だけを、成長のみ

を求める経済は地球温暖化という人類存亡の危機をもたらしたため、今、その流れを変えねばならない時代を迎えている。地球温暖化の進展は、食糧生産の大減産をもたらす。人類の生命維持装置としての農業は、他産業にふりまわされることのない、自立したありようが求められていると思う。

なのに、日本の農業政策は明確な思想をもたぬままで、日本の食糧自給率は下降の一途をたどっている。自殺者まで出した農水大臣の連続辞任は、その象徴と思う。政策に振り回されることばかりの農業だが、「人類の生命維持装置」という原点に還れば、農業がすべき課題は山とある。農業政策はだらしなさすぎるが、工業の世界でも政策がよかつたから日本が工業立国になれただけではない。それは、企業が、技術者たちが、たゆまぬ工夫や努力を積み重ねてきた結果なのである。政策が悪いというだけで逃げてはいけない。

日本が食糧自給率100%になるにはどうすればいいのか、温暖化が著しく進展しても農業が「人類の生命維持装置」であり続けるにはどうすればいいのか、工業など他産業との望ましいコラボレーションはどうあるべきなのか。今、農業者の思いこそが日本人の、世界の人々の生命の盛衰を握っているのである。産業革命に匹敵する新しいエコ時代を考えた産業革命を、私は1997年に「環業革命」と命名したが、農業にこそこの「環業革命」を興してほしいと願っている。

Diver of life — 探求者 — 「人類の生命維持装置＝農業」に「環業革命」を興すべき時代 山根一眞

10 農園歳時記 第6回 百姓稼業とは「九苦に一笑」 中村顕治

03 特集1 林業 100年先にとどける仕事 林業就業へのガイダンス

- 04 自然のなかで働くって、気持ちいい！ 緑の研修生として修行中 岩手県葛巻町 葛巻町森林組合 和田幸一さん 佐藤康さん
- 05 彼女と森林の仕事ガイダンスへ 結婚を機に転職 和歌山県古座川町 南紀森林組合 千井芳孝さん
- 06 林業を見る、聞く、交流する 林業見学・交流ツアー／林業を学ぶ、覚える、試す 林業就業支援講習
- 07 森林を守る担い手を支援 緑の雇用担い手対策事業
- 08 森林の仕事ガイダンス「歩き方」と「100%活用法」
- 09 平成19年度 森林の仕事ガイダンス インフォメーション

11 特集2 研修 Style Catalog

- 12 酪農のメッカで酪農家を養成 北海道別海町 (有)別海町酪農研修牧場
- 13 酪農家夫婦24組が育った酪農の町の研修牧場 北海道浜中町 (有)浜中町就農者研修牧場
- 14 イチゴ栽培が柱 地域一体の就農支援 山口県山口市 山口市徳地チャレンジ農場
- 15 「主役は研修生・目的は就農」自由に学びあう校風が高知流 高知県四万十町 高知県立農業大学校
- 16 移住・就農に欠かせない地元農家との架け橋に 熊本県阿蘇市 阿蘇東部高冷地域担い手育成対策推進協議会

17 特集3 北陸地方のIJUライフ

- 18 念願かなえた空き農家・農地バンク 石川県羽咋市 武藤一樹さん
- 20 観光農園+カフェ 新しい形を創る 富山県氷見市 上野達也さん
- 21 農業後継者を育てる町ぐるみの農業法人 福井県若狭町 (有)かみなか農業舎
- 22 合掌造りの里で山の達人に教わる 富山県南砺市 五箇山森林組合 山岸弘美さん 表紙の人
- 23 「食べる物を捕る」シンプルな生き方が性に合う 新潟県上越市 名立漁業協同組合所属 今井靖さん
- 24 「トキの里においてよ」地元の情熱でスピード就農 新潟県佐渡市 津田政明さん
- 25 北陸地方I・J・Uターン情報

29 農林漁業・ふるさと情報

- 30 千葉から鹿児島へ 生涯現役の仕事求めて 鹿児島県志布志市 宮崎邦博さん
- 32 丹精した苗が花をつける それが一番の喜び 大阪府八尾市 藤田植物園 坂東成登司さん
- 33 入社4年目 鶏のことがわかり始めた 熊本県菊池市 (有)コッコファーム 寺村奈津子さん
- 46 山主の希望に沿った山づくりを 京都府京都市 京北森林組合 楓和宏さん
- 48 潜海漁と定置網漁 両立を目指して 山口県萩市 山口県漁業協同組合 大島支店所属 上原正樹さん
- 50 人柄写す家具のフォルム 沖縄県那覇市 阿部誠司さん
- 52 互いに学び かけがえのないものを得る 山形県高島町 たかはた共生塾「まほろばの里農学校」
- 54 トップランナーの視野【農業】 東京都練馬区 農業体験農園「緑と農の体験塾」 加藤義松さん
- 56 トップランナーの視野【林業】 佐賀県佐賀市 富士大和森林組合組合長 松原秀さん
- 58 トップランナーの視野【漁業】 富山県魚津市 魚津漁業協同組合参事 浜住博之さん

28 データで見る新規就農①

34 新・農業人フェア'07の歩き方

42 データで見る新規就農②

43 農業経営者になれる「力」をたくわえ全国に羽ばたこう！
農業者大学校

44 サイエンス◎本当に土は生きているの？

45 ご存じですか？ 農業共済

60 Voice iju info 読者コーナー

62 農業就業ガイド

64 林業就業ガイド

66 漁業就業ガイド

68 I・J・Uターンガイド

70 iju infoサポーター

72 from Editor

広告

26 北陸地方各県農業会議

27 新潟県新規就農相談センター／
六星／富山県農林水産公社

36 地方就職支援センター

37 しまね農業振興公社

38 やまぐち農林振興公社

39 阿蘇エコファーマーズセンター／鳥取県立農業大学校

40 全国農村青少年教育振興会

41 北海道幕別町／北海道天塩町

読者コーナー
お便り大募集！
詳しくは60ページを
ご覧ください。

100年先にとどける仕事 林業就業へのガイダンス

木材となる木を植え、育て、森や山を守るのが、林業の主な仕事だ。機械化が進んだ現在でも、必要なのは技術や知識。これを得るためのさまざまな支援が、国の制度として用意されている。林業という職業を知りたい人は「林業見学・交流ツアー」に参加してみよう。しっかり学び、将来につなげたい場合は「林業就業支援講習」が用意されている。また、林業の就業フェアである「森林の仕事ガイダンス」は、業界の現状を知りたい人から就職の相談をしたい人まで、林業に興味ある、あらゆる人に役に立つはずだ。森林での仕事。その扉は開かれている。

林業就業への
ステップ

相談

体験

就業
+
緑の研修生
になる

Interview 01 自然のなかで働いて、気持ちいい！ 緑の研修生として修行中

岩手県葛巻町 葛巻町森林組合
和田 幸一さん 佐藤 康さん

平成19年度
緑の研修生



和田さん（左）と佐藤さん（右）

緑の高原でのんびりと牛が草を食む。標高400mの山々に風が吹き抜ける。北上山系に抱かれた岩手県葛巻町。今年6月、森林組合の作業班に町外出身の2名が加わった。Iターン・Jターンで移り住み、緑の研修生として第一歩を踏み出した。

山を守る使命感

「仕事を終えた後の肉体的な疲労感が快いんです」と、はにかんだ笑顔を見せる佐藤康さん（31歳）は岩手県滝沢村出身。東京の歯科技工専門学校を卒業し、歯科技工士として勤めた後、ニュージラントへ留学したり、フリーター生活を送ったりしていたが、30歳を機に、故郷へ帰って自然のなかで働こうと決意。興味をもっていた林業で就職先を探していたところ、知り合いに紹介された葛巻町森林組合で緑の研修生として採用されることになった。

直前に受けた林業就業支援講習では座学と実地で学んだが、このなかでとくに印象に残ったのが日本の林業がおかれている現状。「荒れていく山を守るために自分の力が役に立つ、必要とされていると感じましたね」と使命感をにじませる。

作業班では、仕事には厳しいが兄貴のように面倒見のいい班長に付いた。覚悟はしているが想像以上にハードな作業。3カ月で体重が7kgダウン

ンしたが、先輩からは「ちよūdい体付きになったな」と肩をたたかれる。木を切ったり、枝を落とすのに大きな力はいらない。必要なのは体を上手に使うコツ。あとは経験を積んで覚えていくしかない。「都会で暮らしていたころに比べて、心身とも健康になりました」と弾む声から、充実した毎日が伝わってくる。

山の知恵を授かる喜び

「チェーンソーを止めると、小川のせせらぎや鳥の声、風の音が耳に入ってくるんです。それが、とても心地いい」と山で働く魅力を語る和田幸一さん（36歳）は、三重県出身。京都の大学を卒業後、モスクワ国立大学、東京大学大学院修士課程、博士課程と進学し、ロシア文学を究めてきたが、自らの将来について決めかねていた。

一方、東京での生活が長くなるにつれ、都会の喧騒から逃げ出して静かな山のなかで過ごす時間が増えていった。旅費稼ぎでアルバイトを繰り返すうちに「だつたら山で働けば一石二鳥！」と思い立つ。もともと体を動かすのは好きだし、いろんな道具を使いこなす林業へのあこがれもあった。「もはや東京にいる意味はない」。今年3月に開催された「森林の仕事ガイダンス」で岩手県を希望したのは、旅先での印象がとてよく、担当者が親身に相談に乗ってくれたから。「できるだけ自然が多く残っているところ」という条件にもなっていた。

作業班の一員として山に入ると、毎日いろんな発見がある。「道具を持った時

の体の使い方を覚えるのも楽しいですし、仕事以外でも、先輩たちがいるんな山の知恵を授けてくれる」と瞳を輝かせる。「将来は？」の問いかけには「今やれることを着実にやっていくだけです」ときっぱり。そこに確かな道が続いていた。

真夏の太陽が照りつけるなかでの下草刈りはかなりきつい。慣れないうちは、一気に体力を消耗する。だから、お盆休み明けが一つの正念場となり、ここでダウンする人も少なからずいる。しかし、佐藤さんと和田さんの意欲は増すばかり。「まだまだ身に付けることがたくさんあるんです」と、今日もそれぞれ作業班で山に入る。



この日の作業は除伐採

葛巻町森林組合参事 竹川高行さんのコメント

緑の雇用で町外出身者を受け入れたのは今回初めてです。山の仕事は修得までに時間がかかりますから、5年先、10年先を見据えた上で採用しました。和田君も佐藤君も向上心があって吸収が早い。この若い力を生かして、森林組合全体を引っ張っていきけるチームをつくっていききたいですね。

Interview 02

彼女と森林の仕事ガイダンスへ 結婚を機に転職

和歌山県古座川町 南紀森林組合
千井 芳孝さん

緑の研修生
OB



仕事を終えた表情には満足感が漂う

緑の雇用 一期生で就業

紀伊半島の最南端に広がる古座川町は、町の中心部を清流、古座川が流れる。温暖で湿潤な気候のため、昔から良質の材木（古座川材）を産出してきた。

千井芳孝さん（37歳）は、第1回「緑の雇用」制度を利用して林業に就業、この町にIターンして5年目を迎える。

「以前は大阪府内で空調機器関係の仕事をしていました。仕事が深夜まで及びストレスがたまって、これではいけないと思います、あこがれていた田舎暮らしを決意しました」

間伐や枝打ち後の山に感動

転職前、千井さんは交際している女性があった。現在の奥さんである美代さんだ。

ある時、新聞で森林の仕事ガイダンス（就業フェア）の情報を知った千井さんは、美代さんを誘って会場を訪れた。何度かこうしたことを繰り返した後に、思い切った林業に就きたいと真剣に考えていることや将来の夢、生活設計を打ち明けた。

「転職は冗談だと思っていたので、最初は驚くと同時に不安もありました。けれども自分の夢を熱心に語る情熱としっかりした考えに、私は彼について行くことを決心しました」と、美代さん。こうして二人は結婚、古座川町に移住した。

千井さんが古座川町を知ったのは、フェア会場で終了間際に和歌山県ブースに飛び込んだからだ。その後送られてきた資料から、近畿圏で就業したいという条

件にぴったりの南紀森林組合があり、古座川町移住を決めた。

「山での仕事は、大阪時代と違って体は疲れるがストレスがありません。また、

間伐や枝打ちした後山がきれいになって達成感があります。あの山はおれが間伐

したんだと家族に自慢できます」と、千井さんは現在の充実ぶりを力強く語る。

毎日、朝7時に山に入り、夕方の4時ごろ仕事を終える。冬に地ごしらえをして春に苗を植え込み、夏に下草刈りをして秋に間伐や枝打ちをするというのが年間のスケジュール。しかし今は、国の環境対策である治山事業が主な仕事。間伐が作業の中心となっている。

多くの人にとってほしい 林業の大切さ

以前は、遠くから眺めてきれいな山林



整備された森林が古座川の清流を保っている



一本一本厳しく選別して間伐をする千井さん

だと思っていた山が、入山してみると、あまりに荒廃していることに驚かされた。そして、林業が本当に大切な仕事であり、国土を保全するために重要な産業であるか、認識を新たにした。この大切な林業をもっと多くの人に知ってほしいと強調する。

千井さんに、これから林業を目指す人に向けてのアドバイスを求めると、「田舎暮らしにあこがれるだけではダメ。なぜ、林業に従事したいのか？ 林業に従事しながらなにをしたいのか？ というビジョンをもたないと長続きしない。僕自身も、地元消防団に入団し、自宅でいろんな野菜を栽培するなど、たくさんの方にチャレンジしています」と、たくましく日焼けした笑顔で答えてくれた。

寺田展治組合長のコメント

就業者支援対策として、組合を通して町が住宅のあっせんや、家族（奥さん等）への仕事の紹介も行っていきます。



TOUR

林業を見る、聞く、交流する 林業見学・交流ツアー

体験

全国森林組合連合会（全森連）では、土日を中心に1～2日間、林業の現場を体感できる「林業見学・交流ツアー」を行っている。林業への興味を抱いたら、迷わず申込書に記入を。そして、ぜひ参加してみよう！

●問い合わせ／林業見学交流ツアー事務局

TEL：03(6826)6089 URL：http://www.nw-mori.or.jp/tour

全国林業労働力確保支援センター TEL：03(3294)9713

林業見学・交流ツアー 平成19年度開催日程

| 平成19年春(終了) | | |
|------------|--------------|--------------------|
| 茨城県 | つくばね森林組合 | 2007年6月2日～3日 |
| 福井県 | 名田庄森林組合 | 2007年6月9日～10日 |
| 山梨県 | 北都留森林組合 | 2007年6月16日～17日 |
| 佐賀県 | 富士大和森林組合 | 2007年6月30日～1日 |
| 宮城県 | 栗駒高原森林組合 | 2007年7月7日～8日 |
| 平成19年秋(予定) | | |
| 三重県 | 森林組合おわせ 速水林業 | 2007年9月29日～30日(終了) |
| 山梨県 | 富士北麓森林組合 | 2007年10月20日(終了) |
| 埼玉県 | 秩父広域森林組合 | 2007年10月27日(終了) |
| 愛知県 | 豊田森林組合 | 2007年11月10日～11日 |
| 神奈川県 | 小田原市外二ヶ市町組合 | 2007年11月17日 |

●参加料：2日間＝3000円、日帰り＝無料（集合場所までの交通費は自己負担）

林業の仕事を知るには？

林業の仕事とは、山林所有者に代わって森や木の管理をしたり、木材の加工をしたりする仕事。山のなかの作業となるため、林業の仕事を目にする機会は少ないのが現実だろう。そのため全森連では「林業に興味がある」人や林業に就業しようと思っている人たちを対象として、春と秋、全国の森を舞台に「林業見学・交流ツアー」を実施している。日程は、日帰りまたは、2日間。質のよい木材を生産するための「枝打ち」や、木の成長を妨げる雑草等を取り除く「下刈り」など、林業の仕事を体験したり、伐採や加工現場を見学したりすることができる。ツアーのインストラクターを務めるのは林業の現場で働く人たち。イターン者や異業種からの転職者も多く、こうした先輩との交流も貴重な情報収集の場となるだろう。

LECTURE

林業を学ぶ、覚える、試す 林業就業支援講習

体験

上記ツアーが林業を知る入口だとしたら、林業現場での仕事を体験できる「林業就業支援講習」は、森林の担い手になる第一歩。林業就業に向けた意識が目覚めたら、次のステップとしてチャレンジしてみたい。

●問い合わせ／全国林業労働力確保支援センター

TEL：03(3294)9713 URL：http://www.nw-mori.or.jp

都道府県林業労働力確保支援センター（連絡先は65頁参照）

林業就業支援講習 平成19年度実施予定

| | | | |
|-----|--------------|------|------------|
| 北海道 | 10月下旬～11月上旬 | 福井県 | 平成20年2月～3月 |
| 青森県 | 11月下旬～12月上旬 | 山梨県 | 10月～12月 |
| 岩手県 | 10月16日～11月8日 | 静岡県 | 10月～11月 |
| 宮城県 | 10月～11月 | 三重県 | 10月～11月 |
| 秋田県 | 11月 | 大阪府 | 10月～11月 |
| 福島県 | 10月～11月 | 奈良県 | 11月～12月 |
| 茨城県 | 11月 | 和歌山県 | 11月～12月 |
| 栃木県 | 11月 | 香川県 | 11月下旬 |
| 群馬県 | 10月2日～10月26日 | 高知県 | 11月～12月 |
| 東京都 | 10月～11月 | 熊本県 | 11月 |
| 新潟県 | 11月～12月 | | |

●講習料：無料（現地までの交通費、宿泊費、食費は自己負担）

林業を体験するには？

木の幹や枝を切るチェーンソーやノコギリ、下草を刈る刈払機など、林業はさまざまな道具を使って仕事をする。林業への転職を考えた時、こうした道具を使った技術を習得していることが就職に有利に働く。また、いきなり林業に飛び込む前に、できるだけ不安や疑問を解決しておきたいと考える人もいるだろう。そこで「林業就業支援講習」が用意されている。「林業への就業を希望する人」を対象に、国の支援を受けて各都道府県の「林業労働力確保支援センター」が主催している。期間は20日間。前半は、座学と道具の操作実習で、後半は、実際の作業現場に出て技術の習得を図る。また、研修終了の前日には、個別に就業・生活相談も行われ、本格就業を目指す人に手厚い内容となっている。

PROGRAM

もり
森林を守る担い手を支援

緑の雇用担い手対策事業

もり
森林を守る担い手不足解消の切り札としてスタートした「緑の雇用事業」は、林業経験のない人に林業就業に必要な技術・技能を習得するための実地研修などを行っている。制度の仕組みや条件、利用方法を紹介しよう。

●問い合わせ／全国森林組合連合会

TEL : 03(3294)9712 URL: <http://www.ringyou.net/>



緑の担い手への支援って？

最近の田舎暮らし志向を背景に、林業に就きたいというI・J・Uターナー者が増えてきている。ところが、I・J・Uターナー者は林業の経験が「まったくない」という人がほとんど。林業はさまざまな道具を使いこなせない仕事にならないし、伐採した木材を集めて運搬するには大型の高性能機械を操作する必要も出てくる。一方、森林組合など林業事業体は、時間と費用をかけてじっくり人材育成するのが難しいという実情を抱えている。

こうした状況を受け、国がスタートさせた制度が「緑の雇用事業」。緑の担い手を育成する林業事業体を支援するため、事業体が新規就業者を雇い、規定の研修を実施する場合、事業体に一定額が助成される。またこの制度を利用した新規就業者を「緑の研修生」と呼んでいる。支援が受けられるのは、通常1年間となる。

緑の研修生になるには？

「緑の研修生」になるには、林業事業体に「雇用されていること」が必須条件。助成は給料を支払う事業体に対して行われ、その



際、林業就業の支援窓口である「林業労働力確保支援センター」やハローワーク、学校など公的な機関を通じて事業体に採用されていないなければならない。

どこに聞けばいい？

「緑の研修生」になるには「林業労働力確保支援センター」を通ずるのが手取り早い。同センターは、緑の担い手を確保、支援するための公的機関で、都道府県別にセンターが置かれ、全国センターの事務局は全森連内に置かれている。林業の雇用動向に詳しく、情報をたくさんもっていて、頼りになる存在だ。

また、全森連では緑の担い手となる人を総合的に支援する就業フェアとして「森林の仕事ガイダンス」を開催している。「緑の研修生」を目指すにしても「どこで働くか」は重要な問題。ガイダンスでは、全国のセンターが結集しているため、一度に幅広い情報を集めることができる。
詳しくは次ページで！

林業就業へのステップ

Step 1 相談

- 森林の仕事ガイダンス：秋から冬にかけて、全国主要都市で開催
- 各都道府県林業労働力確保支援センター：随時相談を受け付け

Step 2 体験

- 林業見学・交流ツアー：春と秋、全国で開催される1～2日のツアー
- 林業就業支援講習：主に秋、全国の林業労働力確保支援センターが行う20日間の講習

Step 3 就業+緑の研修生

- 緑の研修生：林業労働力確保支援センターなどを通して就職すると林業の技術・技能を習得するための研修を受けられる

How To もり 森林の仕事ガイダンス 共同説明会 「歩き方」と「100%活用法」

相談



全森連では緑の担い手を目指す人を総合的に支援する就業フェア「森林の仕事ガイダンス」を全国で開催している。就職の相談だけでなく、さまざまな周辺情報を得られる催しなので、気軽に立ち寄ってみよう！

「森林の仕事ガイダンス」は、各地域の林業労働力確保支援センター、森林組合などの林業事業者が参加し、ブースを設けて求人情報を提供したり、相談に応じたりする就業フェアのこと。会場は、入場無料、入退場自由、服装自由、履歴書不要、家族や友人連れ歓迎！ イベントも行われるなど、森の仕事への就業にまつわる多彩な催しとなっている。

会場の歩き方



受付をし、相談票を記入しよう

受付をし、資料を入手したら、「相談票」を記入しよう。「相談票」は、各ブースで質問などをする時の、自らの基本情報となる。

オリエンテーションを受けよう

「相談票」に記入し終わったら、各ブースやコーナーの案内が聞けるオリエンテーションを受けよう。映像による「森林の現状」や「就業までの流れ」の説明もある。

いざ、相談ブースへ！

ブースは、都道府県・研修生・全森連ブースの3種類。都道府県ブースは、新規雇用予定の県内事業者の情報や、地域の林業、県レベルでの支援内容などが聞け、生活面の相談にも乗ってくれる。働きたい地域がハッキリしている人は、目指す地域の相談ブースへ直行を！ 研修生ブースとは、前ページで紹介した緑の研修生によるブース。全国から集まった先輩たちから貴重なアドバイスがもらえるはずだ。全森連ブースは、総合的な相談窓口。「緑の雇用」など支援制度の説明や、出展県の大まかな内容が聞ける。

ステージやイベントを見聞

「森林の仕事ガイダンス」と銘打っているように、会場は、相談ブースだけではない。ステージでは研修生や事業者のトークショーが繰り広げられ、間伐材（間引きした木）を利用した製品や、林業で使う道具の展示、チェーンソーアートの実演など、多くのイベントや展示が満載。見て、聞いて、触って、たくさんの「旬」の情報を集めよう。

アンケートを記入しよう

「森林の仕事ガイダンス」は森の仕事に興味をもつ人を支援する場。来場者の生の声がとても役に立つ。帰る前にはぜひ、アンケートに協力してほしい。

さまざまな「生の声」が繰り出された。たきつけかけや、実際に働いてみた実感など、のび。研修生からは、森で働くようになった。



ステージでは、女優でレポーターの葛城奈海さんの司会による、緑の研修生・事業者によるトークショーを1日2回開催（東京・大阪会場）

緑の研修生がトークショー

平成18年度の様子



チェーンソーアートとは、木を切るチェーンソーで丸太を彫刻する芸術。東京・大阪会場では、緑の研修生OBで奈良県吉野の梶谷哲也さんが自慢の腕前を披露した。また梶谷さんによるトークショーも開催され、森を舞台とするラ イフスタイルや林業のことが語られた。

チェーンソーアート実演

多彩な製品が紹介された。また、森林の果たす役割を表したパネル、図書、緑の研修生の服装・道具など多面的に情報が提供された。



会場ではイベントだけでなく森の仕事に関する展示も充実。間伐材（間引きした木）を使った木製品コーナーでは、イスやテーブル、文具など

情報満載の展示コーナー



INFORMATION

平成19年度 もり 森林の仕事ガイダンス 共同説明会 インフォメーション

「森林の仕事ガイダンス」が、今年も秋から冬にかけて開催される。東京、大阪、宮城、福岡の主要4都市のほか、全国各地でその地域の情報を中心に開催。平成18年度同様、多彩なイベントで緑の担い手を目指す「君を」応援する！

主催：全国森林組合連合会

お問い合わせ

森林の仕事ガイダンス事務局

TEL：0120 (974) 450 (月～金曜 10時～17時)

詳細はホームページで！

URL：http://www.ringyou.net/



入場無料

服装自由

履歴書
不要

家族友人
連れ歓迎

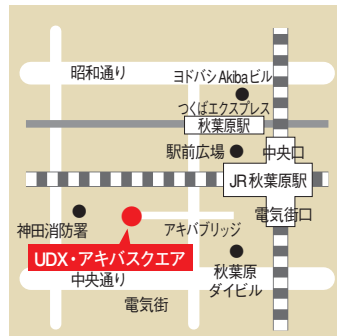
入退場
自由

TOKYO

●東京会場

平成20年2月1日(金) 12:00~17:00 ~ 2日(土) 10:00~16:00
アキバスクエア

- JR山手線秋葉原駅
電気街口より徒歩2分
- 地下鉄銀座線末広町駅
1・2番出口より徒歩3分
- 地下鉄日比谷線秋葉原駅
2・3番出口より徒歩4分
- つくばエクスプレス秋葉原駅
A1出口より徒歩3分
- 駐車場：秋葉原UDXパーキング(有料)



OSAKA

●大阪会場

平成20年1月18日(金) 12:00~17:00 ~ 19日(土) 10:00~16:00
大阪ビジネスパーク
円形ホール

- JR環状線・東西線京橋駅
西口改札より徒歩5分
- 京阪本線京橋駅
片町口改札より徒歩5分
- 地下鉄長堀鶴見緑地線大阪ビジネスパーク駅
4番出口より徒歩1分
- 駐車場：ツイン21パーキング
ほか(有料)

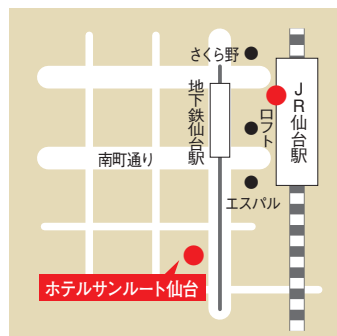


MIYAGI

●宮城会場

平成19年11月26日(月) 12:00~17:00 ~ 27日(火) 10:00~16:00
ホテルサンルート仙台
(相談会場)
JR仙台駅2階中央コン
コース (イベント会場)

- ホテルサンルート仙台 (相談会場)：
JR仙台駅西口より徒歩5分
- 駐車場：ホテルサンルート (有料)



FUKUOKA

●福岡会場

平成19年11月9日(金) 12:00~17:00 ~ 10日(土) 10:00~16:00
イムズホール

- 地下鉄天神駅
13番出口より徒歩3分
- 西鉄天神駅より徒歩3分
- 駐車場：イムズパーキング (有料)



各府県でも単独・共同開催を致します。

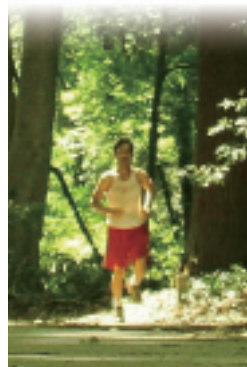
- 富山県／富山県民会館 (富山市) 平成20年1月20日
- 福井県／福井県林業総合センター (福井市) 平成20年1月
- 長野県／塩尻市総合文化センター (塩尻市) 平成20年1月
- 愛知県・岐阜県／桜華会館 (名古屋市) 11月18日
- 静岡県／静岡県総合研修所もくせい会館 (静岡市) 10月27日

- 三重県／メッセウイングみえ (津市) 11月10日
- 京都府／平成20年2月中旬
- 奈良県／ならまちセンター (奈良市) 平成20年2月末～3月上旬予定
- 高知県／平成20年1月下旬～2月上旬
- 熊本県／平成20年1月下旬

お問い合わせは、各府県林業労働力確保支援センターへ (65頁参照)

百姓稼業とは 「九苦に一笑」

中村 顕治



愛惜。それは、大いにもがき、苦し
み、その合間に小粒でもピリツとし
た、山椒みたいな喜びと高揚がある、そ
んなところに生じるようだ。かつ愛惜の
情は不意。燃え盛る残暑のなか、ポット
にまいた白菜が、今朝ふと気付けば黒土
の下から薄緑の葉をのぞかせているよう
に、過ぎ去った時への愛しさもまた、百
姓の心に不意に芽生える。

気温17度の月の夜。激しく、苦しかつ
たあの夏を、僕はいま愛しく思っている。
日照時間は平年の半分。ナスもピーマン
も肥大せず、雑草だけが旺盛に伸びる。「野
菜異常高値」がテレビでしきりと伝えら
れる7月だった。



5時に荷物を出すと同時に畑
に走った。キュウリも里芋も生
姜も水を欲しがっていた。40メ
ートルのホースが届かない所は

8月1日梅雨明け。ああ待ち焦がれた
太陽よ。しかしまさか、あんなシナリオ
になっているとはなあ。梅雨明け後の気
温は、今日は昨日より高く、明日は今日
よりさらに高い。ついに39度を越えた。
3分闘って1分休むボクサーのごとく、
ワン作業ごとに水を浴び、僕は畑でフア
イティングポーズを取った。

目覚めた瞬間の疲労感は一瞬ゴキブリホ
イホイにからまったような粘り。そ
れでも36年続けている朝のジョギングを
休まなかった。わが子ほどの年齢の男性
がそのジョギング中に、またゴルフをし
ていた人や農作業中の人が熱中症で倒れ、
亡くなったとテレビは伝えた。

同じころ僕はブルーベリー収
穫に奮闘していた。7月の実は
長雨で甘くなく、猛暑とともに
よく熟した。直立静止して受け
る太陽熱は鋏を使う仕事より強
烈だった。顔から湧き出る汗が
手に持つ弁当箱バックに落下し
ないよう毎度苦労した。

特大如雨露^{じゅうろ}を持って何十往復かした。最
終ラウンドを迎えたボクサーのような疲
労感。一方に達成感もあった。牛乳瓶1
本分の重油を焚いて冬のピーマンは6個
出ると聞いたが、さて、オレの汗1リ
ットルでは何個のピーマンが出来るか。

汗は人間を原初の動物にする。大量の
汗に濡れたシャツが土ぼこりにまぶ
され太陽熱で蒸される。すると動物みた
いな、庭で飼う仔狸「タヌ子」みたいな
臭気が体から舞い上がった。オフィスで
パソコンに向かう人が自分の汗に興奮す
るなんて、たぶん、あるまい。夕暮れの
百姓はわが汗に刺激され、ワイルドにな
った。かつ野菜たちには優しくかった。お
まえたち、この水を飲んでよく眠れ。オ
レはおまえたちの世話がすんだらビール
を飲む。

今はもう秋。窓の向こうで月が涼しげ
な顔。愛惜は不意にやってくる。僕の3



苦勞ばかりと嘆くわけじゃあない。九
の苦勞が残りの一を妙に
味わい深いものとする。
炎暑、台風、長雨、水雨。
まるで障害物競走だ。飛
んで、くぐって、あえぎ、
ゴールに駆け込む。ああ、
でも、お月様、この暮ら
し、けっこう面白い。直
線平坦の道を走るより、
僕の性にはこっちのほうが
合うみたいです。

【なかむら・けんじ】昭和22年山口県生まれ。33歳で築50年の農家跡に移住。現在は千葉県八街市在住。典型的な多品種少量栽培を実践。チャボを庭に放任飼育する。

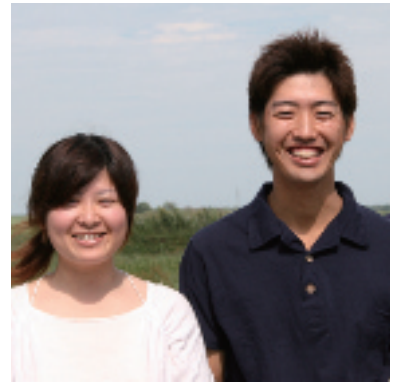


特集

2



研修



Style

スタイル・カタログ

Catalog



独立して農業を始めようとするとき、それまで農業に従事した経験のない人は、だれもが直面する大きな壁の一つが「技術の習得」だ。技術習得のための研修は全国各地で実施されており、そのスタイルはさまざまだ。

また、就農を成功させるためには、地域の農家や就農を支援する機関との関係構築が重要なカギとなる。

この特集では、地域内での新規就農者を育成するために、市町村や第3セクター、農業教育機関、NPO法人などが主体となって取り組んでいる研修制度をセレクトして具体的に紹介する。



酪農のメッカで酪農家を養成

新・農業人フェア
東京 (08/3/15) 出展
大阪 (12/22・08/2/24) 出展
札幌 (08/2/16) 出展

北海道別海町 有限会社 別海町酪農研修牧場

【問い合わせ】(有)別海町酪農研修牧場 〒088-2576 北海道野付郡別海町西春別 347 番地 63
電話：0153 (77) 1050 FAX：0153 (77) 1051 メール：dairy@arens.or.jp URL：http://www.betsukai.gr.jp/homepage/outer/kensyu/



広大で設備の整った研修牧場

北海道東部、根室市の北に位置する別海町は酪農のメッカ。人口1万6500人の町で、酪農家870戸が乳牛13万頭を飼っている。牧草地は6万haだ。

別海町酪農研修牧場は1996年に設立。97年から研修生を受け入れ、07年で11年目。これまでに受け入れた研修生は、累計で夫婦49組、独身者3名。うち夫婦6組、独身者2名が研修途中で断念したが、36組の夫婦が就農している。07年度は、夫婦8組(16名)が研修中だ。

この研修牧場は、別海町と町内5農協が出資して設立した第三セクターの有限会社。実践研修牧場は、フリーストール牛舎(155頭)とつなぎ牛舎(60頭)。牧草地186haの大規模な牧場だ。

「何よりも意欲がある人」

品質管理のための国際基準ISO9001を取得した。生産・作業の履歴をすべて記録し、品質の良い牛乳を生産する優秀な酪農家を養成する訓練のためだ。

研修牧場長の谷野利一さんは、「実践経験をつうじて酪農の基本を教えこみ、



実践的な研修がモットーだ

優秀な酪農家に育ててもらふこと。3年間の研修をやりとおして、品質の良い牛乳を生産し、経営がしっかりした酪農家を目指すよう指導すること」が実践研修の目標だと語る。

研修1年目は、基礎的な技術・知識・作業全般の習得する。2年目は、専門知識や応用力の養成。3年目は、農家研修などをつうじて自立可能な能力を養成する。

研修生は、臨時職員として1人月額13万円(夫婦2人で26万円)の給与がもらえる。研修生の世帯用宿舎は2LDKで、家賃は月2500円。普通に生活していくには、十分な金額。夫婦は35歳以下、独身者は30歳以下というのが年齢条件だ



別海町酪農研修牧場の研修生たちと谷野利一牧場長(前列中央)、職員

が、「何よりも健康で、意欲のある人」が研修生の一番必要な条件と谷野さんはいう。

研修終了時に向け、町、JA、研修牧場が一体となって独立をサポートする。

夫婦いっしょに励ましあって

千葉県出身の高谷良知さん(27歳)と静岡県出身の千華さん(27歳)は、動物専門学校で出会い、同じ動物園で働いていた動物好き夫婦。北海道で動物関係の仕事をしたと、インターネットで見つけたのが別海町の研修牧場。さっそく電話して内容を確認し、別海に行くことを決めた。現在、研修2年目。「おいしい牛乳を搾れるように酪農経営・技



斎木さん夫妻(右側)と高谷さん夫妻

術を学びたい。食に関する仕事は相当の覚悟がないとできない仕事。1人ではできないが、夫婦2人でならできると二人は話す。

研修1年目の愛知県出身の斎木豊樹さん(25歳)と愛媛県出身の早希さん(23歳)は、9月に結婚式をあげた新婚夫婦。二人は大学で出合った。豊樹さんは、高校生のころから農業をしたいと考え、大学は農学部に進学。「新・農業人フェア」に参加し、谷野牧場長から別海の酪農ヘルパーを紹介してもらい、2年半勤めた。早希さんは卒業後、愛媛で就職したが、豊樹さんの夢に魅かれ、同じ道を歩むことに。「想像もしていなかった牛の世話にやっと慣れた」と早希さん。「就農後のほうが大変だと思うが、今は一緒に励ましあって、頑張っている。いつも一緒にいられるのが農業のいいところ」と夫妻。

本当にやりたいことを見つけ、笑顔で語る2組の夫婦が、輝いて見えた。

【別海町酪農研修牧場の研修制度】

条件▶ 研修終了後、町内で就農あるいは酪農関連業務に従事すること
募集人数▶ 3～5組の夫婦または2～3名の独身者
募集職種▶ 酪農および酪農関連業務
応募資格▶ 18歳から35歳までの健康な人
給与▶ 1人/月額13万円
勤務時間▶ 4時30分～18時30分(実働8時間程度)
身分・待遇▶ 研修牧場の臨時職員として雇用。社会保険完備。作業着等貸与規定。住宅完備(夫婦2LDK)月2500円
休日▶ 4週4休

新・農業人フェア
 浜中町ブースへ
 東京 (08/3/15) 出展
 大阪 (12/22・08/2/24) 出展
 札幌 (08/2/16) 出展

酪農家夫婦24組が育った酪農の町の研修牧場

北海道浜中町 有限会社 浜中町就農者研修牧場

【問い合わせ】(有) 浜中町就農者研修牧場 〒088-1363 北海道厚岸郡浜中町茶内西 26 電話：0153 (65) 2254 FAX：0153 (65) 2254
 ●浜中町農業協同組合営農相談課 電話：0153 (65) 2141 ●浜中町役場農林産課農政係 電話：0153 (65) 2111
 URL：http://city.hokkai.or.jp/milkfarm/



浜中町就農者研修牧場で研修中の黒木さん(中央)、新さん(左)、菅田さん(右)の家族

酪農の町・浜中町に、浜中町就農者研修牧場がある。新規就農希望者のための酪農家養成トレーニング施設だ。1991年に浜中町と浜中町農協が設立、2004年に有限会社に組織替えた。

この町の人口は7200人。酪農家210戸が乳牛2万3000頭を飼い、生乳9万3000tを生産する一大酪農地帯だ。ここの牛乳はハーゲンダッツ・アイスクリームの原料となるなど高品質。近代化、規模拡大が進んだが、高齢化や後継者不足などから、酪農家戸数が減少している。そこで人材の確保と育成のために、研修牧場が設立された。

酪農に新規参入24組

酪農には、83年から新規参入者の就農が始まった。82年度から始まった北海道農業開発公社の牧場リース事業を利用した新規参入者の就農である。都市出身の新規参入者が多いため、就農前に酪農経営を基礎から学び、技術や知識・経験を蓄積して経営をスムーズに始めるための研修牧場がつけられた。



搾乳作業中の黒木智子さん(右)と新郁子さん

その結果、新規参入の酪農家は、町の酪農家戸数の1割を越すほど増加している。

2～3年間、夫婦で研修

05年6月に研修を始めた黒木圭太さん(32歳)と奥さんの智子さんは、この10月に研修を終え、11月に入植する。離農跡の牧場を引き継ぎ、搾乳牛44頭、牧草地70haでスタートする。浜中町酪農への新規参入24組目、研修牧場修了者としては12組目となる。

「しっかりと指導が受けられ、2年ほどで基本的な技術が身に付いた。後は自分で実践する段階を迎えた」と黒木さん。

黒木さんは大阪出身。大学卒業後、建築関係の会社に勤めていたが、学生時代にバイクでツーリングした北海道移住の夢が忘れられなかった。智子さんと娘3人と一緒に北海道への移住を決意した。

「研修中も生活費はかかる。決まった給与があり、生活の心配がなかったから浜中を選んだ」と黒木さん。

浜中町の研修牧場では、研修生は従業員扱い。夫婦二人で月額25万円(年間300万円)支給される。

「やはり『人間関係がわずらわしいから田舎に』というのは考え違い。周囲の人との付き合いは濃い。経営を軌道に乗せるにも、暮らすにも周囲の応援は欠かせない」というのが実感。

地域の人や関係機関との関係を研修牧場がつないでくれた。

新一郎さん(39歳)は、奥さんの郁子さんと研修を受け、現在1年目。若いころから農業に興味があったが、資金面であきらめていた。しかし、06年夏の「新・農業人フェア」で浜中町の話聞き、就農を決意した。子ども2人が心配だったが、「牧場もサポートしてくれたし、子ど

もたちは浜中での生活にすぐ慣れた」と笑う。黒木さんも同じ意見だ。

菅田実津留さん(24歳)も同じく、「新・農業人フェア」がきっかけで、大学卒業後、結婚と同時に06年4月から浜中町へ移住。研修2年目だ。本格的な酪農経営を目指して研修に入った。子どもが生まれ、家族づくりと酪農経営、二つの夢に向かって奮闘中である。

酪農をする体力、冬の寒さについては「最初はきついが、1年過ごせば慣れる」と黒木さんと菅田さんはいう。

この9月には石川出身の夫婦が研修に加わり、就農を目指す。

やる気・根気・元気

「研修生に必要なのは、やる気・根気・元気」というのが浜中のモットー。

研修牧場の有限会社化によって、離農する牧場の早期再編、農地利用集積ができるようになった。現在は、本場で研修生3組が学んでいるほか、離農跡牧場3つを分場にして、研修生夫婦3組が実践研修を行っている。



「子どもたちのことを考えると、子牛の哺育も優しくなり、うまくいった」と黒木圭太さん

【浜中町就農者研修牧場の研修制度】

募集条件▶ 浜中町で酪農を営もうとするおむね40歳までの夫婦または35歳までの独身者
 研修期間▶ おおむね3年(習熟度により判断)
 身分▶ 研修牧場の従業員として雇用
 給与▶ 夫婦研修生：年間300万円
 単身研修生：年間180万円
 待遇▶ 社会保険完備
 住宅▶ 家族用、単身者用とも完備(家賃無料)
 勤務時間▶ 5:30～19:00(実働8時間)
 休日▶ 月5日

イチゴ栽培が柱 地域一体の就農支援

山口県山口市 山口市徳地チャレンジ農場

新・農業人フェア
東京 (08/3/15) 出展
大阪 (12/22・08/2/24) 出展

【問い合わせ】山口市徳地総合支所自治振興課 〒747-0292 山口県山口市徳地堀 1744 電話：0835 (52) 1118 FAX：0835 (52) 1782
山口市徳地農業公社 〒747-0232 山口県山口市徳地伊賀地 984-7 電話：0835 (53) 0031 FAX：0835 (53) 0032

山口市の北部に位置する徳地は、四方を山に囲まれた美しい田園風景が広がる地だ。豊かな水系に恵まれ、古くから水稻を基幹作物としてきた。加えて現在ではヤマノイモ（仏掌芋）、ピーマン、イチゴを振興作物と位置づけ、栽培面積の拡大や生産性向上に、地区だけでなく市や県、農協などと協力しながら産地化に取り組んでいる。

この里に市の施設として山口市徳地チャレンジ農場（新規就農者技術習得支援施設）が整備されたのは2000年のこと。地域の高齢化が進み、後継者不足が懸念されてきたことを受け、96年から開始した担い手対策を、より強化するために設置された。

「農家」になる心構えを伝える

同農場では、春と秋に、研修生（研修期間は2年）を受け入れていて、研修後すぐに農業を始めるために必要な技術やノウハウを学ぶことができる。中心となる作物はイチゴとホウレンソウ。ハウスで育てるため管理がしやすく、天候の影響を受けにくいので、新規就農者でも始めやすいという理由からだ。また、外の圃場^{ほしやう}では稲作も行っている。

同時期に受け入れるのは原則3組までなので、マンツーマンで手厚い指導が受けられるのが特徴だ。指導するのは、過去に研修生として同農場の門を叩き、東京農大出身ということが見込



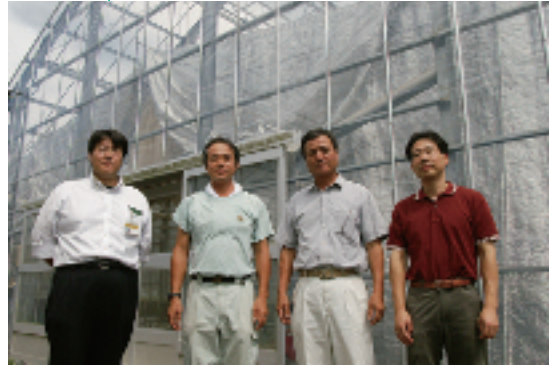
研修が終了間近の山崎さん（左）と建設中のハウス。かたわらではイチゴ苗が植えつけを待つ。岡本さんと

まれて指導員になった梅田さん。「少ない人数で広い圃場の管理をしなければならないので収穫期は忙しいですよ。仮眠と収穫が繰り返されるような生活です。大変だけど実践的でしょう」と語った。すると「それは農家なら当たり前なんですよ。農家にとって一番頑張らなきゃいけない『収穫』の時期なんですから」と、事務局場長の板垣さんが語気を強めて会話を引き取った。徳地チャレンジ農場は、技術だけでなく、農業を継続していくための「考え方」や「覚悟」も伝えていく。

徳地に増える真新しいハウス

岡本佳之さん（44歳）の前職は、図書館司書。「体を動かすことをしてこなかった」。しかし農家になりたいという思いを以前からもっており「やるならまだ体力があるいま」と決心。各地の農業研修や体験農業などに参加し、見比べた。同農場に決めたのは「事務局長や指導員の梅田さんの人柄…かなあ。少し会話をしただけでも温かい雰囲気伝わってきたでしょう?」と、照れながら語ってくれた。問い合わせをした時に事務的な対応をするようなところではなじめないと考えたという。東京から奥さんと子ども2人を引き連れて行く以上、そこは慎重だ。この10月から正式に研修生となる。

秋の農場はイチゴの収穫がひと段落し、新旧研修生が入れ替わる時期。山崎雄司さん（43歳）は、次期研修生にこの秋バトンを渡す2005年度研修生だ。研修終了間近のいまは独立準備に奔走する毎日を過ごしている。「独立後の農地は山口市徳地農業公社が探して



左から、徳地総合支所の武石さん、指導員の梅田さん、事務局長の板垣さん、これから研修生となる岡本さん。徳地チャレンジ農場内のイチゴハウス前で



研修メニューに組み込まれている水稻の圃場から望む徳地チャレンジ農場

くれた」。研修生は地域の農業関連団体から有形無形のさまざまな支援が受けられるのだ。「感想ですか？ いやあ、不安でいっぱいです…」といい、口を真一文字に。背後には建設中のハウスの骨組みが強い日射しを受けて輝いていた。この秋、2組の農家が徳地チャレンジ農場を経てスタートを切る。

【山口市徳地チャレンジ農場の研修制度】

正式名称▶山口市徳地新規就農者技術習得支援施設
定員▶最大3組程度
研修期間▶2年間
募集資格▶原則18歳以上、50歳未満。研修終了後に山口市徳地地域に居住し就農する人。応募時もしくは研修期間中に自己資金が500万円以上あることが望ましい
支援内容▶住宅・農地：研修期間中の専用住宅、独立後の住居・農地の斡旋、事務手続きの支援、研修費：研修期間中は月額15万円を支給、施設整備：独立にあたり補助事業や制度資金を活用することが可能

「主役は研修生・目的は就農」自由に学びあう校風が高知流

高知県四万十町 高知県立農業大学校

【問い合わせ】高知県立農業大学校研修課 〒786-004 高知県高岡郡四万十町黒石 665
電話：0880 (24) 0007 FAX：0880 (24) 1272

新・農業人フェア
東京 (08/3/15) 出展
大阪 (12/22・08/2/24) 出展

高知県での就農はお任せ

高知県立農業大学校研修課が「窪川あぐり体験塾」を開設したのは2003年。U・Iターン就農の促進と、「開かれた農業大学校」づくりを目標に、現在に至るまで多岐にわたる事業を展開してきた。「高知県は、県全体が丸となって就農支援に取り組んでいます。窪川アグリ体験塾は、その入り口役を担っています」と、研修課長の川瀬一郎さんは語る。



就農希望者長期研修生の皆さん。「同じ志を持った仲間と、互いに刺激し吸収し合えるのがいい」と、みな口々に語る。前列左から佐藤さん、小杉さん夫妻

2つのサポート事業

U・Iターン就農支援事業には、大きく分けて二つある。一つは、インターネットでの通信教育とスクーリングからなる「新しいなかビジネススクール」。他産業の仕事につきながら、農業についての予備知識を自宅で学ぶことができるのが特徴だ。さらに希望者は、年に数回開かれる2泊3日のスクーリングに参加し、実際に農業体験や農家訪問研修を受けることも可能。このプロセスを通して、資金面や移住時期などを判断してもらうことも狙いだ。「農業について漠然としたイメージしかない人は、ここから入ることを勧めています」と研修課主任の松下健一さん。

もう一つは、就農の意思が固まった人のための「就農希望者長期研修」。研修を受けながら12カ月以内に県内に就農することを目指す。12カ月は短いように

思えるが、「農業はやりながら身に付けていく部分が大い。また、その土地に合った技術が必要だから、ある程度まで到達したら、早く現場を持ったほうがいい」というのが理由だ。今年度からは、同研修内に熟年コースもできた。

半数以上が県外からの就農希望者

長期研修の第一段階は、作物、土壌・肥料、農作業など全般的な基礎知識や技術を学ぶ。続いて、ミニチュア版で農業経営をシミュレーション。これによって自分の目指す農業を想定し、栽培管理から出荷までを実践する。最終段階は、就農活動。ここで威力を発揮するのが、高知県独自の就農支援ネットワーク。県内23市町村及び関連組織が連携し、より適切な就農地探しをサポートしている。

現在の就農希望者長期研修生（随時受付）は11人で、うち6人が県外出身者だ。小杉正樹さん（35歳）、路津子さん（35歳）夫妻は千葉県松戸市からの移住者。数年前から就農を考えていたところ、「新・農業人フェア」で松下さんと出会い、2年後に高知移住を目指して準備を始めた。「四国のイメージがまったくなかったのも、どこかクッションになる施設に入りたかった」という二人。実習してみて、思いのほか農業という仕事に合っていることを確認した正樹さんは、「爪に土が入っているのを見



ハウス内の土を、次の作物に向け準備中の小杉さん（右）と野崎義徳さん（38歳）。「サラリーマン時代は休日が恋しかったが、今は明日が待ち遠しい」と話す野崎さんは高知市出身



キュウリの枝おろしをする小杉さん

ると、ニタニタしちゃんですよ」と笑う。

「第二の人生を考えた時、農業が浮かんだ」というのは、佐藤巧さん（56歳）。北海道出身で、東京で小売業の仕事をしていた。高知は「雪のないところがよかった」のだとか。また、妻の実家が土佐清水市だったことも、決断を後押しした。今年のメンバーのなかではリーダー格。「ここは土地も肥料も機械もそろっているし、いろいろな人がいろんな作物に挑戦しているから、一人でやるより短期間で効率的に学べる」と、メリットを語る。

施設は食堂や宿泊所のほか、図書室も完備。「主役は研修生、目的は就農」を合い言葉に、皆が自由に学べる環境づくりを大切にしている。「ここにいるうちに、できるだけたくさん失敗しておけていっているんです」と話す松下さんから職員は、研修生の家庭教師的存在だ。

【高知県新しいなかビジネススクール】

内容▶農業を始めるために必要な知識をインターネットで学べる。現地スクーリングへの参加が卒業要件

定員▶50名

申込・受講▶随時受け付け。随時受講開始

スクーリング開催日程▶2007年：11/30（金）～12/2（日）

2008年：①1/25（金）～27（日）、②3/13（木）～3/15（土）

費用▶受講料は無料。スクーリング参加費は1日480円（食事代別）

URL▶<http://www.pref.kochi.jp/nousei/newinaka/>

【就農希望者長期研修】

内容▶宿泊しながら目的・希望に応じた自主的・主体的に学ぶスタイル。実習を中心に、農業大学校での聴講や先進農家・環境保全型畑作振興センター等でも研修可能

応募資格▶18歳以上。高知県内での就農を希望する人

申込▶随時受け付け。一般コース・熟年コースとも12カ月以内

定員▶20名程度

受講料▶1日480円（食事代別）

URL▶<http://www.nogyo.tosa.net-kochi.gr.jp/kikan/agri/>

移住・就農に欠かせない地元農家との架け橋に

熊本県阿蘇市 阿蘇東部高冷地域担い手育成対策推進協議会（阿蘇市農政課）

【問い合わせ】●阿蘇市役所農政課 〒869-269 熊本県阿蘇市一の宮町宮地 504-1 電話：0967 (22) 3274 FAX：0967 (22) 4566
●NPO 法人阿蘇エコファーマーズセンター 〒869-1401 熊本県阿蘇郡南阿蘇村立野 203-1 電話：0967 (68) 0552 FAX：0967 (68) 0275

新・農業人フェア
東京 (08/3/15) 出展
大阪 (12/22・08/2/24) 出展



岩下一之信さんのもとで働きながら「独り立ち」を目指す

熊本県阿蘇市波野地区は、阿蘇外輪山の高原に位置し、高冷地特有の気候を生かしたキャベツ、大豆、そば、大麦など露地栽培を中心とした農業が行われている。だが、離農や過疎が深刻化しているため、阿蘇市農政課は、2006年度から「阿蘇市地域雇用創造トライアル事業」を開始した。現地では、地元の「NPO 法人阿蘇エコファーマーズセンター」（以下「阿蘇エコ」という）が窓口となり、人材募集のイベント開催や、地元農家とのマッチング事業を行っている。

万遊の旅の末に阿蘇へ移住

武田哲郎さん（56歳）は、3年前まで長野県松本市で、軽貨物運送業に従事していた。だが、家のローンも終わり、子どもたちも独立。「もうあくせくする仕事は辞めよう」と決意し、仕事を後輩たちに譲り、夫婦二人、車で「全国万遊の旅」に出た。

行く先々で、地元の人たちから「ここへ住まないか」「農業をやらないか」という声があがったが、移住を決意するには至らなかった。こうして旅も2年目。湧水で有名な阿蘇市の役犬原^{やくいんばら}を通った時、「ここに住みたい」といい出したのは、妻の美雪さんだった。湧き水の豊富さと阿蘇の山並みの美しさにひかれ、自力で借家を見つけて移住を果たした。

経済的に切羽詰まった状況ではなか

ったが、とりえず地元のハローワークへ。武田さんは当時55歳で、思うような仕事の求人はいなかった。「死ぬまで続けられる仕事はないか」と思った矢先、担当者が「こんな道もありますよ」と、「iju」のバックナンバーを見せてくれた。「そうか、農業か」。その時、初めて阿蘇市の「雇用創造トライアル事業」のことを知った。

1haの畑を借りて栽培 地元で実績をつくりたい

こうして武田さんは、阿蘇市の役場を経由して、阿蘇エコへ。どこでどんな形で働くのがいいのか担当者と相談し、模索するなかで、岩下一之信さんを紹介された。元村長で、波野地区に10haもの畑をもち、大麦や野菜・大豆を栽培している人だ。



万遊の旅の途中で「阿蘇に住みたい」と決めたのは、妻の美雪さんだった

地元の人たちや新規就農者の話を聞くうち、武田さんは「1年、この岩下さんのもとで一から農業を教えてもらおう」と決意する。岩下さんをお願いしたことは一つ。「畑の手伝いをし、自分のことを認めてもらった後には、農地を借してほしい。真剣に農業に取り組んでいるという実績をつくりたい。そのために給料はいりません」ということ。いずれ農業人として独り立ちして農地を借りる時、必要なのはお金より真剣に取り組んでいる姿勢と実績だと考えたからだ。



冷涼な気候の波野地区は畑作が中心。良質な大豆の産地として知られる（写真左）武田さんは、波野地区に1haの農地を借り、大豆作りに挑戦（写真右）

それから1haの農地と岩下さんの機械を借り、加工用ほうれん草を栽培。師匠の岩下さんは、武田さんの仕事ぶりを「飲み込みも早いし、機械の修理もできるから優秀」と高く評価している。また、武田さんは岩下さんに連れられて、春の「野焼き」や夏の「草刈り」など、地域の共同作業に積極的に参加。着実に実績をつくっている。

「農業は地域のなかにとけ込んでいかないと成り立たない産業。まずは地元の住民たちのなかに入り、仲良くならなければできません」

現在、窓口である阿蘇エコは、就農希望者と受け入れ先をマッチングさせ、定住や就農に不可欠な人間関係づくりをサポートしている。事務局の吉村孫徳さんは、「移住や就農には、十人十色の形がある。それぞれの希望や適正に応じて、柔軟に対応していきたい」と話す。

【阿蘇市波野地区の研修制度】

内容▶農業経営に必要な知識、技術、農村生活に必要な知識等が習得できるよう、阿蘇市波野地区の先進的な農業法人や農家で実践研修（期間3カ月～）を実施。現地見学を実施し、本人の希望や適性等を考慮し、阿蘇東部担い手育成対策推進協議会が研修先のマッチングを行う。まず、農業体験を実施し、両者の意向がマッチすれば、研修を開始する。研修終了後には、①阿蘇市波野地区の支援農家の紹介、②農家実践研修、③新規就農（独立）、④農業法人への就職——などを支援

申込▶研修は、随時、受け入れている

特集 3

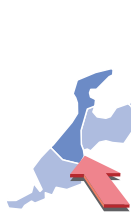
北陸地方の IJUライフ

北陸地方には、新潟・富山・石川・福井の4県がある。

目の前に広がる日本海は漁業資源に恵まれ、平野には広い水田地帯が広がり、背後には美しい山々が連なる。豊かな自然に恵まれたエリアだ。

農林漁業を仕事にするにあたって、また、セカンドライフのステージに北陸地方を選んでIJU（移住）した人たちの事例をもとに、北陸地方のI・J・Uターン事情を紹介する。





念願かなえた 空き農家・農地バンク



庭にある畑では自家用野菜を栽培

石川県羽咋市
武藤 一樹さん



今年つくっているのは、カボチャやサツマイモなど、カフェのスイーツの材料となるもの。この秋から麦も栽培し、来年からはパンも自家産小麦で焼く予定だ



菅池地区は、棚田が特徴の中山間地域。反収は少ないが、おいしいコメができる

「耕す」が移住の条件 農園と店と家を同時にかなえる

3年あまり前、武藤一樹さん(31歳)は、石川県金沢市のコーヒー専門店に勤めながら、自分の店を開業するための物件を探していた。カフェ用の建物はもちろん、5年ほどやってきた家庭菜園が続けられるやや広めの畑、さらに家族5人が暮らせる広めの家、この3つがそろった場所を求めていた。しかし、金沢のような地方都市でこの条件を一度に満たす物件を探すのは至難の技。かといって、3つが点在すれば移動費がかかる上、不便極まり

移住前から寄り合いにも参加

全国的に空き農家バンクはあるが、羽咋市の大きな特徴は、家を借りる際に必ず農地とセットになっていること。家を借りるには、その農地を耕作し、農家になることが条件となっている。この地区は「羽咋のともも簡単就農特区」(就農時の農地取得下限面積を10^{ha}に緩和)に認定されている。農地保全がこの空き農家・農地情報バンク制度の大きな目的でもあるのだ。

本格的に菜園もやりたい武藤さんにとって、農地付きの家は魅力。さっそくバンクに登録し、当時住んでいた金沢市から羽咋市に通って候補物件を検討し始めた。

ちょうどそのころ、羽咋市神子原地区が動きを見せようとしていた。ここは中山間の豪雪地帯で、高齢化・後継者不足・離村という深刻な問題を抱えていた。そこで市は、同地区の不利な条件を逆手にとり、棚田米をブランド化。零細農家救済策、地域活性化策に打って出た。直売所を皮切りに、運営のための組織(株式会社神子の里)を地区住民で立ち上げようとしていた。

ここで武藤さんが神子原地区にとけ込む思いがけないチャンスが巡ってくる。「自分でつくったものを含め、地域の農産物を発信できるカフェをつくりたい。農

<羽咋市の交流・定住支援事業>

●空き農家・農地情報バンク

地域に市外からの移住を促進するとともに、遊休・耕作放棄地を減らすことを目的に、2004年1月にスタートした制度。市が仲介し、空き農家(空き農地)の地権者と、借受(購入)希望者との間を取り持つ。特徴は、農家と農地をセットにし、廉価(平均月額2万円)で貸し出すこと。借受者は、農家に付帯した農地の保全する、住民票を移して集落の住民になる、祭りや草刈りなどの集落の行事に参加するなどが入居の条件となる。対象地域は、高齢化・人口減少の激しい中山間地域とその周辺。貸出・借受双方とも登録制で、市が現地見学会の開催、事務手続きなどを担当。入居希望者の要望を加味しながらマッチングし、契約から入居までをサポートする。2007年3月現在、8家族25名が入居している。

●烏帽子親農家制度

実の親子でない者が疑似の親子関係を結ぶ烏帽子親制度の風習を、農業体験を希望する都市住民との交流に応用した制度。農家が親、参加者が子どもの関係となりともに農作業に従事。普段着の農家の日常生活や農業を宿泊体験する。2006年7月からスタートし、現在4軒の農家が受け入れている。

●援農合宿

都市部の大学生が同市の中山間地域農村集落(神子原地区)に滞在。烏帽子親農家制度によって農家の暮らし・農業体験をすることも、地域資源を発掘し、農村集落に提案する。昨年は法政大学の学生20名ほどが参加した。

武藤さんが店長を務める直売所



妻の香織さんと。移住後に生まれた長女の百花ちゃんは、まもなく1歳になる

地域とのつながりを生き方の軸に

家のおじさん、おばさんが長靴でコーヒを飲みにきてくれるような、農村の声が届く場所にした」という武藤さんの思いを聞いた市の担当者が、ちょうど進行中だった直売所建設計画のミーティングに参加してみても、と誘ってくれたのだ。

「寄り合いに混ぜてもらいつつ、地域の雰囲気や四季を体感できたことは、いまでも役に立っています」

武藤さんが田舎に目を向けたのは、もう一つの理由があった。岐阜県岐阜市の出身とはいえ、版画家だった祖父は六男、自営業の父は次男で、自身も「地域」や「地元」意識があまり強くない環境で育った。しかし、金沢美術工芸大学で学生時代を過ごし、輪島市出身の妻・香織さん(30歳)と出会うなかで、地域との密接なつきあいを大切にする暮らし方に目覚めたという。

「もたざる者にとっては、とても新鮮で

貸し手も借り手も双方にメリット

そして2006年12月、ついに神子原地区菅池町で意中の物件に巡り合い、契約にこぎつけた。庭を含め約40坪(1・3^ア)の畑と田んぼ2枚が付き、家は囲炉裏もある築80年余りの建物だった。携帯電話は「圏外」。周囲は「携帯電話も通じないようなところで」と心配したが、「特徴のある店にするには、趣のある古民家で、不便なところのほうがいい」と説明した。

実は、契約を決めたこの月は3人目の出産予定月でもあった。早々に輪島から家族を呼び、お腹の大きな香織さん、2人の子どもたちとともに、菅池町内の家々へ挨拶回りをした。菅池地区の高齢化率は51%。久々に見る子ども姿に、歓声があがった。

また、空き家の改修については、所有者が納得のいくよう、十分な話し合いを心がけた。思い入れのある場所に手を加

える以上、双方に実利がないと、持続的な関係は作れない。そこを徹底的に確認し合った。

「そこが、空き農家バンクが一般の不動産屋と違うところじゃないかな」

地域にとって価値のある人間に

カフェ開業の準備をする武藤さんに、もう一つの役割がめぐってきた。新しくできる直売所の店長への抜擢である。

自家焙煎コーヒーと自家製スイーツ・パンの店「神音カフェ」は、07年3月1日にオープンした。準備中から「半農半芸」のカフェとしてマスコミが多数取材に訪れた。さらに、同年夏に援農合宿で神子原地区に滞在した学生たちが住民と作った棚田巨大な段が話題を呼び、オープン初日からカフェは大変な賑わいを見せた。

直売所も7月にオープンし、武藤さんは毎朝、畑仕事とカフェの掃除、パンやスイーツを作る香織さんのサポート、コーヒーの焙煎などをこなし、午前9時に直売所に出勤。午前中いっぱい店長の仕事をし、午後は1時30分からカフェを営業している。

「あんまり忙しくて、畑は草が伸び放題。歯がゆいですが、それでも直売所の仕事も大切にしたい。売る側にながら、生産者に近い存在として、地域全体の農業のあり方を考えていけたらと思っています」

最後に、農村への移住を検討している人たちへのアドバイスを聞いてみた。

「その地域で価値のある人間になること。私は、とにかく体を動かします。その姿を、地域の人は見ていてくれますから」

100円ショップのカゴを工夫して摘み取り用のカゴに



高い天井が開放的なカフェ。まるで北欧にあるロッジのよう



観光農園 + カフェ 新しい形を創る

富山県氷見市
上野 達也さん

人生の転機に出合った二つの縁

「両親は非農家ですが、祖父母が兼業農家。幼少時に手伝った農作業は楽しい思い出ばかりで、いつか自然の豊かな所で生活したいと思っていました」
 大学を卒業してから6年間勤めた大手旅行会社を退職した上野達也さん（36歳）は、就職情報誌やインターネットで資料を集め、「新・農業人フェア」にも参加し、全国の新規就農支援措置がある自治体の見学を重ねた。

ふと自分の田舎が気になり、実家に帰った際に氷見市の農政課を訪ねる。この時の矢方課長との出会いが流れを決めた。この課長は棚田オーナー制度などを成功させた人物。上野さんがかねてから注目していた作物、ブルーベリー栽培を相談すると、富山県にほとんど事例がなかったが、二つ返事で後押ししてくれた。

そこで故郷の富山県氷見市にUターン



ウサギの目のような「ラビットアイ」

原義昭場長だ。

「技術2割、心構えと段取り8割、ブルーベリーのことを田原場長から学びました」
 しかし、研修中は無収入。家族を抱える上野さんは、認定就農者（都道府県知事に就農計画を認定された者）となり、無利子の就農支援資金を借りて2年間をしのいだ。「アパートを借りず、片道90kmの研修先に通勤。でも、家族の顔を毎日見ることを励みに通いました」という。

栽培開始から3年目で観光農園を開業

研修を半年終えた段階で、研修先の技術支援のもと、99年に借入金で25^アにブルーベリーの苗木を定植。その後、自己資金と金融機関からの借入金で100坪の遊休農地を買収した。さらに、認定就農者として新規担い手規模拡大支援事業を活用し、県と市から補助を受けて作業場やハウスなどを導入。01年に本格的に経営を開始し、現在の耕作面積は約90^ア。うち50^アが、02年に開始したブルーベリー摘み取り園「いなか ふれさか」だ。
 「体験型の観光農園は、観光客が多く訪れる氷見に適していると思ったんです。無農薬の新鮮なブルーベリーを、旬の時期に味わってもらいたいですよ」
 しかし、観光農園を始めただけにとど

まらなかった。そのわけは…。

カフェがコミュニティの場に

奥さんの和枝さんは、福島県の非農家出身。最初は農業をやりたい気持ちで理解してもらえなかった。
 「妻と一緒にできることを、二人でアイデアを出し合って考えました。じゃあ、ブルーベリーを使ってカフェ始めたらどうかと」

そこで実家の納屋を改装し、里山喫茶「Cafe 風楽里」をオープンさせた。和枝さんが主導し、さまざまなデザートを出してブルーベリーの食べ方を提案。口コミで県内外からのお客さんが増え、地元の人たちも集まるようになった。さらに、Uターン組の陶芸作家の作品を展示販売するなど、観光客・地元の人・Uターン者、三者の接点となるコミュニティスペースの役割も出てきた。

「田舎の雰囲気を感じたい観光客がいれば、こうした自然に囲まれたカフェのニーズはある。私は『地カフェ』と呼びますが、特産品や地場産業と結びつけたカフェに価値が見出されるようになると思います。そういう形で中山間地に参入するI・J・Uターン者はこれから増えるでしょう」

新規就農という「ハード」に対し、農村と都市を活発に交流させる観光農園やカフェという「ソフト」があるという考え方。その新しい形をここで垣間見た。



納屋を改装したカフェ



農業後継者を育てる 町ぐるみの農業法人

福井県若狭町
有限会社かみなか農楽舎^{のうがくしゃ}

5年間で14人の就農・定住を実現

福井県若狭町の(有)かみなか農楽舎は、2001年11月、町・地元住民・民間企業の出資によって設立された。農業後継者の育成・定住促進が主な事業という、珍しい農業生産法人だ。研修生は町から管理委託を受けている若狭町農村総合公園の土地と施設で、コメづくりを中心とした農業技術の習得と、集落への就農の準備を行う。この5年間に町内への就農者10人、同法人への就職4人、計14人が若狭町に就農・定住した。

代表取締役を務める馬場康一郎さん(59歳)は昨年まで、出資者である(株)類設計室勤務と、かみなか農楽舎代表を兼務していた。町が農村総合整備事業で農村総合公園建設を計画した際、類設計室が相談を受けたのが、かみなか農楽舎に関わるようになったきっかけだ。

農村総合公園を建設するころ、町は都市住民が遊びに来る観光農園をつくろうとしていた。しかし、話し合いが進むうち

代表の馬場さん



栽培責任者の下島さん

「農家の高齢化・兼業化が進むなか、地域に必要なのは、今後の農業を担う人材の育成ではないか」という話が飛び出た。「都会には、農業に熱い視線を向けている若い人がたくさんいる。ならば、農業に意

欲をもった若者に真剣に対応する組織と場をつくろうということになりました」と馬場さん。

研修後の2つの道

経営責任者には馬場さんが、栽培責任者には、兼業農家の下島栄一さん(58歳)がヘッドハンティングされた。かみなか農楽舎では農業研修事業のほか、体験学習事業や農業生産事業、直販事業などを行っている。収入の中心は、町内の水田38畝を借りて生産しているコメの販売収入だが、「ここは損得抜きに、人材育成が第一義」と馬場さんはきっぱり。2年間の研修終了後は、地元農家の農地や農機具を借り、アドバイスを受けながら就農して、独立を目指すことになる。農家側も修了生を、てぐすね引いて待ち構えているという。高齢農家と卒業生とで設立した法人も、この2年間ですでに4法人できている。



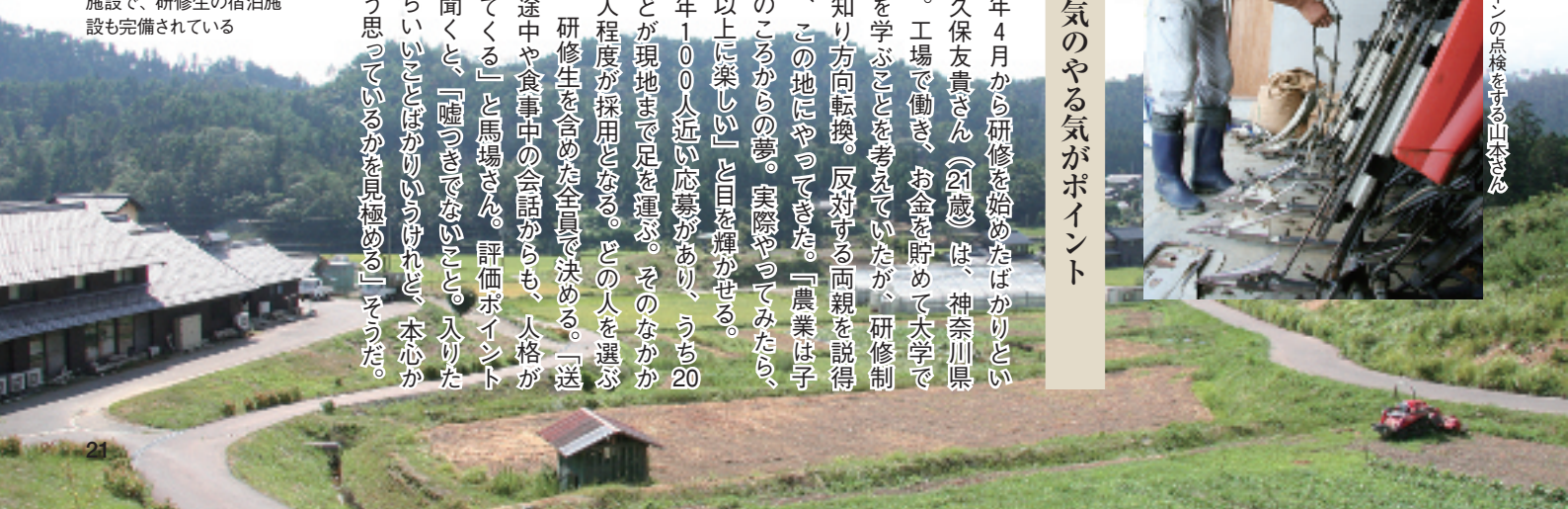
稲刈りに向けコンバインの点検をする山本さん

本気のやる気がポイント

今年4月から研修を始めたばかりという大久保友貴さん(21歳)は、神奈川県出身。工場で働き、お金を貯めて大学で農業を学ぶことを考えていたが、研修制度を知り方向転換。反対する両親を説得して、この地にやってきた。「農業は子どものころからの夢。実際にやってみたら、予想以上に楽しい」と目を輝かせる。

毎年100人近い応募があり、うち20人ほどが現地まで足を運ぶ。そのなかから4人程度が採用となる。どの人を選ぶかは、研修生を含めた全員で決める。「送迎の途中や食事中の会話からも、人格が見えてくる」と馬場さん。評価ポイントとは聞くと、「嘘つきでないこと。入りたからいいことばかりいうけれど、本心からそう思っているかを見極める」そうだ。

体験農場は約7800㎡。左の建物はコミュニティ施設で、研修生の宿泊施設も完備されている



軽々と刈払機を担いで斜面を上る山岸さん。傾斜30度以上の場所を自在に歩き回る姿は頼もしい



合掌造りの里で山の達人に教わる

富山県南砺市 五箇山森林組合
山岸 弘美さん

1995年に世界文化遺産に登録された合掌造りの集落は、富山（五箇山）と岐阜（白川郷）の県境をはさんで合計3カ所。富山県南砺市にある五箇山森林組合は、富山県側にある相倉・菅沼合掌集落の葺き替え作業を行っている。

「初めて見学に来たときに1日体験でやらせてもらったのが、この葺き替え作業だったんです。伝統を守る作業がとてすてきに思えて。この森林組合に入ろうと思ったきっかけはそれでした」

そう笑顔で語るのは山岸弘美さん（26歳）。長野県長野市から東京の大学に進学し、当時は国際協力やボランティアに興味を抱いていた学生だった。

山が荒れているというニュースを聞き、大学4年の夏休みに1カ月間ボランティアでフィリピンへ。そこで現地の子どもたちに山の大切さを教えながら、一緒にマホガニーやマンゴーの木を植樹した。

「ボランティアは初めてでした。すごく不安だったんですが、やっているうちに植樹に対してやりがいを見つけたというか。山の作業は自分に向いているかもしれないと気づいたんです」

帰国後、ボランティア団体の人に相談したところ、同じ大学の先輩で森林組合に就職した人がいると教えてもらう。しかも、その人が女性だと知り、すぐにその先輩を訪ねた。そこで合掌造りの里を守る森林組合に入りたいと先輩に頼み込み、年明け1月には採用が決まった。

超ベテランから学ぶ森林の大切さ

1年目は、その女性の先輩と組んで仕

事を覚えた。ロープの結び方はもちろん、刃物の扱い方も全くの初心者。見たことも触ったこともないから「ナタノコってなんだろう？」というところから覚えなければならなかったと山岸さんは笑う。

手元の作業を覚えることは別に、体力的につらかったのは最初の1〜2年間。でも、臨時作業員の年配の人たちと一緒に山を登る機会が多く、慣れない体でもなんとかついていけたのだとか。

「山のなかで生きてきたおじいちゃんやおばあちゃんだからこそ、生活の知恵はすごい。木の名前から山菜の種類、山の働きに至るまで、山の知識は半端じゃありません。70代の人たちと働ける職場なんて普通はないですよ。だから、貴重な体験をさせてもらってるんです」

山の厳しい自然と共存していく。夏の暑さに耐え、雪深い冬を乗り越え、「森林をいかして」「く作業。それを身をもって承継してくれる超ベテランの存在は、確かに貴重だろう。



合掌造りの屋根を葺き替える作業は、春と秋に行われる（写真上）

左から組合長の上坂さん、部長の鉢呂さん。「組合の人たちから、とても可愛がられています」とうれしそうなお山岸さん（写真左）



自分から地域の輪に入って

山岸さんは、休みの日を利用して地域のサークルに参加している。まず、民謡の保存会。そこで地元の人と交流する機会がもてたという。さらに、森林組合のおばあちゃんが誘ってくれたお茶と英会話。ここで同年代の友だちもできた。

「おばあちゃんたちが、なにかと世話を焼いてくれるんですが、私からも地域にとけ込もうとしているんですよ。自分から輪のなかに入っていくとすれば、温かく迎え入れてくれます」

うれしそうに話す山岸さんの表情は、すっかり五箇山の人間になっていた。ボランティア団体の人、大学の先輩、森林組合のおじいちゃんやおばあちゃん、サークルで知り合った友だち……この出会いが、山岸さんが前向きに一步を踏み出した結果、得た縁である。移住者に一番必要なのは、その「自分から一步を踏み出す積極性」なのかもしれない。

今井さん（写真右）と船主の大門さん（写真左）。2人で操業する大進丸の前で。研修後の収入は歩合制。もちろん研修時代より年収は上がった



「食べる物を捕る」 シンプルな生き方が性に合う

新潟県上越市 名立漁業協同組合所属 大進丸
今井 靖さん



頼りにされる新規就業者

日本海に面した名立漁港。現在操業している漁船は7艘だ。そのうち4艘は底引き網漁の船で、今は主にタイが捕れる。そのほかに刺し網漁が2艘、そしてバイ貝のかご漁をする船が1艘ある。

今井靖さん（45歳）がバイかご漁の大進丸に乗り組んだのは3年半前。当初、彼のほかに3人いた乗組員は、高齢のため去年は2人に減り、とうとう今年3月からは船主の大門燈一さん（51歳）と2人だけで操業することになった。なので、笑顔のなかにも緊張感を漂わせる。

「早く覚えようと頑張ってきましたが、2人になった今は、初めての作業でもなんでも、やらないと仕事にならない」

40歳で一念発起、一生の仕事

今井さんは東京都杉並区の生まれ、八王子市育ち。高校卒業後、写真の専門学校に通いスタジオに就職したが、職場の徒弟制度になじめず退職。その後、輸入家具の営業、建築設計、高速道路関連の仕事など、いくつかの職を経ってきた。

40歳を目前にして、「どれも一生やる仕事じゃないなあ」とふと思った。キャンプが趣味で釣りも好きだった。「人生の最後にやるなら、第二次産業」と思いを定め、「コツコツやるのは性に合わない」と農業を除外。「漁業か林業か」の選択で迷いつつ、情報収集した。決め手は、看護師をしている妻のみどりさんの「住むなら雪深い山奥よりも、平らなところがい

い」のひとことだった。

ちょうどそのころ、新潟県漁連のホームページで研修生の募集情報を見つけた。説明会に参加し、現場体験で初めて漁船に乗った。3カ月後、忘れかけたころ、大進丸から研修受け入れの通知がきた。

研修生はいつでも歓迎

今井さんが応募したのは、県漁連が県の委託事業として実施している「新潟県漁業技術習得支援事業」の漁業就業研修だ。当時、研修期間は1年で、指導者に対して指導料が支払われるほか、研修生本人にも生活資金用途に研修費貸付が行われていた（現在は、研修期間は半年で、研修費貸付はなくなった）。

昨年は、高卒の若者が底引き網漁船に乗船した。近隣には後継者が育っている漁協もある。研修生はいつでも歓迎です。今井さんのようなしつかりした人が働いていると、港も活気づく。彼のあとに続く研修生がもっと増えてくれるといいですね」と、名立漁協の参事・池亀健一さんはうれしそうだ。

今までにない充実感

池亀さんは、「長くまじめに続けてくれる人が来てくれて、本当によかった」と、今井さんを高く評価する。船主の大門さんも「もうすっかり一人前。将来はひとり立ちして船主になってほしい」と期待をかける。ところが、「自分は漁師に向いていただけ」と当の本人は涼しい顔。

「漁業は『食う物を捕る』という、太古

からのシンプルな生き方。わずらわしい付き合いもないし、漁師になって本当によかったです（思っています）」

それでも生活リズムに慣れるのには苦労した。バイかご漁は午前2時半に出漁する。360個のかごを引き上げ、新しくエサを仕込んだかごを沈める。休む間もなく立ち働いて、「メシは3分」。

漁を終えて午後2時ごろ港に戻るが、すぐに漁獲物の選別を行い、市場に出さねばならない。片付けを終えて帰れるのはやっと4時半だ。海況に左右されるので出漁できるのは1年の3分の1。しかも「出る、出ない」は直前に決まるので休みやバイトの計画は立てられない。それでも今までになかった充実した毎日。

「体の不調や疲労はあるけれど、予防に気をつけているので、病気やケガで休んだことは1日もありません」

続けられる自信が、シンプルな生き方を、より輝かせている。



バイかごは、600 mの深みに沈める。バイと一緒に甘エビもかかる



「トキの里においでよ」 地元的情熱でスピード就農

新潟県佐渡市 津田 政明さん

パートナーの荻野晶子さん（35歳）は大阪の法人で社会福祉士として働いていた。「農業でホームレスの自立支援、という珍しい夢を互いにもっていた者同士」だと笑顔。佐渡でも社会福祉士として重宝がられている

かまどを修理して、ご飯は薪で炊く。
風呂も冬の暖房も薪が燃料だ



かなり変わった経歴の持ち主だ。
津田政明さん（52歳）が佐渡に移住したのは昨年3月。彼は、それまで定職に就いたことはない。横浜の高校を卒業後、20年以上、欧米やアフリカを放浪。生業はその時々で、古着の輸入、独学の指圧術、音楽イベントやファッションショーの裏方など。どれもひとかどの域に達し、生活できた。

やがてニューヨークの教会で初めてボランティアに触れ、さまざまな活動に参加するようになる。1994年から約5年間、ルワンダで難民支援のボランティア活動に、主に個人で取り組んできた。

「ある日、思いがけず日本のホームレス

難民支援からホームレス支援へ



問題をルワンダ人に指摘されました。彼らこそ助けるべきだと」
数日後に帰国。東京都庁近くの公園で、たった一人でお茶のサービスを始めた。3年後、大規模な炊き出しと清掃活動「新宿530（ゴミゼロ）部隊」に発展し、仙台と大阪の仲間を引き継がれている。

熱意ある受け入れですんなり就農

農業に目を向けたのには二つ理由がある。一つは、内戦で荒廃した農地が翌年にはよみがえる底力を、アフリカで目の当たりにしたことだ。自給自足できない自分と日本に危機感を抱いたという。

2年ほど、就農場所探しと勉強を兼ね、各地の有機農業研究会や農場を見学して歩いた。一昨春秋、イベントで偶然、佐渡の「トキの田んぼを守る会」（以下「守る会」と出会う。会の有機無農薬栽培「トキヒカリ」を食べて、「際立ってうまい。パワーのある米だ」と心動かされた。

話とはんとん拍子に運び、「田んぼはいくらでもあるから来いよ」と誘われ、迷わず「行く」と答えた。「守る会」がささず家と農地をあつせん。出会いからわずか4カ月後、津田さんは農家になった。

「守る会の人たちが本当に親身になってくれます。収穫できるのは会のおかげ」
米づくり1年生の昨年、近所の会員が毎日教えにきてくれた。今年は春先にけがをして作付けをあきらめかけたが、会長が「田植えまで面倒を見るから、あとは頑張れ」と、仕事を終えてから毎夕、来てくれた。苗は初代会長の自信作だ。

「就農は『受け入れたい』という地元の

情熱次第。全国各地にいろいろと相談窓口がありますが、守る会のような出会いがあれば、農村に人は来ます」

農村の課題解決に尽くしたい

最初の話と違い、「いくらでも人に農地を貸すことができる」ほどの状況ではなかったが、それ以外はすべて順調で、地域にもすんなり溶け込めた。だが、過疎化や高齢化、後継者不足などの問題もだんだん見えてきた。

「田畑を支えているのは、お年寄り。数年後には食糧自給率はもっと下がる」
実は、津田さんが農に目を向けたもう一つの理由が、「ホームレスの働く場を農村に見出せないか」というものだ。

「働く意欲があり、仕事を求めているホームレスは多い。農村の問題とマッチングさせて解決できないだろうか」
そのためにはまず、自分が農家として一人前になって生計を立てられるようになることが先決。今はあせらず、米づくりの基本をじっくり身に付けるつもりだ。

「農業は、食べ物をつくるという人間の根源的な営み。働きたい人間を受け入れる懐の深さがあるのではないか」
津田さんは、農業に大きな可能性を透かし見ている。



「草取りが一番楽しくて一番大変」だという有機無農薬栽培の水田。今は4.5反だが、いずれ1町ほど借りたいという



北陸地方 I・J・Uターン情報

NIIGATA
TOYAMA
ISHIKAWA
FUKUI

し、思いがけない情報を手にすることも
あるはずだ。
選択肢はたくさんある。まずは、いろ
んなドアをノックして、情報を収集す
るなかで、自分の目指すべき方向を発見し
てほしい。そうすれば、自分の適性を判
断することもできるはずだ。

農業を始めた

I・J・Uターンし、農林漁業に就業
した方、全国的に見ても珍しい定住希望
者の支援策などについて、六つのルポタ
ージュ記事として取りまとめさせていた
だいた。そこに至るまでの動機や経緯は
さまざまだ。
それぞれの事例から、分野ごとの職業
としての特徴、それぞれの地域ごとの特
徴をぜひ、読みとってほしい。とくに、
農業では、生産士の経営スタイルにも
着目してほしい。

アクションを起こそう

I・J・Uターンし、就業・移住を考
える場合、希望する地域の支援機関にコ
ンタクトをとるといい。
支援機関から情報を収集したり、実際
に現地を訪ね、その窓口で相談をするこ
とが、I・J・Uターンの近道だろう。
自分がイメージしていたものと実際に
大きくかけ離れていることもあるだろう



北陸地方で、独立して農業を始めた
と考えるなら、各県に設置されている新
規就農相談センター（連絡先は63頁に掲
載）で情報を収集し、相談をしよう。
技術習得を支援する制度や就農を支援
する仕組みなど、各県ごとに就農をサポ
ートする制度が設けられている。
また、一部の市町村では、独自の就農
支援制度を設けている。各県の相談セン



ターから情報提供を受け、県の支援制度
とあわせて、活用を検討してみよう。

なお、一般に農業体験レベルでは広く
人を受け入れているが、1〜2年間の本
格的な技術習得のための研修制度や資金
面での支援制度を受けるには、一定の条
件があったり、定員が設けられ、選考が
ある場合もあることに留意してほしい。

農業法人に就職したい

新潟県と富山県では来年、地元で相談
会を開くのでぜひ、参加しよう（27頁参
照）。また、東京・大阪で開かれる新・農
業人フェアもチェックしよう。

林業に従事したい

林業に従事したいと考えている人の相
談窓口になるのが、各県に設置されてい

る林業労働力確保支援センター（連絡先
は65頁に掲載）。
今号は、巻頭で林業の特集を組んでい
るので、参照してほしい。

漁師になりたい

漁業に従事したいという人の相談窓口
になるのが、漁業就業者確保育成センタ
ー（連絡先は67頁に掲載）。北陸地方で漁
業に従事したい人は同センターに連絡を
とり、情報を収集しよう。

田舎暮らし（移住）したい

県段階で、Uターン希望者などの就業
や定住をサポートする機関や制度も整備
されてきている。

また、東京や大阪で各県の情報を提供
してくれる窓口も設置されている。この
地域に移住したい人はこれらの窓口を相
談や情報収集にぜひ、活用してほしい（連
絡先は69頁に掲載）。

県段階の定住関連ポータルサイト

- 新潟県のUターン・交流・定住情報サイト
URL <http://www.chiiki.pref.niigata.jp/ujiturn/>
- 富山県の定住・交流情報サイト
URL <http://toyama-teiju.jp/>
- 石川県のUターン就職情報サイト
<http://www.ui-turn.pref.ishikawa.jp/index.php3>
- 福井県定住促進総合サイト
URL <http://info.pref.fukui.jp/rousei/teiju/>

Uターン・新規参入・後継者の皆さん 北陸地方で就農するなら！ 農業者年金加入者の仲間になりませんか？

新規就農される方を含めて、農業者の皆さんが加入している国民年金の上乗せ年金として、農業者だけが加入できる農業者年金制度があります。

国民年金の支給額は40年加入で一人当たり月額6万6千円、夫婦あわせて月額13万2千円ですが、農家の老後の家計費は夫婦二人で月額約26万円かかっています。

このように国民年金だけでは老後の備えは十分とはいえず、老後の生活費は自分で準備する必要があります。サラリーマンは国民年金(基礎年金)の上乗せ年金として厚生年金に加入しています。新規就農された皆様も農業者年金に加入してサラリーマン並みの年金を受け取りましょう。

この農業者年金は、公的年金ならではのメリットに加え、政策年金ならではの特別な支援があります。

新規就農者への支援・優遇制度

- 農業に従事されている方(60歳未満の国民年金第1号被保険者で年間60日以上農業に従事)は誰でも加入できます。
- 自分が積み立てた保険料とその運用実績により将来受け取る年金額が決まる積立方式(確定拠出型)の年金なので、財政基盤が安定しており、少子高齢化時代でも安心な年金制度です。
- 保険料の額は、自分の必要とする年金額の目標に向けて自由(月額2万円~6万7千円)に決められます。
- 終身年金で80歳までの保証付きです。
- 支払った保険料は、全額(1人年額80万4千円まで)が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税(支払った保険料の15~30%程度)になるなど、公的年金ならではの税制上の優遇措置があります。
- 認定就農者(認定農業者)で青色申告をしている方など農業の担い手には、政策年金ならではの保険料の国庫補助(月額最高1万円)があります。



●運用実績の推移(単位:百万円、%)

| | 運用総額 ① | 時価総額 ② | 総合収益 ②-① | 修正総合 利回り |
|--------|-----------|-----------|-------------|-------------|
| 平成14年度 | 23,512 | 22,948 | △563 | △4.65 |
| 平成15年度 | 40,483 | 42,335 | 1,852 | 5.99 |
| 平成16年度 | 58,740 | 60,430 | 1,690 | 3.40 |
| 平成17年度 | 76,017 | 82,619 | 6,603 | 9.80 |
| 平成18年度 | 97,422 | 100,345 | 2,923 | 3.27 |

※過去5年間の利回りの平均は3.45%



●農業者年金に関するお問い合わせは、北陸地方各県の農業会議まで

新潟県農業会議 ☎025(223)2186(直)
石川県農業会議 ☎076(257)7066(直)

富山県農業会議 ☎076(441)8961(直)
福井県農業会議 ☎0776(21)0010(代)

全国農業図書

みんなで食育

食を育み、
農・命・未来を育む

砂田 登志子 著



おいしく食べて、スクスク元気に育つ「食育」は、自分の健康は自分で守り、つくっていく生涯学習です。現代の日本では飽食や過食が社会問題となっており、いまこそ、「食べる」ことの大切さ、「どう食べるか?」ということを真剣に考える必要があります。

「食育とは何か?」「なぜ食育が大切なのか?」

健康長寿の知恵を次世代へ伝承するための「漢字で食育」、子どもたちをひきつける具体的なアプローチなどの取り組みを、イラストを用いながらわかりやすく説明しています。

コード番号17-63、A5判・58頁
定価350円(税込) 送料実費

実践型農業マーケティング

フィールドワークに基づく、
実践的な
マーケティング手引書!!

マーケティングプロデューサー
平岡 豊著



「農業マーケティングを成功させるには、経営形態と目指すべき方向を見極めて、適切な顧客層と流通チャンネルを明確にすること」(第1章マーケティングの基礎知識より)

農業分野におけるマーケティングの第一人者・平岡豊氏が、フィールドワークによって得た豊富な実例を紹介するとともに、実践的な農業のマーケティングについて述べる。

コード番号18-20、新書判・179頁
定価800円(税込) 送料実費

発行 全国農業会議所
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-25-5 虎ノ門34M Tビル
TEL. 03 (5251) 3907 <http://www.nca.or.jp/tosho/>

新潟県新規就農相談センター

新規学卒者、Uターン・Iターン者等の就農、農業法人への就職を希望する方を支援するためのイベントです。
東京で開かれる「新・農業人フェア」に参加しない農業法人が、このフェアに集結。農業に興味のある方は、この機会は見逃せません。ぜひ、ご参加ください。



開催内容

- 先進農場の視察
- 新規就農者体験発表
- 農業法人合同求人説明会
- 就農相談会 他

開催情報

期日▶11月23日(祝)
時間▶9:00~16:30
会場▶朱鷺メッセ:新潟コンベンションセンター
(新潟市万代島6-1) ほか

☎ 025 (223) 2186 新潟県農業会議・新潟県新規就農相談センター
FAX. 025 (223) 2401 メール niikaigi@coral.ocn.ne.jp

東京では出会えない
農業法人に出会える貴重なチャンス!

新規就農チャレンジフェア

株式会社 六星

募集情報

募集人数▶1~2名
募集職種▶農産物生産業務、農産加工品生産業務、営業販売業務
応募資格▶18歳~40歳くらいまでの人
給与▶初任給/高卒15万円、専門学校卒16万円、短大卒17万円、大卒18万円
待遇▶健康保険、雇用保険、厚生年金、労災保険加入
勤務時間▶8:30~17:00
休日休暇▶夏季休暇、冬期休暇、リフレッシュ休暇(年間休日96日)
勤務地▶石川県白山市橋爪町

会社情報

設立▶1979年2月
資本金▶2,430万
従業員数▶役員・社員23名、パートアルバイト約20人
売上高▶6億(18年度)
事業内容▶代表取締役 軽部 英俊
特別栽培米・野菜の生産販売、餅・和菓子・漬

物加工の製造販売ほか
会社の紹介▶創業時代からのベテランと、これから担っていく多くの若手スタッフが合わせたバランスいいメンバー構成です。
代表より▶農業は自然相手の生産・販売ですので容易ではありませんが、可能性のある業種だと思っています。やる気のある方を求めます。

暮らし情報

白山市は海と山を有し、金沢からも20分ほど暮らしやすい地域です。周辺には大型ショッピングセンターも数多くあります。

応募情報

応募方法▶お気軽に電話かメールで御連絡ください。

☎ 076 (276) 5266 担当/軽部英俊
〒924-0812 石川県白山市橋爪町104
FAX. 076 (276) 5424
E-mail h-karube@rokusei.net
URL http://www.rokusei.net



米、野菜の栽培を基本に、餅や和菓子、漬物の加工を行ない、さまざまな形で販売しております。「コメコミュニケーション」を合言葉に、商品とそれまつわる真の情報をお客様にお届けすることで心豊かな生活に貢献することを理念としています。

農業における生産・加工・販売などのプロ集団を目指しています。農業の持つ可能性に挑戦してみませんか!

とやま農林漁業

就業相談会

2008年
1月20日(日)
開催!!

◎時間:午前10時~午後4時
◎場所:富山県民会館 富山市新総曲輪4-18 ☎076(432)3111

お問い合わせ先は…

(社)富山県農林水産公社

〒930-0096 富山県富山市舟橋北町4-19森林水産会館6階
◎農業部 TEL 076(441)7396 E-mail nou6@taff.or.jp
◎森林部 TEL 076(441)6747 E-mail rin3@taff.or.jp
◎水産部 TEL 076(431)9595 E-mail sui6@taff.or.jp

富山県農業会議

〒930-0005 富山市新桜町6-15富山県農業共済会館3階
TEL 076(441)8961 E-mail tominou2@fine.ocn.ne.jp

農 とやま農業未来塾にどうぞ!

「とやまで農業をしたい」と希望される方のために、農作業の実地体験が出来る研修制度を用意しています。

1. 対象作物
・稲作、野菜、果樹、花、畜産などから選択
2. 研修期間(随時受付)
・5~30日間の範囲内で、研修実施前の面談等により決定
3. 研修の受入先
・先進的な農家または農業法人
4. 研修費用
・研修先までの交通費等は自己負担となりますが、それ以外は無料。

問合せ:とやま農業未来塾 ((社)富山県農林水産公社 農業部)



漁 とやま漁業担い手センターのご案内

富山県の漁業界では、定置網、かごなわ、いか釣り等で新規就業者を募集しています。
当センターでは、富山県で漁業に就きたいという方への求職情報の提供及び就業相談を行っています。
まずは、お問い合わせ下さい。詳細をご説明します。

問合せ:とやま漁業担い手センター
((社)富山県農林水産公社 水産部)



林 林業への新規就業を希望される方に

次の支援を行っています。

1. 林業の就業への情報提供
2. 体験林業の実施(3日間程度)
3. 林業就業の準備などに必要な資金の貸付
4. 本格就業に必要な技術研修のお世話
(林業就業支援講習、緑の雇用担い手研修)

問合せ:林業担い手センター
((社)富山県農林水産公社 森林部)
(富山県林業労働力確保支援センター)



富山県に定住や半定住をお考えの方は、こちらへどうぞ
http://toyama-teiju.jp/

就農を選んだ理由から見た新規就農

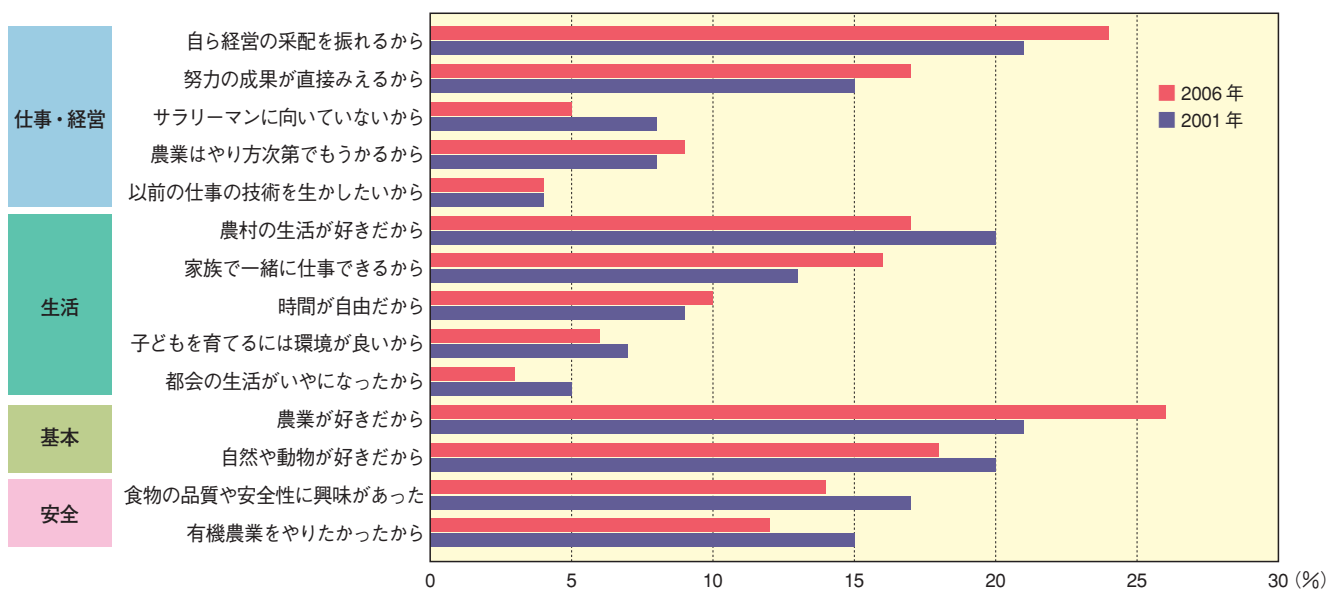
新規就農希望者は、近年ますます増えてきています。ここでは、実際に新規就農した人たちがどのような理由で農業を選んだのかを、全国農業会議所が新規就農者に行ったアンケート調査結果（注）を基に、2001年と2006年を比較して紹介します。

就農した理由14項目を大まかに4つに分類すると、「仕事・経営」に関する項目の多くが以前より増えています。「仕事・経営」のなかで減少しているのは「サラリーマンに向いていないから」だけです。「自ら経営の采配が振れるから」を理由とする割合がさらに増え、職業としての農業（経営）を意識している人が増加しているようです。

「生活・家族」は項目ごとに傾向が異なりますが、農村生活一般への期待よりも、「家族と一緒に仕事ができるから」や「時間が自由だから」といった具体的な理由から、就農による生活変化を求めるようになってきているようです。

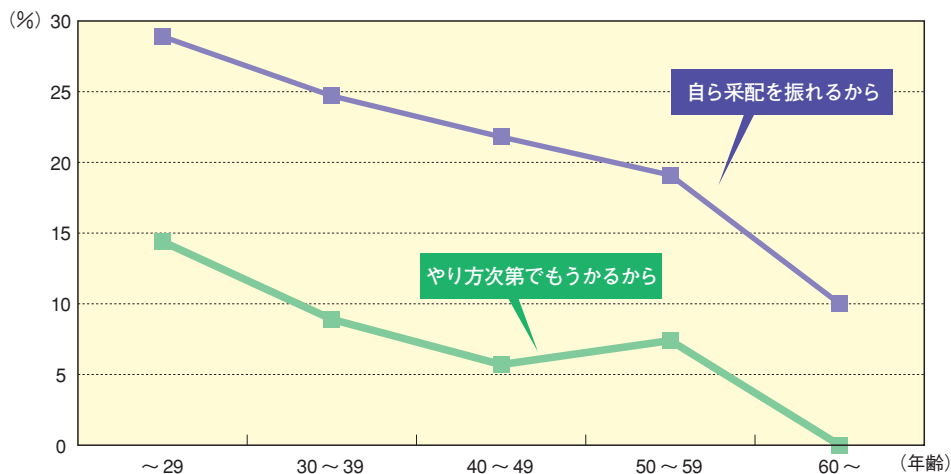
また、食品の安全・安心や環境問題など社会的関心を集めている「食物の品質や安全性に興味があった」、「有機農業をやりたいから」の項目は、その割合が下がりました。

図1 就農した理由（複数回答）



つぎに、増加する経営面への期待を世代別に見てみましょう。「自ら経営の采配が振れるから」や「農業はやり方次第でもうかるから」といった理由から、農業経営を積極的に評価している人の割合は、29歳以下の層で最も高く、年齢が高くなるにつれて基本的に低くなっています。

図2 経営面を理由として選んだ人の割合（世代別）



注) 各世代の中で、その項目を選んだ人の割合である。

(注) 2006年実施、回答588人（うち新規参入者490人）、回収率45.3%、および2001年実施、回答519人（うち新規参入者413人）、回収率33.7%。

農林漁業
ふるさと情報



Kieferbaum

千葉から鹿児島へ 生涯現役の仕事求めて

鹿児島県志布志市 宮崎 邦博さん



定植前のハウスに緑肥のソルゴーを鋤き込む

鹿児島県の大隈半島北部に位置する志布志市では、太平洋を臨む温暖な気候を利用して、ピーマンの施設栽培が行われている。1972年に国の指定産地となり、80年には総栽培面積22haを誇っていた。しかし、その後の栽培面積は減少の一途をたどり、指定産地の条件である10haを割り込んでしまう。

そこで志布志では、95年、新たな生産者の育成を目的に農業公社を設立。これまでに26戸50名がピーマン農家として独立を果たした。町村合併により、(財)志布志市農業公社となった現在も、11・12期生が、就農を目指して研修中だ。

宮崎邦博さん(56歳)は、その8期生。妻のみつ江さんとともに、栽培に取り組んでいる。

会社勤めの先が見えた50歳 生涯現役の仕事

以前は千葉県で電機メーカーの技術者として働いていた宮崎さん。50歳になった時、サラリーマンとして「先が見えた」と感じた。

「これからは昇給も期待できないし、役職手当でも55歳で打ち切り。このまま会社に残ったり、別会社に移ったりするのはなく、生涯現役で働きたい」

そこで頭に浮かんだのが「農業」だった。自宅に近い千葉県内の農家を訪ね、「日曜だけ、ボランティアで働きたい」とか、役場を訪ねて「空いた農地を貸してほしい」と頼んだが、研修先や就農先は思うように見つからなかった。

そこで県外の新規就農者の研修制度に

目を向け、資料を取り寄せてみると、いずれも年齢の上限は「おおむね50歳まで」。当時、既に50歳に達していた宮崎さんは「農業をやりたいければ、今動かなければ」と決意した。

こうして絞り込んだのは、岡山、島根、鹿児島県の3県。最初の2年間は月15万円の研修手当を受けながら、農業技術を身に付けられる条件は、ほぼ一緒。そのなかで一番遠い鹿児島県を選んだのは、最も温暖で施設栽培に有利だから。とくに太平洋側に位置する志布志は、鹿児島県のなかで最も日照時間が長く、冬のピーマン栽培に適している。

02年、池袋のサンシャインで開かれた、「新・農業人フェア」の相談会で鹿児島県のブースを訪れた時、産地指定を受けた志布志のピーマンは、価格的にも安定していて、素人でもやり方によっては成果の上がる作物だと知らされた。

「現実性の高い志布志のピーマンなら自分にも勝負できる。そう感じました」

独立採算制になった2年目 4度の台風に見舞われる

最初の1年は、公社の研修農場で、実習を通してピーマンの施設栽培を学んだ。宮崎さんは8期生。30代、40代の2組の夫婦が同期生で、先に研修を終えた7期生が、作業のことや、志布志での暮らしについて相談に乗ってくれた。

それまでは2年間の研修期間中、月15万円が支払われていた。ところが、8期生から「2年目から独立採算制にしてみては？」との話が持ち上がる。

1年目同様、研修農場のハウスを使って栽培し、できたピーマンを地元の農協へ出荷。その売上げが収入になる。

「できのよいピーマンを、自分で出荷できれば、努力だけで収入が伸びる。それはありがたい」

こうして始まった2年目。順調にいけば、月額15万円よりも、高い収入が見込めるはず。ところがその年の秋、志布志は4度の台風に見舞われた。

初めの2回は、育苗期間中だったので、苗はハウスに守られ、なんとか無事だった。3番目の台風は、苗を本圃に移植した後によってきた。

「どうすればいい？ 経験者に聞くと、『苗を倒すんだ』と」

ハウスのビニールをはがし、苗が吹き飛ばされないように、横倒しにして上から防風ネットを被せる。作業は夜の11時過ぎまで続いた。

「もし全滅して、収入の道が途絶えたら、どうすればいいのか……。あの年は10キロ痩せました。大変でしたけど、今思うといい経験になりました」

こうして守った苗は、見事に実を付け、10^{kg}当たり13・9^円の収穫を得た。

反収を上げながら ピーマンに付加価値を

そして3年目、いよいよピーマン農家として独立。30^{ha}の農地を農業公社の紹介により借りることができた。そこへハウスを建てるには、ハウスや暖房機の設定も含め、2000万円以上の資金が必要になる。研修を終えた就農者は、その

必要資金の7割を「活動火山周辺地域防災営農対策事業（通称・桜島防災事業）」による補助金、残りの3割を農業近代化資金の借入れで賄う。そんな制度的なバックアップがあるのも心強い。

今年8月、研修期間を含め5年目を迎えた宮崎さんのハウスでは、次作のピーマンに向けて、苗作りが始まっていた。8月にまいた種が、9月には人のひざ丈ほどになる。宮崎さんをはじめ、農業公社の出身者には、地元の農家を越える成績を上げている人が多い。今年は何れだけ収穫できるか楽しみだ。

宮崎さん自身、元々消費者だったこともあり、就農以来「できるだけ安心・安全な作物を」と考え、農薬の使用回数や量は極力減らしたいと考えてきた。だが、病気が発生し、散布をためらっているうちに、病気が広がったこともある。

「それなら、ピーマンの木そのものを強く育てよう」と、さまざまな農法にチャレンジしてみるが、農業書に書いてあるとおりはいかないのが現実のよう。それでも試行錯誤を繰り返している。

「緑肥のソルゴーを鋤き込んだところ。これで有機質を多く含んだ土になる」

やはり基本は土づくりと、研究に余念がない。そして、今後のピーマンづくりのビジョンについて答えてくれた。

「やり方は3つ。①規模拡大、②品質と反収のアップ、③無農薬有機栽培で付加価値を上げる。私は品質と反収を上げながら、付加価値を高めていきたい」

50歳を超えてイターンし、ピーマン農家として独立を果たした宮崎さん。「生涯現役」の道は、まだまだ続く。



妻・みつ江さんと、千葉県木更津市から志布志市へ移住（写真左上）
就農後も試行錯誤の連続。研究熱心な宮崎さん（写真中上）
8月に種まきをしたピーマンの苗（写真右上）

就農後も農業公社や地元の普及センターの職員が相談に乗ってくれる（写真左）

丹精した苗が花をつける それが一番の喜び

大阪府八尾市 藤田植物園 坂東 成登司なるとしさん

「人生を変えたい」
歯科技工士から農業へ

「よく通りがかかっているのに、こんな会社があつたとは気づかなかつた」

坂東成登司さん（33歳）が研修先として紹介された法人は、自宅の近所だつた。Iターンの独立就農と比べると、小川をひよいとまたぎ越すほどの転身かもしれない。しかし、農業の世界に踏み込む決意と熱意に質の違いはない。



ブレイクが期待されているクリスマスローズの品種「ニゲル」。気品のある白一色のみ。冬に向かって丈が伸び大輪になるので切り花やブーケにできる

坂東さんは、大阪府八尾市のサラリーマン家庭に生まれ育つた。子どものころには田畑がまだ残っていたが、今ではそれらがマンションや駐車場に姿を変えた。専門学校を出て歯科技工士となり、園

の詰め物や義歯をつくる会社に勤めた。

「20歳で就職して10年、毎日部屋に閉じこもって入れ歯をつくっていました。外が晴れているのか雨なのか、極端な話、昼か夜かさえかわからない毎日でした」
体を動かすことが好きで、アウトドアが趣味。20代後半から漠然と「人生を変えたい」と思い始め、「農業だ！」とひらめくと、後先を考えずに辞表を出した。

研修で少しずつ基本を覚える

「研修あり、できれば法人、大阪府内」
最初の一步は、この3点に絞つた。
「農業は自分に向いているのか、体力がもつのか、考え始めると不安ばかり。だから研修で確かめたかつた」

インターネットで研修先を探し、野菜栽培の短期研修を体験した後、2003年秋、「新・農業者フェア」で大阪府のブースを訪ね、藤田植物園を紹介された。



●藤田善敬よしのり専務の話

研修中は、いつでもなんでも質問できる環境づくりに気を配っています。社員の仕事はパートさんに指示を出すこと。坂東君はよく頑張っていますよ。今後の課題は「売る感覚」。お客様の顔が見える広い視野を身につけてほしいですね。

冬に咲くクリスマスローズ。秋の花芽は摘み取って苗に体力をつけさせる（写真上）ヨーロッパ生まれの花は暑さが苦手。標高500mの農場で大事に育てられる（写真下）

藤田植物園は、鉢花の種苗生産と販売、卸を手がける。近年ヨーロッパ直輸入のハイドラランジャー（アジサイ）とクリスマスローズに力を入れ、全国的にブランドを築きつつある。昨年の売り上げは3億1千万円。社員は20名（パート含む）。

坂東さんは05年2月から1年間の研修期間を経て、正社員に採用された。現在は、自宅近くの八尾市本社に出社してから、車で1時間半の京都府南山城村童仙房にある農場へ。パート従業員をまとめながら花苗の栽培と出荷に専念する、という毎日だ。

組織のなかで働くほうが向いていた

「自宅から通えるし、研修は卸の仕事から始めて、徐々に花苗づくりの基本を覚えていったので入りやすかつた」
農業分野やスタイルにこだわりはなか

つたので、花に抵抗はなかつた。チューリップぐらいしか知らなかつたのが、最近道端の花壇や庭園などをつい、鑑賞ではなく「栽培の目」で見ている。以前は気恥ずかしくて苦手だつた花屋にも、ごく自然に立ち寄るようになった。

「丹精した苗が花をつける時が一番うれしい。前の仕事のことを思うと、ストレスもなく楽しいです。組織のなかで働くのは、リスクもなく、自分には合つていたと思う。独立は考えていません」

ただし、毎日楽しいばかりでもない。とくに、11月から1月の出荷ピーク時は目が回る忙しさ。気持ち煮詰まつて「休みたい」と思うこともあるが、歯を食いしばって乗り切るしかない。

「会社の業績が上がるように頑張りたい。それにそつて給料も上がれば」
就農5年以内に一人前の仕事ができるようになること、これが目下の目標だ。

入社4年目 鶏のことがわかり始めた

熊本県菊池市 有限会社コッコファーム

寺村 奈津子さん



「最初は現場の仕事で精一杯。慣れると鶏の状態を気遣えるようになります」

動物が大好きで農学部へ

を求めて、開店前から行列ができる人気ぶり。加工品の販売や、オムライスと親子丼専門店の「健食館」も運営する「卵の総合商社」である。

寺村奈津子さん（26歳）は、入社4年目。成鶏部門に所属。鶏の飼育と同時に、水や飼料の減り具合、産卵数などの数値をチェックし、成育状況や衛生面のデータを管理するのも日々の仕事だ。

「私が記録したデータを基に、鶏が元気になってくれたり、産卵率が上がったりした時はうれしいですね」

体の線が細く色白で、物静か——そんな寺村さん。入社当時から鶏と一緒に仕事ができる「現場」を希望していた。

愛媛県松山市生まれ。サラリーマンの家庭に育ち、子どものころから動物が好きだった。「もっといろんな動物と触れ合いたい」と鹿児島大学農学部へ進学。卒業論文のテーマは「鶏と飼料の関係について」。豆腐粕などの食物残渣を飼料化して鶏に与え、その影響を調べるといっても、パソコンを使い、データを記録す



「大切なのは、鶏と話ができることです」と松岡義博社長

る方法は、学生時代に身に付けた。

「卒業しても動物のそばで働きたい」ネットのHPでコッコファームの存在を知ったが、当時の採用枠はなかった。「それなら見学だけでも」と、書きかけの卒論を携えて車で現地を訪れ、松岡義博社長との面接に漕ぎ着けた。当手を振り返り、社長は「決して饒舌なタイプではないけれど、強い『思い』を感じた」という。こうして入社が決定した。

緻密なデータで産卵率アップ

入社1年目は、生まれたての雛を外から受け入れて育てる育成舎の仕事をした。当時は現場の仕事をこなすだけで一杯の日々だった。また、会社としても生産現場に若い女性が入るのは初めてで、ほかの社員は「お互い慣れないこともあって、『これは女性の仕事じゃない』とか、気を使うことが多かったですね」と当時の振り返る。

その後、卵を産む成鶏舎へ。鶏の世話と並行して、温度や湿度、飼料や水の減り具合を調べ、日齢の違う鶏の体重測定などを行った後、パソコンに向かい、数値を打ち込んでいく。

コッコファームでは、かつて現場担当者「カン」に頼って飼育方針を決める

部分が多かった。だが、寺村さんが入ったことで客観的なデータに基づいた飼育計画を立てられるようになり、それが産卵率アップに繋がっている。

自ら400羽の鶏を飼育して会社を起した松岡社長は、養鶏の仕事は「いかに鶏と話ができるか」が大切と語る。

「鶏と同じ気持ちを持てる共有できれば、上司の指示がなくても動けるようになります」今年で4年目。最近寺村さんは「今日は蒸し暑いから、産卵率が減るかも」など、予測できるようになってきた。

「5年後、10年後のことはわからないけれど、やっぱり動物と接していきたい」

日々のデータをとり続けながら、鶏と「話のできる生産者」を目指している。



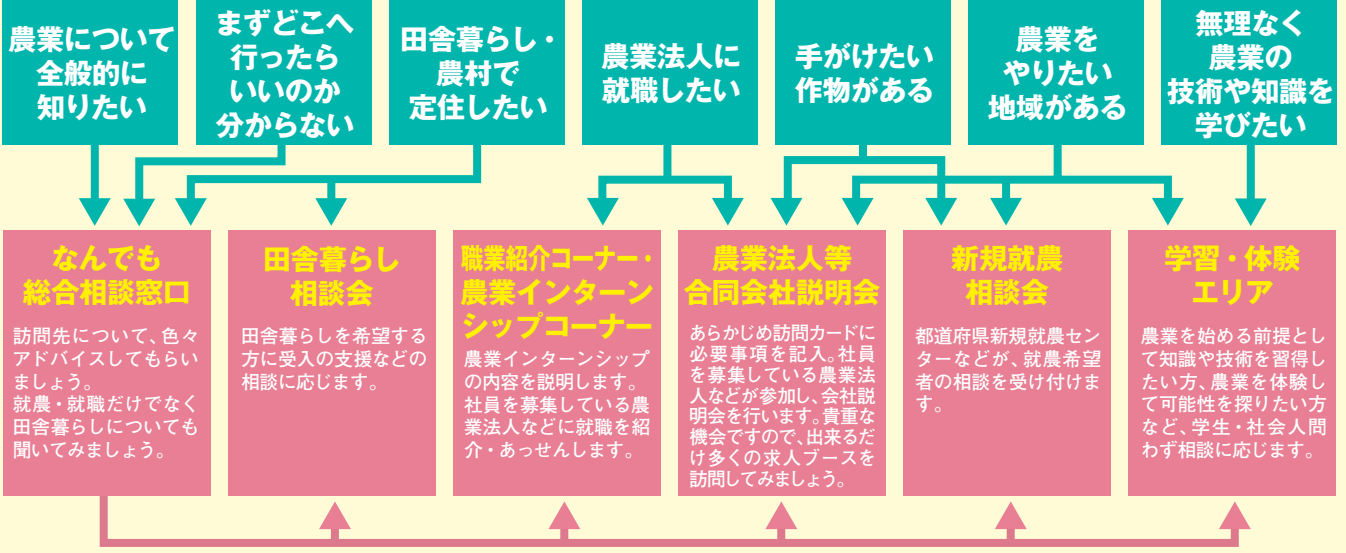
「コッコファーム」は、鶏舎、直売所、レストラン、観光バナナ園、展望庵のある、自然循環型テーマパーク

新・農業人フェア'07の歩き方

記入・筆記コーナー
まずブース訪問カードに自己PRを記入します

入口
パンフレット、会場マップ、アンケート、ブース訪問カードを受け取ります

あなたのタイプは…？



新規就農セミナー

就農するためのガイダンスや就農者の
体験発表などが行われます。

新・農業人ネットワーク 相談コーナー

新規就農セミナーで体験を発表した就農者が、
直接来場者の質問に答えます。

資料コーナー

パンフレットや書籍など、様々な資料があります。
情報収集のためにお役立てください。

- 東京会場 池袋サンシャインシティ・ワールド
インポートマートA2・A3ホール
6月9日(土)、9月15日(土)、2008年3月15日(土)
東京都豊島区東池袋三丁目1番1号



出口
(アンケートを提出してお帰りください)

開催時間：10：30開場 → 16：00終了
※札幌会場のみ17：00終了

- 東京会場 東京しごとセンター
11月17日(土)
東京都千代田区飯田橋3-10-3



- 札幌会場 ロイトン札幌
2008年2月16日(土)
北海道札幌市中央区北1条西11-1



- 大阪会場 OMMビル
12月22日(土)
大阪市中央区大手前1-7-31



- 大阪会場 梅田スカイビル・
タワーウエスト10F 梅田アウラホール
5月26日(土)、2008年2月24日(日)
大阪市北区大淀中1-1



フェアに行ってみよう

「新・農業人フェア」は、新たに独立して農業を始めたい人、農業法人に就職したい人、野菜など自給農産物を作りながら田舎で定住を考えている人などのための総合イベントです。

このフェアは、1997年度から毎年開催されて、これまでに延べ約5万人の来場者を迎えています。

最近では、「農業にビジネスチャンスを感じる」という若者が増え、農業が職業の選択肢の一つとして認知されるとともに、農業法人においても他産業の有能な人材を雇用する動きが出ています。また、これらの社会的ニーズに加え、団塊世代の大量定年、国民の食の安全、環境に対する関心の高まりなどから、農村・田舎暮らしに関連した情報も求められています。

こうしたことから、全国農業会議所・全国新規就農相談センターでは、広く一般の方々を対象に新規就農の実態や方法



新規就農セミナー

などについてのPRと就農希望者の相談に応えるため、年数回、「新・農業人フェア」を主要都市において開催しています。

具体的には、「新規就農相談会」（都道府県・市町村など就農支援対策を持つ自治体・機関などの窓口相談）、「農業法人等合同会社説明会」（従業員、研修生を求める農業法人の相談窓口）、「新規就農セミナー」（新たに就農するためのガイダンス、新規就農者・就職就農者など経験者からの事例発表会）、「農業インタースHIPコーナー」（農業法人で就業体験を希望する人のための相談に応じる）などに加え、「田舎暮らし相談会」（自給自足など田舎暮らし希望者のための個別相談）も開設しています。

会場に入りましょう

まず受付で、出展している農業法人や自治体・機関の情報を掲載した「パンフレット」「会場マップ」「アンケート」などの資料と「ブース訪問カード」を受け取ります。ここでどんな法人や自治体・機関が出展しているのか目をとおしてみましよう。

会場案内図で、出展者の配置も確認しましょう。つぎに「記入・筆記コーナー」で、入場時にもらった「ブース訪問カード」に記入し、ブースに行つて名刺代わりに提出し、就農相談をしてください。会場によって多少の違いはありますが、「農業法人等合同会社説明会」や自治体等の「新規就農相談会」が各都道府県ごとに並んでいます。ほかにも農業の学校やインターシップを案内している「学

習・体験エリア」、田舎暮らしや農村定住の実情や支援策が聞ける「田舎暮らし相談会」があります。

これらのほかにも「なんでも総合相談窓口」「新・農業人ネットワーク相談コーナー」「職業紹介コーナー」「農業インターシップコーナー」があります。漠然と農業をやりたい、農村にあこがれている方々は、このコーナーで相談するのも一つの方法です。

また会場中央のステージでは、「新規就農セミナー」として相談センターの相談員からの「新規就農ガイダンス」、新規就農者や就職就農者の経験・体験などの事例発表が行われ、農業法人での就業体験を希望する方々には「農業インターシップコーナー」も行われます。先輩

求人エリア



就農相談エリア

たちの経験談やアドバイスを聞くことも重要な情報収集となります。

各ブースに訪問する合間には、「資料コーナー」で各都道府県・市町村、法人の資料を収集するのもよいでしょう。

来場者の方々は、それぞれ「どんな農業をしたいか、稲作か、野菜か、はたまた畜産か」、あるいは「どこの地域が希望か」などさまざまな目的を持っていきます。また、自治体・機関、農業法人もいろいろな支援策や経営形態があります。まずは、じっくりと情報を集め、相談を重ねることが大事です。そして、希望する現地を訪ねることが必要でしょう。

フェアは、来場者の方々に多くの情報を持つて帰っていただく場です。そして、面接や試験ではなく、あくまでも就農・定住に関する総合イベントですので、お気軽にご参加ください。

最後に、このフェアをさらに充実させていくため、お帰り際には「アンケート」の記入・提出にご協力ください。



総合相談窓口

五感を
満たす仕事

農林漁業を やってみよう!!



農協職員

有機無農薬
農家へ

父の転勤で引越20回。「自分のオリジナリティって何だろうと考えたときに、頼るべき風土も文化も持たない自分に愕然としたんですよ」と佐藤さん。大学卒業後、就職した会社の研修で行ったアメリカ、見渡す限りの農地を前に衝撃を受け、農家として生きる道を決意。最初は分からないことだらけでしたが、6年後にはなんと農業法人を設立しました。そんな佐藤さんの成功の秘訣とは…

「**自**分の根っこづくり」のために
農業をはじめました。



都会の
サラリーマン

森林組合へ

サラリーマン生活から一転、1ターンで林業に転職した一戸さんと古田さん。「もともと自然に興味があり、地球温暖化や林業従事者の高齢化のニュースを耳にしてから林業に興味が湧きました」。しかしふたりとも全くの未経験者。就職した後も山の斜面に立つだけでもキツイ日々。そんなサラリーマン2人が本格的に林業に惹かれていった理由とは…

「**都**会での仕事にストレスを感じていたとき、
思い浮かんだのが森なんです」



区役所職員

山村活性化
施設スタッフ



学生時代から山に登っていた水野さん。友人に連れられてよく訪れていた森の家、当時の森の家の支配人と話した「空気が出来たら、ここを手伝わせてください」その一言で水野さんの山での仕事が始まりました。12月から4月まで雪に埋もれている生活、不便ではあるがそれすらも楽しかったと言う、「春がウキウキするもんだなんて感じたこともなかった」今の仕事がとても楽しい!!その理由とは…

「**山**が好き」たまたま出会った森の家
何気ない一言で人生が一気に動き出しました。



私鉄の駅員

離島の
漁師へ



鈴木さんは元私鉄職員。鉄道高校を出て、首都圏の駅で駅員や車掌を10年近く勤めていたが「でも僕、人混みがダメなんですよ。朝のラッシュ時に駅にしていると、人の流れを見ているだけで酔っっちゃって(笑)」。転職を意識し「どこか田舎で暮らしたいなあ」という想いから、駅員→離島の漁師へ。そこで待っていた想像以上の仕事と暮らしとは…

「**人**混みが苦手な駅員。
「どこか田舎で海の仕事をしたい」が始まりでした。



<http://www.aff-job.go.jp>



はじめませんか？ 中海干拓地でかなえる あなたの農業

干拓農地を 借りて始める

干拓農地リース事業

(中海干拓揖屋・安来地区入植促進農地貸付事業)

**広大な農地を最大5年間
無料でお貸しします。**

●ご利用可能な方

- ①リース期間終了までに対象となる農地を購入される方
- ②農地の維持管理に必要な土地改良賦課金を支払える方

●メリット

- ①営農開始が借地でできます。
- ②リース期間が長期であり、経営安定が図れます。
- ③営農開始時の初期投資が軽減できます。
- ④中途解約してもペナルティーはありません。

新・農業人フェア出展決定

東京会場 08年3月15日
大阪会場 12月22日・08年2月24日
御来場お待ちしております。

干拓農地を 買って始める

農地等取得支援事業

(中海干拓揖屋・安来地区農地等取得支援事業)

**中海干拓農地の取得資金を
無利子で融資します。**

●資金の種類(金利は無利子)

- ①干拓農地取得費を融資(最長20年均等償還)
- ②パイプハウス建設費用の1/2以内を融資(最長10年均等償還)
- ③農地高度化のための土壌改良等に必要な資金(10a当たり18万円)を融資(最長15年償還、内5年据置、償還免除制度あり)

●ご利用可能な方

- ①認定就農者(概ね40歳以下)
- ②認定農業者
- ③農業生産法人
- ④農地リース事業を実施している①～③の方

●詳しい内容・お問い合わせはこちらへ

財団法人 **しまね農業振興公社** (島根県青年農業者等育成センター)

HP <http://www.agri-shimane.or.jp/>

E-mail kousha@agri-shimane.or.jp

就農相談 ☎0852 (32) 2300

干拓情報 ☎0852 (22) 5115

〒690-0888 島根県松江市北堀町15番地

山口県は、意欲的に農林漁業に取り組む方を求めています

新・農業人フェア
東京(3/15)、大阪(12/22、08/2/24) 出展

やまぐちの豊かな自然の中で夢を実現しませんか!

就農現地見学バスツアーの参加者を募集!

山口県内での新規就農に関心がある若い方を対象として、新規就農者などが頑張っている農業の現場を訪ね、体験談などの本音を聞くとともに、山口県の新規就農支援制度などの紹介を行う就農現地見学バスツアーを開催いたします。

- ◆ 日時 平成19年11月25日(日) 午前9時～午後5時
- ◆ 内容
 - ① 現地見学及び意見交換(山口県萩市内)
 - ・農事組合法人 こぶし 【トマト】
 - ・新規就農者(新規参入者) 【メロン、トマト】
 - ・有限会社 マムマムすさ 【キク】
 - ② 新規就農支援制度などの紹介(往復の車中)
- ◆ 集合場所
 - ① 山口県JA会館前庭(山口市小郡下郷2139)
 - ② JR新山口駅新幹線口バス停
- ※ 都合の良い方を選択してください。
- ◆ 対象者 山口県内での就農に関心がある40歳未満の方
- ◆ 募集人数 20名程度(応募者多数の場合は抽選します。)
- ◆ 参加経費 1,500円(当日徴収、昼食代他)
- ◆ 申込方法 財団法人やまぐち農林振興公社へ電話またはEメールでお問い合わせください。
- ◆ 募集期間 平成19年10月29日(月)～11月16日(金)



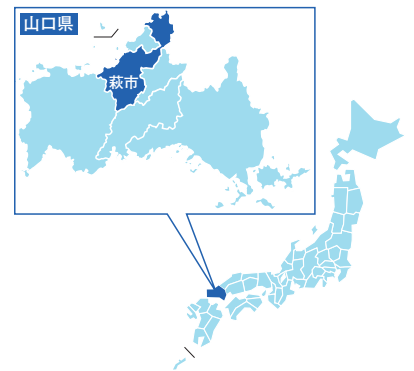
農事組合法人 こぶし



新規就農者(新規参入者)



有限会社 マムマムすさ



萩市の新規就農者受入情報

◆ 農業の概要・特徴

気候は、沿岸部では対馬海流の影響を受け比較的温暖で、中山間部は盆地特有の気候であり、変化に富んだ自然豊かな環境を有しています。
主要作物は水稲ですが、野菜ではハクサイ、ダイコン、キャベツ、タマネギ、トマトの指定産地、キャベツ、ブロッコリー、スイカ、ナス、キュウリ等の認定産地があり、キク、シクラメン等の花き、ナシ、モモ、ブドウ等の果樹産地と、地域条件を活かした産地が数多くあります。

◆ 就農支援の特徴

- ① 研修期間中は、研修費の助成制度(月額15万円、2年以内)があります。
- ② 研修生専用住宅のあっせんや、近隣の住宅等の情報提供を行います。
- ③ 経営を開始するために必要となる農地の確保や施設・機械の導入等についても、県の事業等を活用して、積極的な支援を行っています。

◆ 就農受入れ情報

- ① 田万川地区…果樹(モモ、ナシ、クリ、ブドウ、リンゴ等)
 - ・ 平山台果樹生産組合が指導・支援します。

- ・ 現在栽培中の果樹園をあっせんします。
- ② むつみ地区…トマト
 - ・ 山口あぶトマト生産者(全員エコファーマー)の指導のもと、ほ場を活用しながら実践的な研修を行います。
 - ・ 研修滞在施設があります。
 - ・ 中古ハウス等のあっせんもします。
- ③ 須佐地区…キク
 - ・ 先進農家のもとで栽培研修(別途研修費支援有り)後に、キク専用の花き研修施設で、法人からの指導を受けて本格的・実践的な研修を実施します。
 - ・ 現在1名を募集中。
 - 要件:50歳未満で、ある程度の自己資金が準備できる方
- ④ 福栄地区…ブドウ
 - ・ 平原台農業生産組合の農家から指導を受けながら、ブドウ栽培研修を行います。
 - ・ 滞在研修施設があります。
 - ・ 現在栽培中の観光ブドウ園をあっせんします。

山口県の新規就農者への支援

自ら農業を営むことを希望される方

■ 支援1 地域に密着した受入支援体制の整備

就農現地で新規就農者等と意見交換するバスツアーの開催、先進農家等における体験研修農場の設置、営農・生活面の身近な相談者となる現地就農アドバイザーの配置などを行っています。

また、インターネットを活用した「体験・援農支援システム」などにより、農作業体験等の情報や場の提供を行っています。
<http://taikennou.y-agreen.or.jp>

■ 支援2 就農に関わる情報の提供

技術習得のための研修や農地、住宅などの情報を提供します。

■ 支援3 月額15万円(上限)の研修費助成

農業基盤や農業経験がない方に対して、一定期間、研修費を助成します。

■ 支援4 無利子・低利の資金の貸与

就農支援資金や新規就農資金など、有利な資金をお貸しします。

■ 支援5 農地の無償貸与

農地を一定期間、無償でお貸しします。

■ 支援6 農業機械・器具のリース制度があります。

経営開始に必要な機械・器具などをリースします。

※ これらの支援を受けるためには、一定の要件を満たす必要があり、また、要件を満たしても、県や市町の予算等の関係で支援を受けられない場合がありますので、ご注意ください。

農業法人への就職を希望される方

公社では、山口県農業法人協会の事務局を持っている山口県農業会議や学生の農業法人への就職を斡旋している山口県農林総合技術センター農業研修部(農業大学校)とともに、無料の職業紹介事業に取り組んでいますので、農業法人への就職について、情報を提供します。

また、農業法人への就職を目指して先進農家等で研修を受ける場合には、一定の要件を満たせば、就農支援資金(就農研修資金)をお貸しできます。

農林漁業への就業に関する総合相談窓口は… 財団法人やまぐち農林振興公社

〒753-0821 山口県山口市葵二丁目5番69号(山口県葵庁舎1階)
TEL:083(924)8900
FAX:083(924)5719
E-mail:yashuno@y-agreen.or.jp
URL:http://www.y-agreen.or.jp

農林漁業・農山漁村での就業・定住をお手伝いしています
(財)やまぐち農林振興公社 定住就業企画推進協議会

農業せんね 人生二毛作の実現

50才代のあなた!



「くまもとへ来なっせ」

中山さくらんぼ園：中山 康さん
定年退職後に阿蘇でリンゴと
さくらんぼの観光農園経営

【50才代】 【団塊の世代】 【定年後】
二毛作人生は ホップ、ステップ、ジャンプで

就農希望者

団塊世代

50才代

中高年
退職者

退職前

初級農業コース
土・日農業、農業実践講座
先進地視察研修
農業体感コース
農業体験、農家ボランティア

充実した セカンドライフの 実現

退職後

実践農業研修：仮就農、就農資格研修
農業インターンシップ
田舎くらし講座：農地・住宅の確保
起業支援：農業法人就職、独立就農

農林水産省「農業再チャレンジ支援」事業

シンポジウム 「人生二毛作の実現」

平成19年11月
北九州市で開催予定

新・農業人フェア

東京 (08/3/15)
大阪 (12/22・08/2/4) 出展

充実したセカンドライフの実現

NPO 法人 阿蘇エコファーマーズセンターがお手伝いします! 【担当：財津、吉村】 ☎0967(68)0552

〒869-1401 熊本県阿蘇郡南阿蘇村立野 203-1 FAX: 0967-68-0275 E-mail: ecofarmers@asoeco.jp HP アドレス http://www.asoeco.jp/

鳥取県立農業大学校

就農を目指す皆さん
鳥取県立農業大学校は
あなたを待っています!



鳥取県で農業を
したいあなた
連絡をお待ちしています!

平成20年度から新教育体系に変わります。
次の2つの教育課程で就農を目指す社会人を受け入れます。

養成課程 (専修学校)

高校卒業程度の若者とともに学生として、生産から販売までの専門的な知識、技術を体系的に習得します。

退職後就農者やI・Uターンなどの社会人も特別枠を設けて受け入れます。

- ①科：農業経営学科
5専攻コース（果樹、野菜、花き、作物、畜産）に分かれます
- ②修学年限：2年間
- ③定員：30名（社会人特別入学枠5名程度を含む）

※社会人：平成20年4月1日現在で年齢65歳未満、かつ3年以上の職歴があり、卒業後県内に就農することが見込まれる方。

④社会人特別入学の受験日程

| 区分 | 前期試験 | 後期試験 |
|------|------------------|-----------------|
| 受付期間 | 11月15日(木)～30日(金) | 1月16日(水)～31日(木) |
| 試験日 | 12月16日(日) | 2月17日(日) |
| 合格発表 | 12月21日(金) | 2月22日(金) |

研修課程

退職後就農予定者やI・Uターンなどの就農希望者を対象として、短期間で就農の際に即戦力となる技術や知識を習得します。

- ①科：短期研修科
- ②修学年限は1年以内とします。
- ③コースと入校時期

| コース | 回数/年 | 入校時期 |
|------|------|-----------|
| 3か月 | 3 | 4月、7月、10月 |
| 6か月 | 2 | 7月、1月 |
| 12か月 | 1 | 4月 |

※果樹、野菜、花き、作物、畜産の各専攻で行いますが、コースによって受講できない専攻があります。

④20年4月入校分の申し込み日程

| 区分 | 3か月、12か月 |
|-------|------------------|
| 受付期間 | 1月21日(月)～3月6日(木) |
| 面接日 | 3月21日(金) |
| 許可通知 | 4月2日(水) |
| 開講予定日 | 4月22日(火) |

(注1) 募集要項をホームページ上で公開しています。また電話、電子メールによる資料請求も受け付けています。
※学生寮（男女別棟、個室（バス・トイレ等共用））を完備。
詳しくは右記までお問い合わせください。

新・農業人フェア
大阪 (12/22) 出展

お問い合わせ 鳥取県立農業大学校

☎0858(45)2411 担当/須崎

〒682-0402 鳥取県倉吉市関金町大鳥居1238 FAX.0858(45)2412

E-mail: nogyodaigaku@pref.tottori.jp

URL: http://www1.megaegg.ne.jp/tonoudai

就農準備校／(社)全国農村青少年教育振興会

就農準備校は、農業に興味がある方、将来農業をしてみたい方が、農業についての基本的な知識や技術を学べる学校です。

大都市圏に働くサラリーマンの方、一般の方でも夜間、土日など無理のないスケジュールで学べ、将来の就農のための準備として役立つように、農林水産省の支援で開校しています。東京にある就農準備校本部を含めて、全国に6校開校しています。

(社)全国農村青少年教育振興会

[就農準備校本部]

〒114-0024

東京都北区西ヶ原1-26-3

電話03-3949-3332 FAX03-3949-3301

日本農業実践学園

〒319-0315

茨城県水戸市内原町1496

電話029-259-2002 FAX029-259-2647

八ヶ岳中央農業実践大学校

〒391-0112

長野県諏訪郡原村17217-118

電話0266-74-2111 FAX0266-74-2382

全国愛農会

〒518-0221

三重県伊賀市別府740

電話0595-52-0108 FAX0595-52-0109

大阪テクノ・ホルティ園芸専門学校

〒584-0021

大阪府富田林市中野町2-518-2

電話0721-24-5147 FAX0721-25-0726

福岡地区職業訓練協会

〒813-0044

福岡県福岡市東区千早5-2-24

電話092-671-6831 FAX092-672-2133

就農情報資料

「就農準備校副読本(農業一般、野菜、花き)」
頒布価格：各冊1部 1,000円
(消費税込み)、送料別途

E-mail塾(入門コース)

全国どこからでも学べる通信講座
(農業一般、野菜、花き、果樹、有機農業)
<http://www.ryeda.or.jp/emailjuku/>

農業eラーニング講座(専門コース)

全国どこからでも学べる通信講座

●野菜：①果菜類

●野菜：②葉菜類

●養鶏：平飼い

<http://www.e-nogyo-koza.net/>

新・農業人フェア

東京(11/17・08/31/15) 出展

大阪(12/22・08/2/24) 出展

就農準備校本部

☎03(3949)3332 担当/伊丹・藤田

〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-26-3

農業技術会館2階

FAX.03(3949)3301

URL <http://www.ryeda.or.jp/>

あなたの仕事として農業を考えてみませんか？

はじめの一步、
応援します。 **就農準備校**

[就農準備校コース説明]

※交通費・食事代・宿泊費は実費となります。

■体験コース/日帰り、又は1泊2日で「就農準備校」の実習を体験するコースです。

■入門コース/農業に興味があるが今までに農業の経験がない方のコースです。

■専門コース/今までに農業経験のある方が、本格的に農業を勉強するコースです。

■実践コース/農業を本格的に勉強し、将来就農を希望する方のコースです。

全国農業図書

新規就農

ガイドブック

—自治体等の受入支援情報付—

全国新規就農相談センター 編



新規就農の入門書

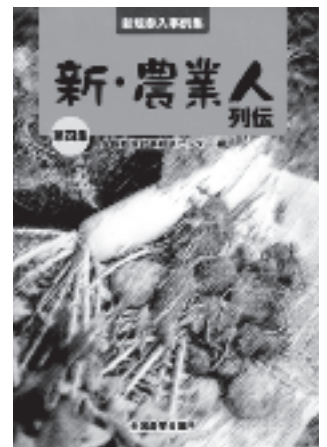
新・農業人
列伝 第四集

新規参入事例集

全国新規就農相談センター 編

コード番号18-34、A5判、95頁

定価700円(税込)、送料実費



市町村の受け入れ支援事業を追録

「農業をやりたい」「農業法人に就職したい」という夢を実現するための必要なことを中心に、新規就農した先輩たちの事例、各種制度、相談窓口や都道府県・市町村の受け入れ支援事業などをまとめた最新版です。

今回の改訂では、都道府県・市町村の受け入れ支援事業の一覧を更新したほか、コラム「知っておきたい保険・税・移住の手続き」を加えました。

コード番号：18-51、A5判・240頁

定価1,200円(税込)、送料実費

新・農業人の奮闘記を綴った就農マニュアル

本書では、29人の新規就農者の就農の動機、農地や技術の習得、資金や住宅の確保など、就農するための取り組みを掲載。自分の体験をもとにした就農希望者へのアドバイスなどを余すところなく紹介しています。

農業を始めるにあたって、また、始めた後にぶつかった問題を、どう乗り越えていったのか、それぞれの経験が語られています。

新・農業人列伝 第参集

—新規参入事例集— 全国新規就農相談センター 編

コード番号17-47、A5判、162頁、定価1,000円(税込)、送料実費

絶賛発売中!!

北海道 幕別町

募集情報

短期研修生

1年を基準にした農業体験コースです。これから新規就農を目指す方はもちろん、食物についてもっと知りたい、北海道の畑で働いてみたい、農作業を経験したいなど、農業に関心のある方を幅広く歓迎します。

フロンティア研修生

短期研修の後に、新規就農を目標にするコースです。「農業で生きていくんだ」という決意の方は、短期研修を修了した後に審査を経て、このコースに進むことができます。

こんな方を募集します

●募集人員：若干名

○就農を目指す方は、概ね35才までの方。体験コースを希望する方については、年齢は問いませんが、心身ともに健康で、農作業が可能な体力のある方。
○普通自動車免許が必要です。

将来フロンティア研修生を目指される方については、必要となる自己資金を準備できること、妻帯者が前提となります。現在、忠類地区の酪農で新規参入を目指す方、大募集！詳しくは、事務局までお問い合わせください。

生活環境

○アパート形式の住宅を完備していますので、プライベートはしっかり確保されます。オール電化対応の快適な施設です。
○幕別・札内市街地までは車で15分ほどで、金融機関や食料品等の生活に必要なものが揃います。隣接する帯広市・忠類市街地へは30分程度です。

まくべつ農村アカデミー

事務局 財団法人幕別町農業振興公社

☎ 0155 (57) 2711

北海道中川郡幕別町字新和162番地128

FAX. 0155 (57) 2716

http://north.hokkai.net/nogyosinkokosya/

E-mail:nogyosinkokosya@north.hokkai.net

新・農業人フェア
札幌 (08/2/16) 出展



空と土の間で生きるという選択

幕別町は十勝平野の中央部に位置する町です。畑作、露地野菜、酪農等の多様な農業が営まれており、きっとあなたの希望する研修ができるでしょう。まくべつ農村アカデミーは、平成7年に開校以来、多くの卒業生を送り出してきました。新規就農を希望される方々をはじめ、大学における卒業論文のためや消費者として農業を深く知りたい方等、様々な方がおられました。本気で農業について考えたいのなら、私たちはきっとあなたの力になることができます。

北海道 天塩町

農業研修生募集情報

- 対象者：概ね18歳以上35歳未満の方（概ね2ヶ月以上研修できる方）
 - 研修内容：搾乳、牛舎の清掃、餌やり、牛牛の世話など、酪農経営全般
 - 研修コース
 - 短期コース：2ヶ月以上（女性のみ）
 - 長期コース：1年以上（性別不問）
 - 待遇
 - ①手当：1日6,500円（ホームステイの場合、受入農家へ食費等1,500円を支払います。）
 - ②休日：1週間に1日
 - ③交通費の支給
 - ・6ヵ月以上研修した場合：帰省交通費支給
 - ・12ヵ月以上研修した場合：往復交通費支給
 - ④貸与：作業服・長靴
 - ⑤宿泊先：トレーラーハウス、受入農家宅へのホームステイ、公営・民間住宅（家賃の助成）
- 注）上記の情報は配偶者対策を目的とした内容が一部含まれる場合があります。

新規就農者募集情報

- 事業名：天塩町新規就農者対策事業
 - 対象者：概ね25歳以上40歳未満で配偶者又は同居親族を有すること。
 - 経営規模：農用地面積30ha以上、乳牛頭数30頭（成牛換算）以上の計画を有すること。
 - 助成措置：天塩町酪農振興協議会において新規就農者として認定された場合に助成を実施。
 - ①機械・施設・土地等の導入に対する補助金1,000万円を交付する。
 - ②制度資金借入額5,000万円を限度とし、5ヶ年間2/3（町1/3、農協1/3）の利子補給する。
- 注）当町行政改革推進中のため、見直しされる場合があります。

問い合わせ・申し込み

天塩町役場内天塩町農業後継者対策協議会
(事務局：農林水産課 農業振興係)

☎ 01632-2-1001 内線239

〒098-3398 北海道天塩郡天塩町新栄通8丁目

FAX.01632-2-2659

天塩町HP：http://www.teshiotoon.com/

E-mail：nougyou@teshiotoon.com



天塩川の恵みでひらかれた天塩の大地 豊かな大地のもとで農業を始めませんか！ 農業研修にチャレンジしてみませんか！



新・農業人フェア
札幌 (08/2/16) 出展

日本最北の大河・天塩川が形作ってきた雄大で肥沃な大地が広がる天塩町。ここでは、先進的な酪農が営まれていきます。まず、天塩を訪ね、その姿に触れてみませんか。

全国新規就農相談センター

農業を仕事にするための総合イベント 新・農業人フェア'07

開催時間 10:30~16:00 [全会場共通]

●東京会場

11/17(土)：東京しごとセンター
2008/3/15(土)：池袋サンシャインシティ・ワールドインポートマート A2、A3ホール

●大阪会場

12/22(土)：OMMビル2F展示ホールA、B
2008/2/24(土)：梅田スカイビル・タワーウエスト10F

※会場の案内図は34頁に掲載

●農業法人等合同会社説明会

農業法人等への就職希望者のために、従業員を募集している経営者と面談できるブースを設置します。

●新規就農セミナー

新規に農業を始めるためのガイダンス、新規就農者、農業法人就職者による事例発表などを行います。

●新規就農相談会

受け入れ希望都道府県・市町村ごとのブースなどを設置し、農業を始めるための個別相談に応じます。

●農業インターンシップ

農業法人で就業体験を希望する人(学生・社会人)のためのブースを設置し、相談に応じます。

●田舎暮らし相談会

田舎暮らしを希望する人のためのブースを設置し、相談に応じます。

●チャレンジ!ファームスクール

合宿形式による農作業実習の概要について説明します。

●入場無料 ●入退場自由 ●服装自由 ●履歴書不要 ●家族・友人連れ歓迎

http://www.nca.or.jp/Be-farmer/

お問い合わせ/全国新規就農相談センター

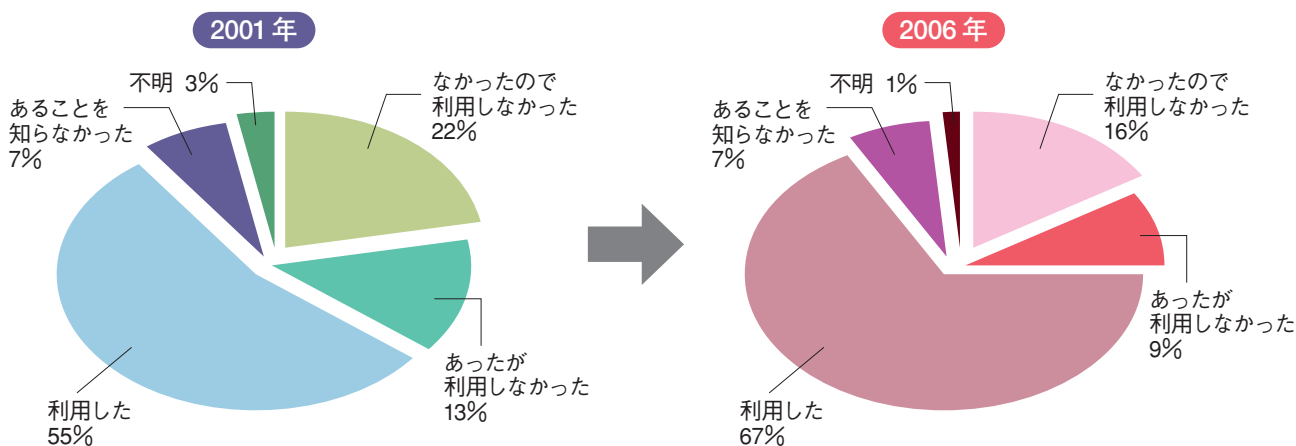
☎ 03 (3507) 3088

行政支援の利用から見た新規就農

近年、新規就農希望者に対して多くの自治体が独自の支援策を講じています（注1）。ここでは、実際に就農希望者がどの程度利用しているのかを、全国農業会議所が新規就農者に行ったアンケート調査結果（注2）を基に、2001年と2006年を比較しながら紹介します。

都道府県や市町村などの自治体独自の就農支援措置を利用した人の割合は、2001年の55%から2006年の67%へと、5年間で14%も上昇しています。

図1 自治体独自の就農支援措置の利用状況の変化



次に就農地域を選択した理由を見ると（図2）、2001年には第一の理由として「取得できる農地があったから」があげられ、「行政等の受入・支援対策が整備されているから」は第三の理由でした。ところが2006年には「行政支援の整備」が第一の理由となりました。行政支援の利用は、増えているだけでなく、就農希望者の行動に大きな影響を与えるようになってきています。

実際に利用した行政支援の内容は（図3）、「研修の支援・助成」が増え、「農地取得・借入への助成」は減少しています。

図2 地域選択の理由（複数回答）

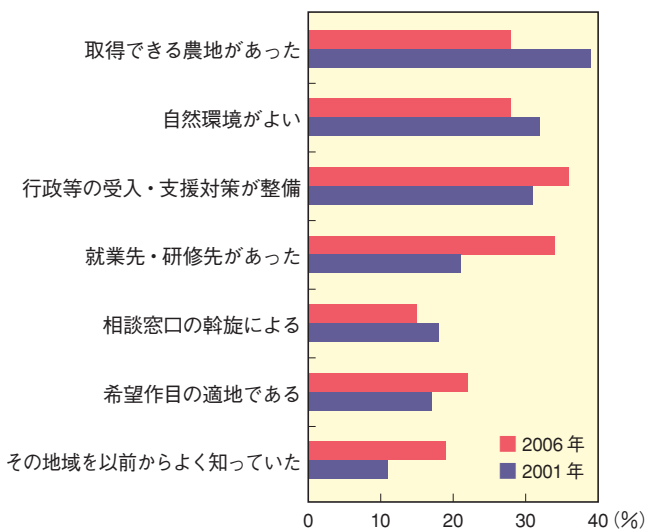
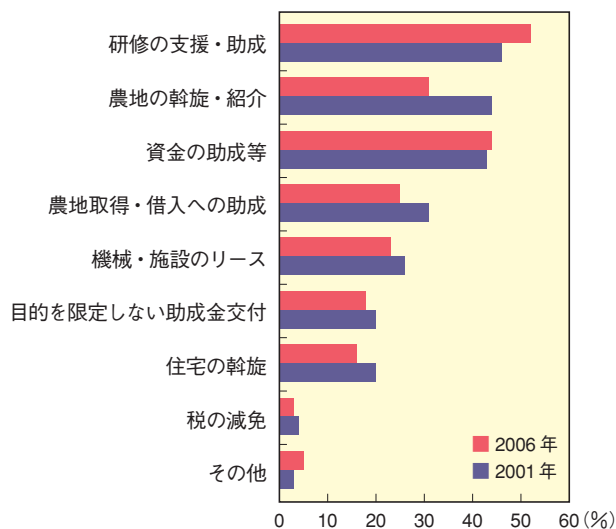


図3 利用した行政支援の内容（複数回答）



このように近年自治体による就農支援はますます充実してきていますが、就農先を決める際には、行政支援の内容だけでは決めず、あくまで重要な判断材料の一つとしてとらえることも大切です。

注1) 詳しくは、全国新規就農相談センター「新規就農ガイドブック 第2版」全国農業会議所、2007年、を参照してください。

注2) 2006年実施、回答588人（うち新規参入者490人）、回収率45.3%、および2001年実施、回答519人（うち新規参入者413人）、回収率33.7%。

農業経営者になれる「力」をたくわえ 全国に羽ばたこう!

農業者大学校

つくばに移転し 2008年4月開校

(独) 農業・食品産業技術総合研究機構
農業者大学校事務局長 齋藤 京子



今 農業で働きたいと 「心」で思っている方へ

世の中にはいろいろな職業があります。もちろん職業選択の自由があります。でも、今、本格的な農業をやっている家族経営は、親が農家(農業)で農業という職業に自信を持ち、子ども、いろいろな仕事がある中で親の姿を見てやはり自分も農業をやろうと覚悟を決めた「子」のいる家です。このような「子」を対象に農業経営者教育をしてきたのが、昭和43年に農林省が設立した「農業者大学校」です。以来、40年が過ぎ、現在では約1,200人の卒業生が全国で活躍しています。

しかし、これからもいわゆる農家出身者だけが「農業経営者」になるのでいいのでしょうか。

本気で農業を「仕事」にしたい人へ

農業がやりたい!

農業でしっかりと生活できるようにしたい!

自分の考えた農業の会社を始めたい!

会社に働くのなら農業の会社で働きたい!

これまで農業と全く縁がなかったけど子供の頃行ったおじいちゃんとおばあちゃんの家は農家だった——など「心の中で思ったこと」のある方はいませんか?!

でも、思うだけで誰にも話さずまたそれを現実にする方法もわからないまま今に至っている方は結構多いのではないかと思います。そういう方は是非、農業者大学校で学

ぶ道を考えてみませんか!

来年4月に農業者大学校が、我が国の農業研究の中心地である茨城県「つくば」に移転して新しい教育課程でスタートします。

農業者大学校の教育

これからの「農業」は単に農産物を栽培し農協などに出荷すればかなりの収入が得られるのでしょうか?

農業は毎年同じことをしていれば安定的な収入が入るのでしょうか?

農業経営者として適しているのは農学部などの出身者だけですか?

農業ができるのは農家出身者だけですか? 答えはすべて「否」です。

農業者大学校は、本気で農業に対しての自らの問題意識を持ち、おぼろげながらも「こんな農業をしたい!」と志を持っている人が「農業経営者」になれるよう教育します。入ってくる学生には、もちろん農家出身者もいます。大学農学部の方も工学部や経済学部の方や社会人や各県の農業者大学校の卒業生などいろいろな経歴の方々为全国から集まり農業経営者として必要な知識・技術・人脈を身につけながら切磋琢磨し、二年間の学校生活の後には、力強い農業経営者として全国で農業ができるよう就農相談・支援も力を注ぎます。

これからのあなたの人生を支える「職業＝農業」の力をたくわえるため、「農業者大学校」での2年間を自分の可能性のために投資してみませんか!

農業者大学校の特徴

国の機関が運営する学校ならではの特色ある教育

- 授業はそれぞれの分野の一流の外部講師が行います。
- 全国で活躍している農業経営者のもとでの派遣実習で生きた農業経営を学びます。
- 農業研究機関とジョイントした先端技術の教育や研究室派遣実習で科学的なものの見方や考え方、研究技術情報収集力や研究者とのネットワークが築けます。
- 農業に関わりがなかった人にも自ら農地を確保して農業を始めたり農業会社への就職など確実な就農へのアドバイスを行います。
- 授業料は国立大学並み、校舎は新しく建設しています。宿泊施設や食堂など生活環境も良好です。

後期入学試験応募者募集中

● 入試日程・出願日程

入試は、来年の1月17日(木)です。出願期限は12月12日(水)まで。但し、知事推薦、農業団体推薦入試の期限は11月14日(水)です。

● 試験科目

小論文・面接はすべての受験者が対象
筆記試験(農業科学基礎)は一般試験のみ

● 募集人数(後期)30名程度(1学年は40名)

● 応募資格

4年制大学卒業程度の理解力や判断力を有している方又はこれに準ずると認められるような農業技術・知識を有している方。40歳未満。学部・学歴を問いません。



● 詳しくは、農業者大学校ホームページをごらんください。

<http://farmers-ac.naro.affrc.go.jp/>

E-mail: noshadai@naro.affrc.go.jp

● お問い合わせ・資料請求は、農業者大学校体制準備室まで

〒206-0021 東京都多摩市連光寺 3-23-1

TEL: 042 (375) 8511 FAX: 042 (374) 0615



本当に土は生きているの？ 「土壌呼吸」をしていて人間や動物と同じ



「土は生きている」というのは、よく聞く言葉です。皆さんは本当だと思いますか？ 答えはイエス。ちゃんと、証拠もあります。土の表面からは絶えず二酸化炭素が出ているので、実際に測ることができるのです。このことを「土壌

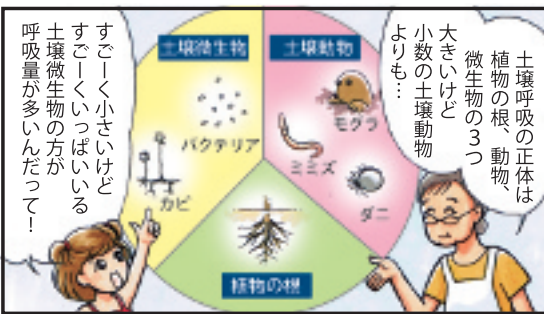


呼吸」といい、わたしたち人間や動物と同じように「呼吸」という言葉が使われます。酸素を吸って二酸化炭素を出しているのです。土壌呼吸は、土が生きていることの証と言いうことができます。

呼吸の正体は生き物

ところで、土壌呼吸の正体は何でしょうか？ 砂や土などが呼吸をしているのでしょうか？ 答えは、ノー。呼吸をしている正体は、土の中に

たくさん住んでいる生き物たちです。モグラやミミズ、ダニなどサイズの大きなものは「土壌動物」、カビやバクテリアのように小さなものは「土壌微生物」と呼ばれます。植物の生きた根も土壌呼吸の一部を担っています。



呼吸が多いほど養分高い
これも積もれば山」ですね。
これら土壌微生物は、土壌中で生きていくために動物や虫の死体や枯れた植物などを分解するので、その時に二酸化炭素を出すのです。土壌の呼吸量が多いほど、土壌微生物の活性が高いと言えるのです。ですから土壌呼吸は、土壌の活力をあらわす目安ともいえます。そして、土壌呼吸の量が大きい土には、

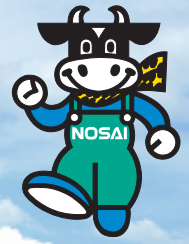


土壌微生物が分解してくれた養分が多くなるので作物がよく育ちます。土壌呼吸の量を増やすには、微生物の過ごしやすい環境を保つことが大切です。その条件はふつうには温度が高くなるほど良くなります。また、土壌の水分によっても変わり、乾きすぎでも湿りすぎでもダメで、ちょうど良い湿り具合のときに、最も活性が高くなるのです。皆さんも、野菜や花などを育てるときに、土壌が呼吸しやすい環境を作ってあげましょう。



2007年8月31日号掲載記事
Presented by
全国農業新聞
就農希望者に役立つ情報満載
詳しくは裏表紙裏をご覧ください

文・農林水産技術会議 研究調査官 白戸康人
絵・筒井博子



ご存じですか？ 農業共済

農業経営の安定には、 「農業共済」が不可欠です！

農業は、いうまでもなく、自然の影響を大きく受け、その被害を受けやすいという宿命を持っている産業です。特に、日本は、アジア・モンスーン地帯に位置し、風水害や冷害などの自然災害や病害虫などにしばしば見舞われ、過去にも甚大な被害を受けてきました。

せっかく新規に就農しても、自然災害や病害虫により大きな打撃を受けてしまうと、その損害を回復することは困難で、場合によっては、資金繰りの目途が立たず、営農の継続をあきらめざるを得ないということにもなりかねません。

このような災害に対して、被災農

家の経営を安定させるための仕組みとして、農業共済（「NOSAI」は農業共済の愛称です）があります。農業共済は、農家が共済掛金を出し合って共同準備財産を造成しておき、被災時に農家に共済金を支払う公的保険制度（農業災害補償制度）で、共済掛金の約2分の1を国が補助しています。

制度の対象は、別表のように農作物（米、麦）、家畜（牛・馬・豚）、果樹（みかん、りんご等）、畑作物（大豆、ばれいしょ等）、園芸施設です。

農業共済は、全国に283（平成19年4月1日現在）ある農業共済組合（市町村が実施している地域もあります）が運営しています。新規に就農される方は、台風、冷害などに備えて、最寄りの農業共済組合に是非ともご加入下さい。また、農業共済組合では、病害虫の駆除や家畜の事故低減対策などの損害防止活動も行っていますので、御相談下さい。

事業の種類

| 事業の種類 | 共済目的（制度の対象となっている作目） |
|--------|---|
| 農作物共済 | 水稻、陸稲、麦 |
| 家畜共済 | 牛、馬、豚 |
| 果樹共済 | うんしゅうみかん、なつみかん、いよかん、指定かんきつ、りんご、ぶどう、なし、もも、おうとう、びわ、かき、くり、うめ、すもも、キウイフルーツ、パインアップル |
| 畑作物共済 | ばれいしょ、大豆、小豆、いんげん、てん菜、さとうきび、茶、そば、スイートコーン、たまねぎ、かぼちゃ、ホップ、蚕繭 |
| 園芸施設共済 | 特定園芸施設（附帯施設、施設内農作物を含む。） |

（注）1.果樹共済には果実の損害を対象とする収穫共済と樹体の損害を対象とする樹体共済があります。
 2.指定かんきつとは、はっさく、ネーブルオレンジ、ぶんたん、たんかん、さんぼうかん、清見、日向夏、セミノール、不知火、河内晩柑、ゆず及びはるみです。

【問合せ先】

全国農業共済協会（NOSAI全国）
 〒102-8411 東京都千代田区一番町19
 TEL 03-3263-6411
 FAX 03-3221-7795
 ホームページ：http://www.nosai.or.jp/

山主の希望に沿った 山づくりを

京都府京都市 京北森林組合 楓 かえで 和宏さん

彼女の後を追って、京都へ

「まだ付き合っていた時に、嫁さんが先に京都府の美山町みみやまちょう森林組合に就職したんです。だから『これは後をつけていかないとあかん』と思って移住しました」と、笑いながら経緯を語る楓和宏さん（33歳）。京北森林組合で働き始めて5年ほどになる。

楓さんは大阪府吹田市の出身。都会育ちだが人混みや満員電車が苦手で、自分は「田舎向きの人間」だと思っていた。

信州大学農学部応用科学科でバイオテクノロジーなどを学ぶが、性に合わず卒業後はフリーターに。一方、同大学の森林学科だった妻の絵美さん（27歳）は、美山町森林組合に就職が決まった。長野と京都の間は遠い。楓さんは思い切った後を追うことを決めた。

意外な部署への配属

移住した当初は、旧京北地方振興局で事務のアルバイトをしていた。だが雇用期間は半年。アルバイトが終わるころ、

日ごろから絵美さんに林業の話聞いていたこともあり、「林業もいいかな」と思った。振興局に入内りしている京北森林組合の職員とも顔なじみになっていため、チャンスもあった。

「思い切って、知り合いの森林組合の職員に声をかけてみたんです。『森林組合に入りたいですけど』って」

すると日を持たずに快い返事が。「なんとなく」で始めた林業。しかし森林組合で配属された先は意外な部署だった。

木肌の美しさに魅せられて

楓さんが最初に配属されたのは、伐採した丸太の加工をする京北森林組合加工センター。仕事は、スギの樹皮を高圧の水で剥がす作業。

「大変でしたね。体に密着したつなぎのレインコートを着て、水圧で皮をむいていくんです。真冬なのに汗で全身ビショリになりました。手もものすごく荒れましたよ」

だが、水圧によって荒れた茶色い樹皮がむけ、スギが白くなめらかに変わっていくさまに心を奪われた。

以前、楓さんが仕事をした現場。間隔が十分に空き、光が地面まで行き届いている



楓さんが勤務する京北森林組合



穏やかな表情で語ってくれた楓和宏さん。家庭菜園ではブチマト担当なのだとか

京都市右京区京北周山町。「北山杉」で有名な美しい町



「なんともいえない静かな感動がありました」
スギの白く光る木肌を目の当たりにした。それが、この職を続けていこうという気持ちで固まった瞬間だった。

いつか自分の山がもてたら

その後は造林班へ異動になり、組合の勧めでチェーンソーなどの安全教育も受講。現在は、30代の同僚と3人一組になり、スギとヒノキの植林から伐採までを行っている。

休みの日には息子の千尋くん（4歳）と八雲くん（1歳）と遊んだり、山で採ってきたツルでかごを編んだり、製材所で余った板で棚をつくらしたりして過ごす。また、最近では畑を借り、夫婦共通の趣味として家庭菜園を始めた。一見、悠々自適な田舎暮らし。だが、田舎ならではの困惑もあるという。

「土地になじむまでには時間はかかりましたね。逆に、消防団や運動会のようなイベントの参加で忙しく、地域貢献への期待にプレッシャーを感じるときもあります。でも一番の悩みは、子どもが少ないこと。自然の中で育てられる良い部分はありますけど、子どもたちに同年代の遊び相手がほしい」

また、給与面で不安定な部分や、人によっては人間関係で悩む場合もあるという。林業に対するやる気や使命感だけをもってこの仕事に就く人はあまり続かないのではないかと楓さんは語る。

「日給制なので月に20日は働きたいところですが、朝、雨が降るとその日はも

う仕事になりません。ただ、野菜には困らないので自給自足に近いことはできませんよ。だから、田舎暮らしを楽しみたいくやってくる人のほうが続くかなあ。自分にも使命感はなくてもいいけれど」

ではその使命感とはなにか。それは「できるだけその山主さんの希望に沿った山にする」ということ。山林所有者である山主さんの思い入れの強さで良い山になつていくかどうかが決まるからだ。造林班に所属する楓さんには直接山主さんと話す機会はない。事務方の人間を通してどのような作業をしてほしいかを聞くだけだ。だが、間伐の間隔の広さ、枝打ちの具合：過去の管理の痕跡を見るだけで、山にかける情熱が伝わってくるという。林業が盛んなこの地には、まだ山に愛情を注いでいる山主さんが多い。技術はまだまだ未熟だが、できるだけそれに応えていきたいと楓さんは思っている。

「いつか、自分の山がもてたらそれを好きなように管理していきたい。最近山を譲ってもいいという山主さんも出てきているようですし。後は……チャンスとお金ですね（笑）」



橋のデザインにもスギが採用されている。林業が盛んな証だ

スギに防腐剤を塗っている様子。加工センターには出荷前の丸太が大量に保管されている



防腐剤塗り立てのスギの丸太。樹皮を剥いたばかりのスギはもっと白という

最初に配属された、京北森林組合加工センター。この場所でスギの丸太やヒノキの製材を行っている



枝打ちされ、整然とした印象になった山の前面部分。
「人の目に触れる部分はとくにきれいにしておこうってここの山主さんは思ってるみたいです」



潜海漁と定置網漁 両立を目指して

山口県萩市 山口県漁業協同組合 大島支店所属

上原 正樹さん

きっかけはマリンスポーツ

山口県宇部市出身の上原正樹さん（41歳）は、山口市内にある電機メーカーの会社員として20年働いてきた。3年前、山口県の日本海側、萩港から9キロ沖に浮かぶ萩大島に家族とともに移住。漁師となった。きっかけとなったのはマリンスポーツだった。



「ジェットスキーやウエイクボードが好

きで、見島によく来ていたんです」という上原さん。見島とは萩大島よりさらに30km以上沖にあるマリンスポーツのメッカ。頻繁に遊びに行くうちに萩近海の島々を結ぶ萩海運の三谷さんと知り合いになる。地域の活性化などに力を入れている同氏との交流を通して「漁師」という職業を意識するようになっていった。

そこで県漁協などが行うニューフィッシャー確保育成推進事業を通じて求人を探したり、個人として周辺漁協を当たったりするなど「漁師」になるために奔走。そんななか、萩大島で定置網漁の漁師を募集していることを知る。「すぐに面接に行きましたよ」と上原さん。1ターンの漁師を数多く受け入れてきた大島支店もその「やる気」を買った。

父さん、漁師になりたい

「最初に漁師になりたいと打ち明けられた時は『え……』でした。上の子は中1で難しい年ごろだったし、下の子は小学校に上がったばかりで小さかったから



定置網漁船「名切丸」の漁師たち。船の上では専門用語が飛び交う。「最初は『ヤリを持ってこい』といわれてもなにを指すかわからず、動けなかった」と、上原さん。先輩が持ってきたロープを見て覚えた。いまは冗談も面白い合う

：」と、絶句した時の様子をまねて語ってくれたのは、防府市出身の奥さん、直美（40歳）さん。上原さん同様、漁村には縁のない環境で育ったが、一緒に見島に来ていたこともあつて抵抗はなかった。ただ、子どもたちが新たな環境になじめるか、友達ができるかが気がかりだった。

移住には欠かせないポイントとなるのが家族の理解だ。上原さんは、暮らしや学校のことを、奥さんと子どもたちに丁寧に説明し、話し合いを重ねた。「家族がついて来てくれなければ漁師になれないので、けっこう必死でしたよ。でも、無理強いはしたくなかった」というか、それでは結局うまくいくはずがないので、家族の一人でも反対したら、あきらめようと思っていました」と、当時を振り返り、照れた。

「島に来たらですか？ 先にとけ込んだのは子どもたちのほうでした。ご近所情報は、親より子どもたちのほうがよく知っているんですよ。ね」と、直美さんが上原さんを見る。

萩大島の人口は1000人に満たない。

実は泳げないんです

漁師の仕事のほうはというと、上原さんは、定置網漁だけではなく、自分の船で潜海漁（海土）もこなす。その内容はスーパーフィッシャーマンでも呼びびたくなるほどの仕事ぶり。詳しくは写真を追って読んでほしい。ここでは潜海漁を始めたころの話をしよう。

「海土を始めたのは、もっと稼ぎたかったから」という上原さんは、移住してほどこなく、夜に出漁する定置網漁と時間的に重ならない海土をやるかと決心。大島

「ニューズの少ない土地なので、最初は一挙一動を『話題』にされて少し窮屈に感じた」というが、やがてそれもなくなった。それどころが、来てみて自分たちと同世代の人が多く、驚いたという。豊富な漁獲高とタバコ栽培などの豊かな農地に恵まれて若い世代が多く、子どもが走り回る活気ある土地。それがこの島の姿だった。

上原一家はこうして萩大島の一員となり、現在は島に来てから生まれた女の子を加え、5人で暮らす。

萩大島ではI・J・Uターンして漁師になる人を支援するため、漁協の要望で市営の住宅を整備している。現在は満室状態のため、さらなる増設も検討中で、活気ある萩大島の漁業を象徴する話として新聞などでも取り上げられている。上原一家もこの一員



潜海漁



午前8時～午後3時

漁の時間は水産資源保護のため8時から3時と決められている。出漁は市場が開く月曜から木曜。写真は午後3時ごろ。この後、萩大島港に帰港した。手にしているのはウニを採るための「海士金」という道具。海士はどんな道具も手づくりする



午後3時30分～5時30分

採ってきたウニを出荷できる状態にする「しご」作業。直美さんも手伝い、ウニを割って中身をすくい出し、丁寧に洗ってから箱詰めする。この日は4時半ごろ終了。漁獲量によって6時過ぎまでかかることも。上原さんはこの後、お風呂や夕食を済ませ就寝



定置網漁



午前2時～4時30分

定置網漁船「名切丸」の出発は午前1時半～2時半の間。この日は2時半に出港。真っ暗な海へと出ていき、20分ほどで漁場に到着した。停泊し、漁を開始するが、この日はシーズン最初の定置網漁となる年に一度の「網起こし」の日。台風の影響により波が高く、また、シーズン最初なので網のトラブルがあり、船に大声が飛び交っていた。名切丸はこの後1年、この場所でする。漁の後は萩市の萩漁港へと急ぐ



午前4時30分～5時30分

海に面した市場に船を横付けすると、市場の人たちが集まってきて競りの支度が始まった。名切丸の魚槽からは、ユニック（クレーン）でつるされた特製の大タモ（網）にすくわれた魚がドッと選別台に運び込まれ、漁師たちが手際よく魚種を選別していく



午前5時30分～6時30分

魚種選別の済んだ大きな魚から、次々と市場の中へ。市場の人が整然と魚を並べていく。仕入れ業者はすでに獲物のチェックにはいっている。競りは水揚げ後30～40分ほどで開始された。サイズの大きな魚から小さな魚へと、繰り返される。名切丸では甲板の掃除が始まっていた



午前6時30分～8時

年に一度の網起こしの日とあって、名切丸では水揚げ後、萩市の人丸神社・神主により、安全祈願とお払いが行われた。お供えにはその場でさばいた魚も加えられた。この日の帰港は午前8時。大漁だと遅れることもあるが、通常は午前4～6時に萩大島へ帰港する



支店の支援制度を利用し、師匠、刀禰重男さん（49歳）に聞いた。
「師匠にあきれたことがありません。実は私、泳げないんです。だから最初の2カ月はひたすら潜る練習……。うま

く潜れなくて何度も「辞めちまえー」と怒鳴られましたねえ」と、ゆったりと、おどけた口調で上原さんが語ると、苦労がないように聞こえるが、刀禰さんの教育は厳しいことで有名だ。しかし、師匠は、島

で一番を競う」と国光支店長も太鼓判を押す海士。「ほかの海士が『獲物がない』といて移動した場所からウニを採ってくる。魔法のようですよ」と、不思議がる上原さんからも尊敬している様子が見える

がえる。
優秀な師匠の指導のもと、海士修行をすること2年。自分の船も購入し、いま、海士として本格的な一歩を踏み出した上原さんだ。

人柄写す家具のフォルム

沖縄県那覇市 阿部誠司さん

日に焼けた大柄な体躯と、人なつこそうな笑顔が印象的な阿部誠司さん(34歳)。旅好きが高じて、学生時代は全国をくまなく巡り歩いていた。卒業後も、神奈川県横浜市の実家に戻った時だけアルバイトをして、お金が貯まるとまた旅に出るという生活を繰り返していた。

アウトドア派で、キャンプ場でも観光地でもない場所にテントを張って寝泊まりしていた。「知らない人の家の風呂を借りた経験もあります。現地の人からよく声をかけられるんですよ」と笑う。

西表島で「キビ刈りを手伝わんか?」と声をかけられ、1年ほどサトウキビ農家を手伝う。1999年、26歳の時だった。その時に現在の奥さん、島で小学校の先生をしていた愛香さんと出会った。

家具修理工を経て工芸指導所へ

愛香さんは那覇市出身。結婚のタイミングを図っていた誠司さんは、那覇への移住を決意する。旅行で何度も訪れていた沖縄は知り合いが多く、移住の大変さも具体的に聞いていた。友人が大勢いる

ため、移住にはなんの不安もなかった。

もともと東京造形大学で家具デザインを専攻していたので、仕事は木工関係にあたってみた。タウンページを見て電話し、10軒目くらいで家具のリペア(修理)を請け負う木工所への就職が決まった。

そして2000年に結婚。大学でデザインを学んだこともあり、日々、家具を自分で作りたい気持ちが強くなっていった。

01年春に木工所を辞め、沖縄県工芸指導所(現・工芸技術支援センター)の木工研修に申し込む。初心者を対象とした一般研修を半年、それを修了してから特別研修をさらに半年以上学んだ。

「そもそも指導所に入ることは、妻が勧めてくれたんです。その間の家計を支えてくれたのも妻。パートナーの理解なくしては通えませんでしたね」

研修修了後、思ったような就職先が見つからず、独立することにした。

人との巡りあいの花が咲く

とりあえず、自宅で「ABE CRAFT」という工房を立ち上げたが、アパ



1階(写真右上)と2階(写真左上)には、沖縄の木を使ったおらかな風合いの作品が数多く並び、ダイニングテーブルやベンチチェストなどの大物から、額縁、時計、鏡などの小物まで、各作家の作品が展示販売されている



店頭のアシの木とグリーンの外壁が南国の雰囲気を醸し出す「moku moku」の外観。宜野湾市の家具屋が並ぶストリート沿いにある。オープン当初は7人だったが、現在は9工房10人で運営している(写真右下)。阿部さんが初期のころに製作した机は、人柄を表すようなやさしいフォルムだ(写真左下)



ートの一室ではなにもできない。昼間は音の出ない作業を中心に、残りは指導所の大型機械を借りて作業をこなした。材料になる材木を置くスペースもなく、奥さんの祖母の家に置かせてもらった。

「フリーになっても、すぐに作品が売れたり、注文がきたりするわけじゃない。しばらくは年2〜3回ある木工イベントに出展して、作品を売っていました」

だが、そこでまいた種が花開き、その後の誠司さんの進路を決定づける。イベントで顔を合わせている同業者たちの中でギャラリー立ち上げの話があり、その人たちから声をかけてもらったのだ。

02年3月、宜野湾市に沖縄工房家具 & 木工クラブ「moku moku」がオープン。7名のメンバーが共同で出したショップだ。大型家具が置ける広々とした店舗を借りられたのも、人数の多さが生んだメリット。店番も交代で済む。

「いい人たちに巡りあえてよかった。沖縄の人と、県外からの移住者を『チャンネル』したメンバーなのがいい。木工は歴史ある伝統工芸ではないんです。それで沖縄には組合がないから、若手作家の活動や情報交換が盛んなんですよ」

家族の存在が作品の温かみに

現在、テーブルやイスなどの家具から、木の皿やスプーンなどの小物まで、注文があればなんでも製作するが、今後はオリジナル家具を増やしていきたいと語る。

「幼児・子ども向けの家具が作りたいです。海外の子ども部屋にあるようなカラフルでかわいい家具を」

ハンドメイド感覚の子ども用家具や雑貨には、安全な塗料を使用している。小学1年と幼稚園の子どもがいる誠司さんは、安全性への気配りは欠かさない。

また、11月にオープンする沖縄県立博物館・美術館から依頼され、沖縄の野菜図鑑を製作したばかり。子どもたちが見て野菜の名前と形を覚える木製の図鑑で、温かみのある作品に仕上がった。

そして誠司さんは、自宅兼工房に改装できそうな一軒家を見つける。ちょうど外国人住宅の空きが出たと不動産屋から連絡が入り、現在の場所に引っ越した。ブルーシートで屋根の雨漏りをしのいだり、大きな作業台をつくらしたりして、3年越しで手作りの工房を完成させた。

「自営業なので、子どもの世話ができるのがいいですね。もちろん、刃物を扱っているので、工房は立ち入り禁止だと子どもにいいかせていますが」

全国を飛び回っていた誠司さんが、結婚のために移住し、那覇に根を張った。「家族の存在が、木工の創作意欲とイマジネーションにつながっています」と話すその顔は、夫として、父親として、木工職人として、頼もしく見えた。



阿部さんが手づくりした自宅脇の工房前で、奥さんの愛香さんと長男の汀くんと一緒に。藍染めのれんと工房名が入った木の看板が目印(写真上)。工房内部は、阿部さん自身が使いやすいように、棚や作業台を配置している(写真左下)

<工芸技術支援センター 技術者養成について>

■一般研修

初心者を対象とし、カリキュラムに沿って研修を進める。木工・漆工のコースがある。

【募集人員】各コース6名程度

【応募条件】以下の要件を満たす方

- ・沖縄県に3カ月以上居住する方、または沖縄県に本籍を有する方
- ・技術習得後は県内工芸事業に従事する予定のある方

【応募時期】例年3月1日～31日

【研修費用】受講料は無料。ただし、道具代として木工課程については約7万円(手鉋、ノミ、定規)、漆工課程については約3万円(漆刷毛、蒔絵筆、ヘラ、漆師刀)などの購入が必要。

【研修期間】5月上旬～10月31日までの6カ月間の毎日(土日祝日除く)9時～17時

■特別研修

経験者を対象とし、研修生個々の計画に基づき研修を進める。織物・紅型・木工・漆工のコースがある。

沖縄県商工振興課 工芸技術支援センター

沖縄県島尻郡南風原町照屋 213

TEL : 098 (889) 1186

URL : <http://w1.nirai.ne.jp/okikousi/top.htm>





「まほろばの里農学校」は有機農業をつうじて暮らし方を問い直す（去年の研修生たち）



交流

互いに学び かけがえのないものを得る

山形県高島町 たかはた共生塾「まほろばの里農学校」

まほろばの里の農学校

たかはた共生塾（以下、共生塾）（中川信行塾長）のモットーは「共に学び、共に育つ」。有機農業運動をつうじて、国内外の人たちと交流を続けている。

共生塾の「まほろばの里農学校（以下、農学校）」は、前期（6月）と後期（9月）に分け、生徒に農村体験の機会を提供するとともに、農作業を教えている。今年で開校16年目を数える。

今回は前・後期とも全国各地と海外（アメリカ在住の日本人やメキシコなど）から20名が参加した。前期は水田の除草やブドウ園の管理、後期は稲刈りやそば打ち体験など、内容は盛りだくさん。なかでも夕食時の交流会は、農作業体験の楽しさの余韻もあり、あちこちで話が弾む。

農学校の卒業生は、累計で380人ほど。農業体験をした後、有機農家で実習や手伝いを2、3度経験すると、「たかはた病」になるという。「高島に來ないではいられない」という意味だ。最終的には、高島に移住する人も少なくない。

共生塾の遠藤周次事務局長は、「高島町に新規参入して農業を始めた人は、ざつ

と数えただけでも80人は超える。そのうち、農学校の卒業生は家族も入れると30人近い」と話す。

「まほろばの里」とは、周囲が山々に囲まれ里山の景観、美しい風景をもった、収穫物が多い豊かな土地、住んでいる人々の心が豊かな地域のことを指す。

そうした豊かな「まほろばの里」で、有機農業をテーマに自分の暮らし方、生き方を見直すこと、生命の連鎖を考えたこと、自然環境を守りながら、この豊かな営みができる地域（むら）を次世代につないでいきたい。そうした願いや思いで地域に生き、地域づくりに自分も参加したい——「そんな思いが生まれ、それが高島へ移住したい気持ちにつながるのかもしれない」と遠藤事務局長はいう。

高島町の有機農業運動

共生塾は、そもそも有機農業運動のなかで生まれた。高島町の農業青年たちが有機農業に出合ったのは、1973年3月の国内農業研修旅行の時だった。「これからは『生命の時代』がくる。有機農業を実践していこう」と、町の青年たちが立ち上がった。そして同年9月、高島町有機農業研究会（以下、研究会）が、星寛治さんたちによって組織された。

有機農業運動に最初からかわつてきた遠藤事務局長はいう。

「有機農業について考えれば考えるほど、自分たちが勉強不足なことを思い知った。『生命の時代』というキーワードを掲げて運動し、その仲間とともに学習す



高島に移住した吉田繁夫さん夫妻。有機無農薬米の水田の前で



民俗資料館の中で座学も行う

る場として研究会を設けた。有機農業運動は、農業者として当たり前の暮らしができる村づくりをしていく運動。一人ひとりの暮らし方を変えていかなければいけない。自分の暮らしを成り立たせるのと同時に、周りの人たちの面倒を見ながら、自立、共生していくことが重要だ」

研究会は、90年に共生塾に発展した。92年からは有機農業運動の推進組織として農学校を開校し、94年からは連続講座を年2回開講。講座のテーマは、05年度が「食と農の復興と地域づくり」、06年度が「暮らしからみつめる『いのち』」だ。

また、共生塾は有機農家への研修生の受け入れや、修学旅行生、大学のゼミ生の受け入れなどを、年間1千人以上引き受けている。「私たちが行っている有機農業をつうじた農村と都市の交流によって、農村の生活者も、都市の生活者も、お互いに学び、かけがえのないものを得ているはず」と遠藤事務局長は話す。

さらに中川塾長は、「共生塾は、都市と農村の交流をとおして、新しい地域づくりを目指してきた。生産者と消費者が、一緒に食べ物をつくり、食べていく。この行為が、暮らしの在り方をお互いに見直す機会となり、正しい生活に導かれていくことにつながる。ひいては、こうした運動をつうじて、地域は豊かになっていく」と断言する。

共生塾が活動する和田地区に、76年には米沢市内の旧家を移築して和田民俗資料館（楽習館・研修棟）が誕生した。その後、体験交流施設、宿泊施設（コテージ）を整備して「ゆうきの里さんさん」もオープン。これらの施設を拠点に、都市と

農村の交流が深められている。

農学校卒業生が高島に移住

吉田繁夫さん（54歳）も、「たかはた病」にかかった一人。92年に開催された農学校の第1回卒業生だ。7月末に1週間の農学校が終わると、9月には高島のブドウ農家を家族と一緒に訪ねた。農村に住んで農業をやりたいという気持ちも以前からあった。なので、これをきっかけに翌年4月、高島町に移住した。

移住当初から、吉田さんの生活は「半農半SE」。午前中は東京で経営していたパソコンのソフトウェア制作会社の仕事をこなし、午後は農業に精を出す。現在の経営農地面積は4・5畝。そのうち水稲作が3・5畝だが、内訳は0・6畝が有機無農薬栽培、残り2・9畝は除草剤1回散布だけの減農薬栽培である。有機無農薬・減農薬米の生産農家約60戸でつくる上和田有機米生産組合で役員（会計担当）を務め、認定農業者でもある。

吉田さんは、「サラリーマンだと、家族とのコミュニケーションがない。でも、いまは農作業と一緒にやっているのだから、家族と会話する時間がある。それが本当にうれしい」と笑う。そして、上和田有機米生産組合の会員紹介のパンフレットは夫婦の写真を載せた。夫婦と一緒につくっているのだからと、吉田さんがパソコン技術を駆使して作成したのだ。

写真に写る二人の穏やかな笑顔は、農学校に参加したことをきっかけとし、高島に移住して得た現在の暮らしが幸せだということを物語っている。



今日の作業は野菜苗の定植

私は、東京・練馬区の住宅街の真ん中で農業体験農園「緑と農の体験塾」を1996年から経営しています。

この農園は、「もぎとり・畝^{うね}売り農園」を発展させたものですが、入園者が種まき・定植から野菜づくりに参加でき、農業をまるごと体験できる市民参加型の新しい農業経営です。入園者は、農園主から野菜づくりを学びながら、年間をとおした作付計画・栽培計画に従って野菜づくりを体験します。農園主は、消費者のニーズを直接つかんで、低農薬や有機質を多投した栽培などを実現していくことができます。

ここでは、会費制の会員148人が毎月3日間（金、土、日曜の午前・午後の2回の計6回）開く講習会のどれかに参加し、与えられた区画（30㎡）で教えられた野菜づくりを体験します。農園主の細かな栽培指導によって、30㎡の区画で野菜270kg、金額換算にすると9万円あまりが収穫できます。野菜が食べきれないほど採れるので、季節ごとに収穫祭を開き、会員による手づくりの料理を持ち寄って、交流を深めています。

こうしたなかで、農業体験農園を交流



明日を切り開く 市民参加型の農業体験農園

東京都練馬区 農業体験農園「緑と農の体験塾」
加藤 義松さん



説明は詳しく丁寧に～講習会で～



ブロッコリーなどの苗を分ける



の場として、新しいコミュニティが生まれました。さまざまな職種の技術・能力をもった人たちの集まりですから、交流の場となつている農園ハウスも会員たちの手づくりです。また、会員有志が企画し参加する年1回の海外農業視察旅行も、ベトナム、中国、タイ、ハワイと続いて、今年も台湾を企画しています。

農業を理解し、生産者と消費者が一緒になつて農業を守り、発展させようという、新しい仲間が輪が広がっていると実感しています。

都

市の農業は、最前線に位置しているのだと、つくづく実感しています。最大の強みは、そうやって消費者と直接向き合い、農産物を販売できることでしょう。そういう意味では、都市住民・消費者に対する日本農業の全体を代表するショーウィンドーといえます。そのため都市農業は、日本農業全体の代表として、安心・安全で健康的な農産物を供給しなければなりません。それには都市住民・消費者と交流し、農業への理解を求めていく必要があります。

最近、農園の会員たちは、茨城県の農家との交流を始めて、米やトマト、メロンなどを取り寄せはじめました。トマト150ケース、メロン100ケースなど、相当の量にのぼっています。さらに、会員有志が茨城県で米づくり、トマト・メロン栽培を始める計画も具体化しています。農家と消費者が交流するという新たな形が、ここに生み出されました。

また、農園では、伝統野菜を栽培したり、農園主が季節ごとの農村の行事(初

午やお彼岸、お盆など)について紹介したりしています。皆さんに関心をもってもらい、喜んでもらえるのは楽しいことです。それに伴い、練馬区で伝統の練馬大根の作付面積が増えるなど、各地で伝統野菜などが復活する兆しが見えています。消費者は農村の生活・文化に対する理解を深め、かつ、地元の農業は活性化——農業体験農園の役割は、まさにこれだと思っています。

このようなことを踏まえ、農業体験農園の開設農家が増えていきます。東京都農業体験農園主会は会員数が50を超えた。農業体験農園を日本農業の最前線である都市部にたくさんつくっていく。そのことが農業に対する考え方を都市から変えていくことになると考えています。

72

年に制定された新都市計画法によって、都市農業は、開発すべき区域とされた市街化区域内に相当の面積の農地が取り込まれました。それによって「都市農業不要論」といえる、宅地並みの税金を課せられました。



プロフィール
加藤 義松 (かとう・よしまつ)

1954年東京都練馬区生まれ、53歳。東京都農業体験農園主会会長。音楽関係の会社勤務を経て、1980年、26歳で農業に就く。1996年、畑105aのうち60aを利用して、農業体験農園「緑と農の体験塾」を開設。1998年、「農業白書」に都市農業の新しい取り組み事例として紹介される。練馬区体験農園主会会長のを務めるとともに、東京都農業体験農園主会の2002年発足と同時に同会会長。著書に、「菜園コツのコツ」(全国農業会議所)、「からだにやさしい美味しい野菜のつくり方」(西東社)、など。

永く開発サイドからの攻撃にさらされ続けた都市農業に、ようやく法制度的な存在意義が示されたのは、99年のことでした。それは食料・農業・農村基本法の施行です。第36条(都市と農村の交流)で、市民農園の整備、都市およびその周辺の農業振興がうたわれました。

しかし、相続税の負担によって「都市農業は三代続かない」といわれる状況に変わりはありません。ただ手をこまねいていれば滅びてしまう存在です。ですが、野菜などの農産物を供給するだけでなく、農業生産をつうじて緑地や防災空間を確保し、都市住民に憩いの場を提供するなど、多面的な役割を長い期間にわたって果たしてきました。都市から緑と農をなくしてしまえば、取り返しのつかないこととなります。

都市のなかでも農業を続けたいと、私は仲間と一緒に、都市農業の多角的な役割を担いながら、「子どもたちに残せる、魅力ある農業、新しい農業を展開して、あわせて都市住民に農業に対する理解を深めてもらえる農業を切り開いていき

い」と話しあつてきました。

生産緑地法の92年改正によって、三大都市圏の市街化区域内農地が「保全すべき農地」と「宅地化すべき農地」に区分されました。この時「魅力ある農業」づくりを考えていて、ふと思い出したのが、長女が通う保育園の園児たちにサツマイモの収穫体験をさせたことです。園児たちの喜びよりは、感動的でした。

そこで練馬区などに相談し、開設したのが、農業体験農園「緑と農の体験塾」です。この経営と交流活動をつうじて、改めて都市のなかに農業が存在する意義を再確認しているところで

市

市民参加型の農業体験農園は、都市住民の「農業をやりたい」という志向を満足させるだけではありません。地域がもっている財産——自然・人・文化などの地域資源を実感して享受していく「核」となるものです。

市民農園は全国に3200カ所あるといわれています。市民農園を増やし、農業体験農園を増やしていくこと——そこに生まれる交流の輪、農業に対する理解は、日本農業全体を発展させることにつながるはず。生産者と消費者が一緒になつて守り続けていく、価値あるものなのです。

私の農園からも、農村地域の農家との交流が生まれ、そこに移住して野菜づくりをしながら、ゆとりある暮らしをする人たちが現われてきました。

このような新しい農業の展開が、これから安心・安全・健康な暮らしづくりへと向かっていくと思います。

誇りをもって「川下」に挑戦

佐賀県佐賀市 富士大和森林組合
組合長 松原 秀さん



トップランナーの視野



私を撮るなら「森」で。そこがいちばん落ち着くと笑う松原さん

プロフィール

松原 秀 (まつばら・ひでる)

1940年生まれ。1964年東京農業大学林学科卒業後、三瀬村(現・佐賀市)役場に就職。1967年佐賀県職員となり2000年3月に退職。この間、林政畑を歩む。2003年富士大和森林組合理事、2005年9月同組合長に就任。組合の赤字部門を短期間で黒字に転化させるなど、優れた経営手腕を発揮している。

私

私は土日は自分の山で山仕事をしています。山の作業をしていると「いま作業班はこんな仕事をする時期だな」とか「ちょっと蒸し暑くなってきたな」といったことを、肌で感じます。すると、どういったことに注意を払って作業しなければならぬか具体的なことを指示できるわけです。

林業は危険が伴いますから、経営を担う側はこのことを常に意識し、安全管理を徹底しなければなりません。

なぜ、はじめからこのようなことをお話しするかというと、実は理由があります。大変残念なことに、今年の6月、作業班の一人を仕事中に失ってしまいました。有望な人材をなくしたことは私にとってもまさに断腸の思いでした。

毎日毎日、皆が無事帰ってくるのが私の第一の願いです。ですからどんなに作業場が遠くても朝礼は欠かしません。全員を組合に集め「気を抜かず、安全に」ということを伝えてから送り出しています。

皆

にもう一つ、よく知っていることがあります。それは「若いうちにどんな資格を取れ」ということです。山の仕事というのは目標を設定しにくく、ベテランになるには時間がかかります。

勉強し、試験に合格したら自信が付くし、ほめられたらだれだってうれしい。もっと頑張ろうという気になるでしょう。資格取得は、技術や知識を習得できるだけでなく、モチベーションを保つ効果もあります。安全面においてもそれは大切です。

もちろん、その努力を強いるからには、組合も彼らに報いるために経営努力をし

ていかなければならないでしょう。例えば、給料面。作業班は日給月給制ですが、将来的には、月給制で雇用できるようにしたいと考えています。

組

合長になったのは2年前です。当時、製材加工所は赤字で、木材価格が上がる見込みもなく「どうしたものか」と考えました。しかし、いままでと同じことをやっていたのではなにも変わりません。

そこで大きな柱として立てたのが、経営の多角化と林産事業の充実です。なかでも林産事業はダイレクトに「川下」に働きかけるといふ策に打って出しました。

「川下」というのは、この業界の専門用語で、木材利用側のことです。「川上」が木材供給側。昔から木材は、山から川を利用して川下にある町に運ばれていたのだから、このような言葉ができたんでしょう。

ともかく最も川上にいる森林組合から、最も川下にいる施主に直接木材を届けることができなかつたと考えました。そうすれば材木市場の価格に左右されずに済む。これは大きな魅力です。

最初は、あらゆるつながりを利用していろいろな人や団体に「安心できる地元の木材を使った家を建てませんか」と、熱心に説明して回りました。誠心誠意、丁寧に、熱意をもち、対応は迅速に……。ただし価格は下げません。値引きは誠意とはいわない、ビジネスとして成り立たせることこそ誠意。そう思って営業に力を入れました。

やがて、一人また一人と賛同者が現れ、ついにある大手住宅メーカーの関連会社と「佐賀県内の新築住宅建築の際は富士

大和の木を使う」という確約を得ることができました。いまま佐賀市内で富士大和の木を使った家を建てているところですよ。いい家ですよ。

我が組合の方針とまではいきませんが、元手をかけずにお金に変えられるものは、なんでもお金にしてしまおうと思って運営しています。

いまもちかけられている話もちよっとおもしろいですよ。おがくずを高温高圧処理してカップ麺などの食器をつくるという技術をもった会社が、おがくずを卸してくれないかというのです。コストがどのくらいかかるか試算中ですが、ゴミとして処理していたものが利益を生むこともあるわけですね。

また、去年は間伐材を利用した木材加工販売所の「こだまの里」をオープンさせました。商品開発にあたっては品質が高く、個性的な製品づくりを目指しています。品質が低く、どこにでもあるようなものではなく、たとえ安くてもほかと勝負できないでしょう？

もちろん、品質にこだわるあまりつくり込み過ぎては売れません。実際やってみてわかってきたことですが「こだまの里」で人気なのは、一見なんの特徴もないように見えて、実はきちんとして手がかかっている商品です。

例えば樹皮が付いたままの丸太のイス。見た目はただの切り株です。しかし地面に接する面と座る面はきちんとして水平に切っています。この「水平」というのがポイントで、工場でないといけません。また、年輪を模様としていかしたトレ

も人気があります。年輪の美しさを出そうと思いませんか。でもそのこだわりを実現するのは本当に難しくて、いったい何枚試作品を作ったかな。結局は特殊な加工を施せる設備を工場に導入しました。年輪が浮き上がって見えていいですね。でも素朴な風合いも失っていない。それが受ける。

ほかと同じことをしては生き残れない。このことは木材を売るにしても、加工品を売るにしても同じです。それは私は楽しんでやりたいと思っています。常に「次はどんな新しいことをやろう」と考えるのが好きですね。

ア ルプホルンの大会もそう考えた考えの延長で実現したことです。アルプホルンとは、スイスなどの山岳地帯で演奏されてきた木製楽器のこと。なんとなくご存知でしょうか？

たまたま県西部にある嬉野市の市長や福祉授産施設の西部コロニーの理事長とともに森林資源を活用した町づくりについて話していた時でした。

「森林資源の活用といたって楽しくないといけない。それはやはり遊びに関するものだろう。例えば森林資源活用先進地域であるヨーロッパでは、スイスでは」というような会話となり、アルプホルンにたどり着きました。そして「日本でも間伐材を利用してアルプホルンが

つくれないか。よし、どうせならイベントにしよう。そうだ、手づくりアルプホルン教室にしよう」と、どんどんアイデアが膨らんでいったのです。それが2007年9月、「全国アルプ

ホルン大会 IN 佐賀嬉野 手づくりアルプホルン大会」として実現しました。うれしかったですね。全国アルプホルン連盟会長の中川重年さんや元NHK交響楽団・フレンチホルン奏者の大野良雄さんなど多くの方に協力いただきました。玉川アルプホルンクラブや韓国ヨードル協会のメンバーがカラフルな衣装を着て佐賀の地でホルンを奏でたんですよ。

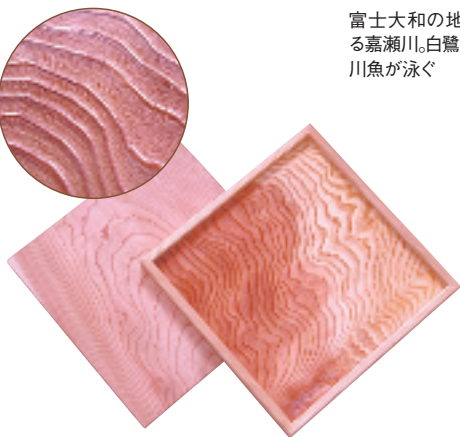


富士大和の地を流れる嘉瀬川。白鷺が舞い、川魚が泳ぐ

なく根曲がり、根元が曲がっている木を利用します。根曲がりには建築材としての価値は低い。けれどもアルプホルンの材料には不可欠です。おもしろいでしょう。一つ夢がありましたね。いま、富士大和では上流で嘉瀬川ダムを建築中で、2011年に完成する予定です。その完成式典にアルプホルンをずらりと並べる。そして地元材で作ったアルプホルンの音色を真新しいダムに向かって響かせるんです。どうですか、ちょっと壮観だと思いませんか？



木の自然なカーブを利用してつくるアルプホルン。3パーツからなり、長さは3m。2mmの厚さになるまで丁寧にくりぬく(写真上)「第1回全国アルプホルン大会 IN 佐賀嬉野 手づくりアルプホルン教室」では、アルプホルン奏者が佐賀に結集した(写真左)



年輪が浮き上がり、美しい光沢を放つよう加工したトレイ(右)と材料の杉板(左)



写真提供：(社) 全国林業改良普及協会



トップランナーの視野

「担い手不足」「燃料高」「魚価安」。全国的に見ても、漁業が置かれている状況は極めて厳しいといわざるを得ません。燃料高にしても魚価安にしても、改善の見通しが立たないなかで利益を確保していくには、どうしたらいいのか…。

魚

津漁協所属の漁船は、この10年間で50隻ほど減りました。組合員の平均年齢も62・8歳と、確実に高齢化が進んでいます。

昔は、乗組員が必要なら親戚が知り合いのツテで探すのが当たり前でした。しかし、1990年代初めごろ、あちこちの船主から「人手が足りないのどうにかしてほしい」という要望を受け、職業安定所で漁業者を募集。人数は集まったものの、ほとんどが定着しませんでした。いま思えば、とにかく誰でもいいからと漁業者への本気度を見極めないまま受け入れてしまったことと、人材のあっせんのみでフォローが足りなかったことに原因があったのかな。その後、試行錯誤を経て、現在、県外出身者を含め30名以上の新規漁業就業者が新たな担い手として

生産者としての自信をもち 安全・安心な 食材の提供を

富山県魚津市 魚津漁業協同組合
参事 浜住 博之さん



「販路拡大のため
自らも各地へ出向く」という
浜住さん

プロフィール

浜住 博之（はまずみ・ひろゆき）

1956年、富山県魚津市生まれ。国立富山商船高等専門学校卒業後、商船会社に入社、北米航路の船員として木材の輸送などに携わる。1979年、結婚を機に陸上での仕事を希望し、魚津漁業協同組合の職員として採用される。モットーは「消費者から信頼される食料産業」。趣味は釣り、ゴルフ、テニス。好きな魚介類は？の問いには「すべて好きですが、とくにとなればイカ類かな」。

活躍しています。今年からは、漁業施設の一部をリフォームし、研修生のための宿泊所を設けたんですよ。

地元根付いてもらうには、地域になじんでもらわなければなりません。裏を返せば「よそ者意識との闘い」といえるかも知れませんが、残念な話ですが、漁業版いじめの実態もあるようです。いじめているほうからすれば、「新人を試してやれ」という軽い気持ちなんですよ。それが原因で辞められるとせっかくのチャンスを失うことになる。もはや、地元だけで人材を確保できないことは明らかです。出身地は違っても、同じ海の上で働く仲間として心を開くことが求められているのではないのでしょうか。

皆

さんは「漁協」に対してどんなイメージをもっていますか？ 意外かも知れませんが、私たちは漁協に対して世間は良いイメージなどもっていないだろうと思ひ込んでいました。ところが、実際の声を聞いてみると「漁協の名前が入っていると安心！」「漁協から直接買えば間違いはない！」と返ってきた。これにはかなり驚きました。自分たちが思っている以上に、漁協を評価してくれていたのです。

どうして今までこんなこともわからなかったのかというと、消費者との距離があまりにも遠かったから。漁業者は魚を捕ったら終わり、漁協は市場で受け渡したら終わり、その後は仲買人に任せっきりでした。だから、消費者がなにを求めているのか具体的な顔が見えてこなかった。

魚津漁協では、6年前から郵便局のふらさと小包やデパートのお中元・お歳暮などで産直販売をしています。ルート開拓のために出向いた地で消費者の声を聞き、漁協が信頼のブランドであることに気付かされました。

産地偽証の問題などもあって、消費者の産地に対する見方は変化しています。安全・安心な食への意識の高まりは、きちんと衛生管理した漁獲物を提供している漁協からすれば追い風。自信をもって自分たちの生産物をお勧めするチャンスなのです。

4年前に新設した「魚津おさかなランド」は、高度に衛生管理された密閉型の市場です。漁獲物を取り扱う競り場ゾーンは、サニタリー室でエアシャワーを浴び、身体や長靴を洗浄しないと入場不可。出口から競り場ゾーンへの戻り防止のため、ドアにはノブを付けず一方通行とするなど、構造的に衛生管理できるとしているんですよ。

反面、新しい市場はこれまで以上に維持・管理費がかかります。漁業者が減り、漁協の収入が減り続けるなかで、この費用を工面しなければなりません。単純に考えれば、漁業者への負担を増やすことになるのですが、苦しい現状を知っているだけに、それは避けたかった。そこで目を付けたのが、流通の過程でかかってくるマージンです。

水産物は一般的に、漁業者→産地市場→産地仲買人→消費地市場→消費地仲買人→小売店という流通経路を取っています。しかし、この過程を経ると、その



集魚灯に頼るイカ釣り漁業は燃料高の影響も大きい



「魚津おさかなランド」内部。施設外を遮断するドックシェルター、施設内の各ゾーンを仕切るシートシャッターなど、衛生管理のための工夫がいっぱい(写真左)

雲気楼で知られる富山湾に面して立つ魚津漁協の市場「魚津おさかなランド」。延べ床面積 5612.8㎡(写真右)

分、産地価格に跳ね返ってきます。例えば、漁師が1匹1000円で売った魚が、食卓に上るときには1匹10000円にもなる。この生産者価格と消費者末端価格との差を縮めるために考えたのが中抜きをした産直販売です。漁協が販売をすることに対して、最初は仲買人の方からの反発も大きかった。そりゃ、当然ですよ。でも、何度も話し合いを重ね、少しずつ理解を得て、今では良いパートナー関係を築いています。

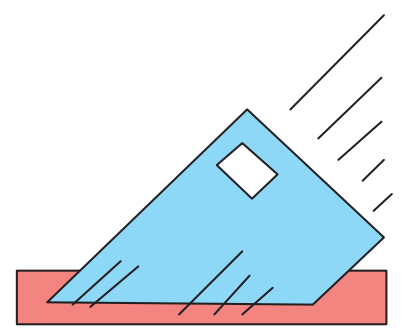
産 直販売に加えて、委託加工販売も手がけています。昨年からは、漁協と水産加工業者4社が協同で加工場を設け、地元大学の技術協力を得ています。

全国展開している大手スーパーに納品した「ポイルホタルイカと海藻セット」約5万パックは、デリカ部門でトップ10入りするほどの人気商品になったんですよ。風味を損なわない状態で発送したのが、受けたのでしょうか。

食品流通は、消費者のニーズの変化により大きく様変わりしています。消費者が求める商品を提供できるよう、漁協として柔軟に対応できる環境を整えておくことも、厳しい時代を生き抜くには必要かもしれません。

「漁業者からの収入だけに頼る漁協から脱皮して、自ら主体的に利益追求できる漁協へ」。漁業の活力を失わないためにも、漁協として、地元漁業界のけん引役を果たしていきたいですね。





Voice iju info 読者コーナー

就 農準備校の体験コースに参加してみようと思います

愛知県 谷口麻美さん 27歳

読者コーナーにお便りさせていただきま
す。わたしは、消費欲にかられて自然への
感謝の心を忘れた今の生活を変えたくて、
職業も含めて新しいライフスタイルを模索
しています。そのなかで、就農の道を考え
るようになりまし。就農準備校で有機農
業を学べるとのことですので、まずは体験
コースに参加してみようと思います。女性
の就農者の体験など、貴重な情報が得られ
る御紙に大変感謝しています。次号も楽し
みにしています。

産 まれた子牛の写真でケータイがいっぱいです！

福岡県 牛娘の妹さん 22歳

私の姉(24)は、就農して4年たちまし
た。姉は子牛の生産をしています。人工授
精師でもあり、種も自分でつけているんで
すよ！我が家の自慢の姉です。これから
もがんばって欲しいです。しかし悩みがひ
とつ。姉は、子牛が産まれるたびに私に

写メールを送ってくれるので私のケータイ
のフォルダは子牛の写真でいっぱいです。



学 生が閲覧できるように進路資料室に置いてあります

和歌山県 M・Tさん 33歳

私は高校で就職関係の仕事をしていま
す。農林漁業に興味のある学生にとって
現状を知るのたいへん役立つ情報誌なの
で、誰でも閲覧できるように進路資料室に
置いています。

子 育てに関する実例やケアも取り上げてほしい

神奈川県 山口則彦さん 41歳

IJUライフの良いところばかりでな
く、難しい面も取り上げてあり、親切な記
事構成で好感が持てます。30代でのIJU
ターンも多いことから、子育てに関する実
例やケアについてもこれからぜひ取り上げ
てほしいと思います。

意 外と身近な所に農業の門戸が開かれているんですね

神奈川県 加藤いずみさん 30歳

今回初めて御誌を手にとりて読ませてい
ただきました。農林漁のイメージは今まで
遠い存在だったのですが、意外と身近な所

見 たりいて、こちらまで元気に なります

千葉県 いちご牛乳さん 21歳

写真や文章が生き生きしています。みな
さん笑顔が良い！見ていて、こちらまで
元気になってきます。自然に触れて生きて
いるからこそ、こんな素敵な表情が出るの
かなと思いました。

ネ イティブアメリカンの言葉を思い出しました

神奈川県 藤本まり子さん 58歳

子供の頃、我が家では自分の家で食べる
分だけの野菜・お米を作っていて、私も手
伝っていました。これは、今振り返ってみ
ると、貴重な体験だったと思っています。
土いじりが、知らぬうちに体で覚えていて、
又、農業をやっても初心者よりはスムーズ
にやれるのでは？と思っています。ネイテ
ィブ・アメリカンの言葉を思い出しました。
「この大地は祖先からゆずり受けたもの

に門戸が開かれていると思いました。

ではない。ましてや、私たちのものでは決
してない。そう、この大地は未来の子孫か
ら借り受けているのだ」
未来の人達の為にも、農・漁・林業を守
っていかないと。

暮 らしの情報収集の方法がわかりました

広島県 長尾薫さん 40歳

広島県のアンテナショップ「夢ぶらざ」で、
初めて「iju info」を手にしまし
た。田舎暮らしに興味はあるものの、情報
収集の方法すら、わからなかったのですが、
IJUを読んで、その問い合わせ先がわか
りました。また、田舎暮らしもいいことは
かりではなく、苦労もあるんだと実感しま
した。今後ゆっくり
と検討していきま
いと思ひます。

お便り 大募集!

本誌の感想をはじめ、「農林漁業への就業」、「農
業体験・農的生活」、「定年帰農・セカンドライフ」、
「田舎暮らし・移住」などに関する体験談や意見を
募集しています。農業・林業・漁業での感動秘
話や思わぬ失敗談、お世話になった人への感謝の
メッセージ、おもしろい仲間のエピソードなど、
なんでもけっこうです。写真やイラスト(絵手紙
含む)なども大歓迎! いろいろな投書をお寄せ
ください。

〒105-0001
東京都港区虎ノ門1-25-5
虎ノ門34MTビル5階
全国農業会議所
「iju info 読者コーナー係」
Eメール: iju-info@web-iju.info

掲載された方には
図書カード
を進呈いたします。

- 住所、氏名、年齢、電話番号、あればメールアドレスをご記入のうえ、ご投書ください。匿名希望の場合は、ペンネーム、イニシャル、名前のみなどのご希望をお書き添えください。
- 原稿、写真やイラスト(絵手紙含む)のご返却はできません。ご了承ください。
- 文章を一部、抜粋して掲載することがあります。あらかじめご了承ください。
- お寄せいただいた情報は、読者ページ(ホームページの同コーナーを含む)の掲載以外には使用いたしません。

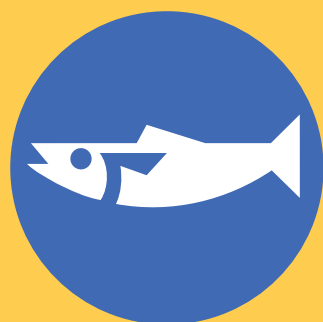


農林漁業就業 I・J・Uターンガイド



農業就業ガイド

林業就業ガイド



漁業就業ガイド

I・J・U
ターンガイド

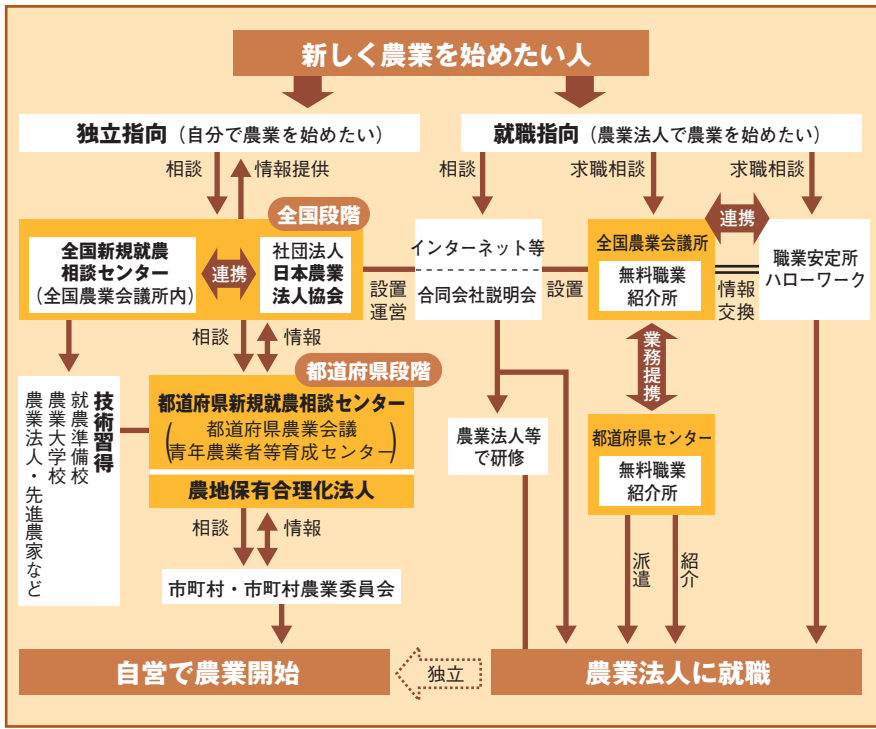


iju infoサポーター

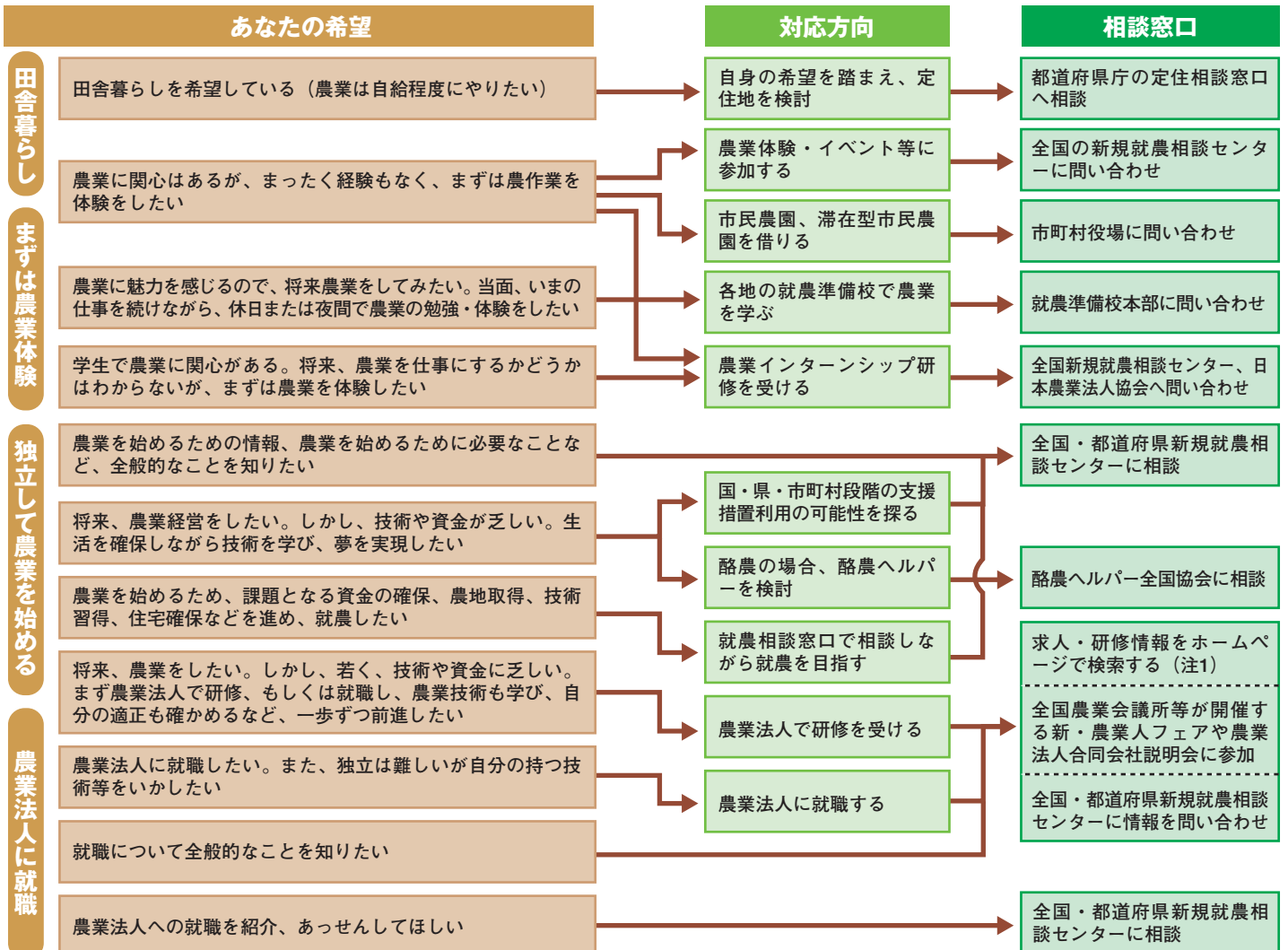
農業に就くには？

農業に興味があっても、非農家出身では、さまざまな不安を抱く人は多い。だが、農業をやったことのない人でも農地を取得して農業を始めることは可能だ。独立するだけでなく農業法人などに就職して農業を始めることもできる。そこで必要となってくるのが、農作業の体験が可能な団体や施設、農地を実際に買ったり借りたりする条件、移住先の空き家情報、農業法人などの求人情報だろう。農業に興味を持っている人や、自給自足をしながら地方に定住したい人は、就農までのイメージをつかむために、まずは全国・都道府県新規就農相談センターの相談窓口を訪ねよう。

就農までのフローチャート

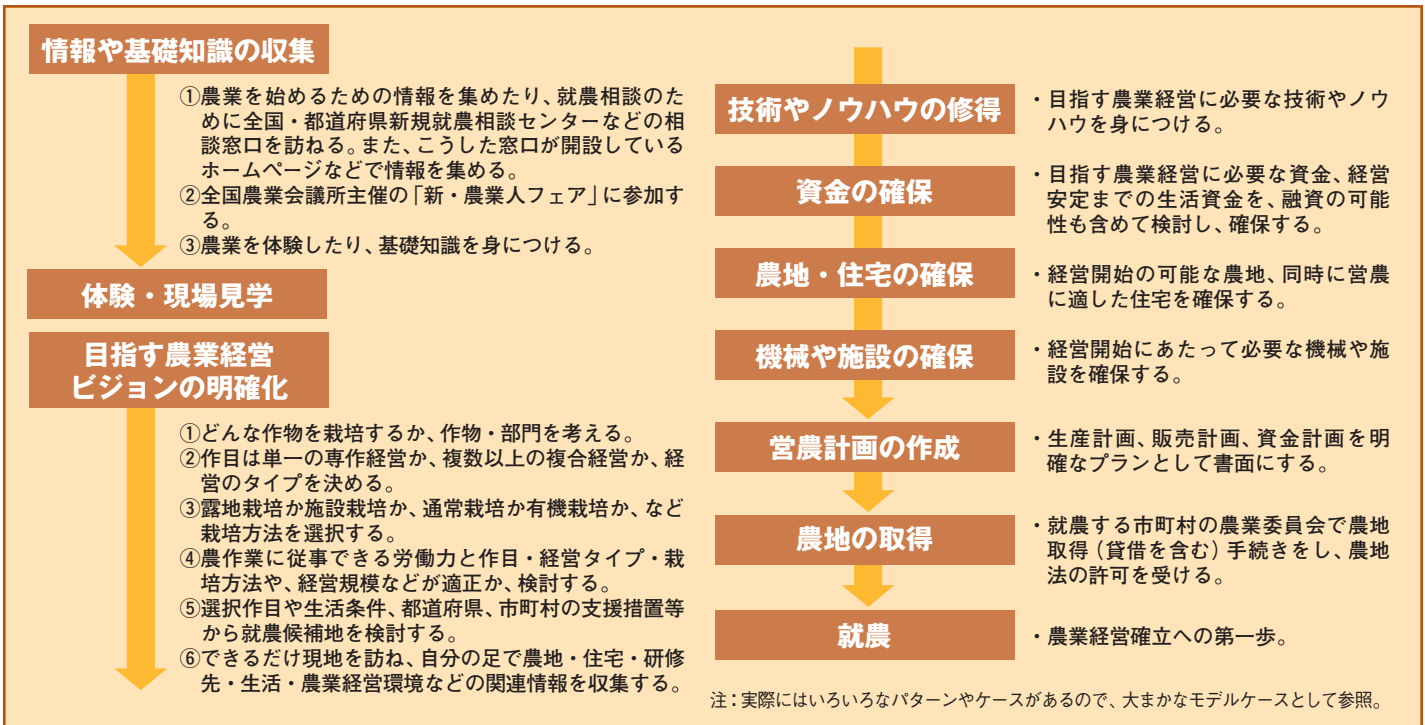


就農イメージと対応方向



注1: 求人・研修情報の検索 (<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>)

就農までの道すじ



| 都道府県新規就農相談センター | | | |
|---------------------|----------------|----------|--------------------|
| 都道府県青年農業者等育成センター | | 都道府県農業会議 | |
| 指定法人 | 電話番号 | 農業会議 | 電話番号 |
| (社)北海道農業担い手育成センター | 011 (271) 2255 | 北海道農業会議 | 011 (281) 6761 (直) |
| (社)青い森農林振興公社 | 017 (773) 3131 | 青森県農業会議 | 017 (774) 8580 (直) |
| (社)岩手県農業公社 | 019 (623) 9390 | 岩手県農業会議 | 019 (622) 5825 (直) |
| (財)みやぎ農業担い手基金 | 022 (264) 8238 | 宮城県農業会議 | 022 (275) 9164 (直) |
| (社)秋田県農業公社 | 018 (884) 5512 | 秋田県農業会議 | 018 (860) 3540 (直) |
| (財)山形県農業振興機構 | 023 (635) 0589 | 山形県農業会議 | 023 (622) 8716 (直) |
| (財)福島県農業振興公社 | 024 (521) 9848 | 福島県農業会議 | 024 (524) 1201 (直) |
| (財)茨城県農林振興公社 | 029 (239) 7131 | 茨城県農業会議 | 029 (301) 1236 (直) |
| (財)栃木県農業振興公社 | 028 (648) 9511 | 栃木県農業会議 | 028 (648) 7270 (代) |
| (財)群馬県農業公社 | 027 (251) 1220 | 群馬県農業会議 | 027 (280) 6171 (代) |
| (社)埼玉県農林公社 | 048 (558) 3555 | 埼玉県農業会議 | 048 (829) 3481 (直) |
| (社)千葉県水産公社 | 043 (222) 9136 | 千葉県農業会議 | 043 (222) 1703 (直) |
| (財)東京都農林水産振興財団 | 042 (528) 1357 | 東京都農業会議 | 03 (3370) 7145 (直) |
| (社)神奈川県農業公社 | 045 (651) 1703 | 神奈川県農業会議 | 045 (201) 0895 (直) |
| (財)山梨県農業振興公社 | 055 (223) 5747 | 山梨県農業会議 | 055 (228) 6811 (直) |
| (社)岐阜県農畜産公社 | 058 (276) 4601 | 岐阜県農業会議 | 058 (268) 2527 (代) |
| (社)静岡県農業振興公社 | 054 (250) 8991 | 静岡県農業会議 | 054 (255) 7934 (直) |
| (財)愛知県農業振興基金 | 052 (951) 3626 | 愛知県農業会議 | 052 (962) 2841 (直) |
| (財)三重県農林水産支援センター | 059 (259) 0855 | 三重県農業会議 | 059 (259) 0860 (直) |
| (社)新潟県農林公社 | 025 (281) 3480 | 新潟県農業会議 | 025 (223) 2186 (直) |
| (社)富山県農林水産公社 | 076 (441) 7396 | 富山県農業会議 | 076 (441) 8961 (直) |
| (財)石川21世紀農業育成機構 | 076 (257) 7141 | 石川県農業会議 | 076 (257) 7066 (代) |
| (社)ふくい農林水産支援センター | 0776 (21) 5475 | 福井県農業会議 | 0776 (21) 0010 (代) |
| (社)長野県農業担い手育成基金 | 026 (231) 6222 | 長野県農業会議 | 026 (234) 6871 (直) |
| (財)滋賀県農林漁業後継者特別対策基金 | 077 (523) 5505 | 滋賀県農業会議 | 077 (523) 2439 (直) |
| (社)京都府農業開発公社 | 075 (417) 6847 | 京都府農業会議 | 075 (441) 3660 (直) |
| (財)大阪府みどり公社 | 06 (6266) 8916 | 大阪府農業会議 | 06 (6941) 2701 (直) |
| (社)兵庫みどり公社 | 078 (361) 8116 | 兵庫県農業会議 | 078 (361) 8110 (直) |
| (財)奈良県農業振興公社 | 0742 (22) 6148 | 奈良県農業会議 | 0742 (22) 1101 (代) |
| (財)和歌山県農業公社 | 073 (433) 5547 | 和歌山県農業会議 | 073 (428) 4165 (直) |
| (財)鳥取県農業担い手育成基金 | 0857 (26) 7276 | 鳥取県農業会議 | 0857 (26) 8371 (直) |
| (財)しまね農業振興公社 | 0852 (32) 2300 | 島根県農業会議 | 0852 (22) 4471 (直) |
| (財)岡山県農林漁業担い手育成財団 | 086 (226) 7423 | 岡山県農業会議 | 086 (224) 2111 (代) |
| (財)広島県農林振興センター | 082 (541) 6185 | 広島県農業会議 | 082 (545) 4146 (直) |
| (財)やまぐち農林振興公社 | 083 (924) 8900 | 山口県農業会議 | 083 (923) 2102 (直) |
| (財)徳島県農業開発公社 | 088 (621) 3083 | 徳島県農業会議 | 088 (621) 3054 (直) |
| (財)香川県農業振興公社 | 087 (831) 3211 | 香川県農業会議 | 087 (812) 0810 (直) |
| (財)えひめ農林漁業担い手育成公社 | 089 (945) 1542 | 愛媛県農業会議 | 089 (921) 4438 (直) |
| (財)高知県農業公社 | 088 (823) 8618 | 高知県農業会議 | 088 (824) 8555 (直) |
| (財)福岡県農業推進機構 | 092 (716) 8355 | 福岡県農業会議 | 092 (711) 5070 (直) |
| (財)佐賀県青年農業者育成センター | 0952 (25) 7106 | 佐賀県農業会議 | 0952 (23) 7057 (直) |
| (財)長崎県農林水産担い手育成基金 | 095 (895) 2935 | 長崎県農業会議 | 095 (822) 9647 (直) |
| (財)熊本県農業後継者育成基金 | 096 (385) 2679 | 熊本県農業会議 | 096 (384) 3333 (直) |
| (社)大分県農業農村振興公社 | 097 (535) 0400 | 大分県農業会議 | 097 (532) 4385 (直) |
| (社)宮崎県農業振興公社 | 0985 (51) 2631 | 宮崎県農業会議 | 0985 (29) 6333 (直) |
| (社)鹿児島県農業・農村振興協会 | 099 (213) 7222 | 鹿児島県農業会議 | 099 (286) 5815 (直) |
| (財)沖縄県農業後継者育成基金協会 | 098 (866) 2280 | 沖縄県農業会議 | 098 (867) 7385 (直) |

活用しよう!! WEB iju info
 WEB版 iju infoは
 バックナンバー等お役立ち情報満載!
URL: <http://web-iju.info/>



●新規就農希望者の相談窓口

農業を始めるための情報を集めたり、就農相談のために、全国段階および都道府県段階に「新規就農相談センター」という相談窓口がある。下記と左表参照。

全国新規就農相談センター
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-25-5
 虎ノ門34MTビル5F 全国農業会議所内
 TEL. 03 (3507) 3088 (相談用)
 FAX. 03 (3507) 3081
<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>

林業に 就くには？

山や森で働きたいと思ったとき、現実的な選択肢として「林業の職に就く」ことが挙げられる。林業とは木材を採るために苗を植え、育て、伐採して収益をあげる事業だ。そして、貴重な森林資源を次の世代につなげていく仕事でもある。山林をもたない人が一から林業を始めることは、現実的には難しい。ほとんどの場合、森林組合や民間の林業会社で森林作業等に従事することになる。それには一定の技術習得が必要だが、そのための支援は、国や県や地域で用意されている。まずは林業労働力確保支援センターに相談してみよう。

林業就業ステップ

情報収集

- 全国森林組合連合会のホームページで、求人情報をチェックする。
- 全国森林組合連合会、都道府県林業労働力確保支援センターに電話し、説明会などの情報を問い合わせる。
- 国や民間で開催する「就職フェア」の林業コーナーで説明を聞く。
- 森林組合や民間の林業会社に問い合わせる。
- 求人誌やハローワークなどの情報をチェックする。
- ☆都道府県林業労働力確保支援センターでは、随時相談を受け付けている。

行動を起こす

- 各都道府県の林業労働力確保支援センターに相談する。
- 全国森林組合連合会や地方公共団体などが行っている林業体験教室に参加する。
- NPOやボランティア団体などが行っている市民ボランティアに参加する。
- 希望する地域が絞り込めたら直接森林組合や民間の林業会社に足を運んで話を聞く。
- 採用してくれそうな経営体に、直接にアタック、応募して選考を受ける。
- ☆林業は、森林組合や民間の林業会社に就職するのが一般的。

いざ、森林作業へ

- 「緑の雇用」事業を利用し研修生になる。
- 森林組合や民間の林業会社に就職。
- ☆「緑の雇用」事業は、国が行う林業本格就業前の1年間の研修。
- ☆森林組合とは森林の所有者が組織する協同組合のこと。
- ☆就職後に研修を受けることができたり、研修費用の補助が受けられる都道府県もある。

経験を積む

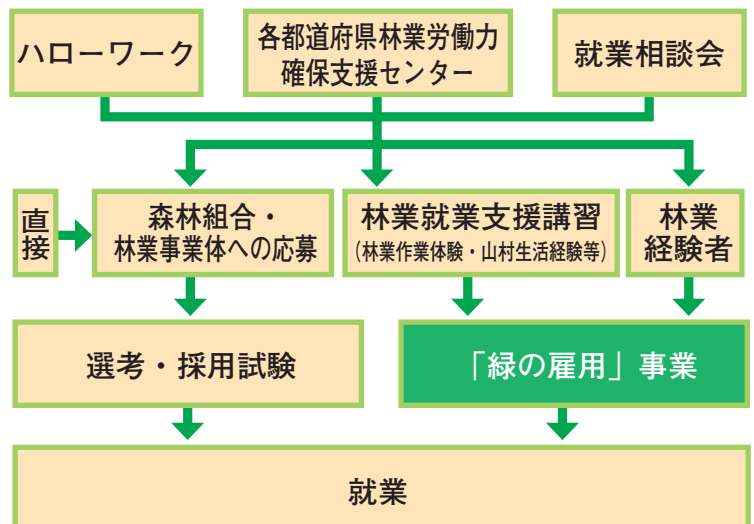
- 基幹的な林業従事者として、地域に定着して造林・間伐などの業務を身に付ける。
- ☆森林を育てるのは長い年月と膨大な費用がかかるため、独立は困難。森林組合や民間企業の中でステップアップしていく。

就業ガイド



活用しよう!! WEB iju info
WEB版 iju infoは
バックナンバー等お役立ち情報満載!
URL: <http://web-iju.info/>

林業就職 活動フロー



※「緑の雇用」事業、「林業就業支援講習」は通年募集ではないため、詳しくは各都道府県の林業労働力確保支援センターに問い合わせを。

緑の雇用とは？

「緑の雇用」とは、林野庁の補助を受けて全国森林組合連合会が実施する「緑の雇用担い手対策事業」のこと。林業の仕事は、苗木の植え付けから木材の伐採まで、多様な技術を身に付ける必要がある。そこで森林組合等の林業事業者体採用された人々に対し、事業者体を通じて支援を行うものだ。支援を受けるには「ハローワーク、林業労働力確保支援センター、学校など公的機関を通じて森林組合などの林業事業者体採用された者」という条件がある。

林業を営む組織とその仕事内容

森林組合

森林組合は森林所有者の協同組織で、現在、全国に約800組合ある。組合員が所有する森林を中心に、地域の森林資源の管理・運営を行うため、造林・育林、伐採の作業を請負う。また、地域特産の林産物販売など、経営の多角化を図っている組合もある。

民間の林業会社

民間の林業経営体は、個人規模の林家を含め全国で280万以上ある。このうち、企業は約4万4000社。こうした企業に就職した場合は、造林や育林、林道などの環境整備、伐採等が仕事となる。また、木材の加工を専門に行う企業も林業に含まれる。

その他

農林水産大臣認定の資格となる森林インストラクターは、森林等に関する知識を広め、ガイドや野外活動の指導を行う。窓口は(社)全国森林レクリエーション協会。また、樹木医は農林水産省が認定した公益法人等が認定する公的資格。地域の樹木や樹林保護の研究や、診断・治療を行う。

●林業全般について情報を集める

| 林業労働力確保支援全国センター | 電話番号 | 〒 | 所在地 |
|-----------------|----------------|----------|-----------------------|
| 全国森林組合連合会 | 03 (3294) 9713 | 101-0047 | 東京都千代田区内神田1-1-12コープビル |

●地域の林業について情報を集める

| 都道府県 | 都道府県林業労働力確保支援センター | 電話番号 | 〒 | 所在地 |
|------|---------------------|----------------|----------|-------------------------------|
| 北海道 | (社)北海道造林協会 | 011 (200) 1381 | 060-0004 | 札幌市中央区北4条西5丁目(道林業会館6F) |
| 青森県 | (社)青い森農林振興公社 | 017 (732) 5288 | 030-0801 | 青森市新町2-4-1(青森県共同ビル6F) |
| 岩手県 | (財)岩手県林業労働対策基金 | 019 (653) 0306 | 020-0021 | 盛岡市中央通3-15-17 |
| 宮城県 | (財)みやぎ林業活性化基金 | 022 (217) 4307 | 980-0011 | 仙台市青葉区上杉2-4-46 |
| 秋田県 | (財)秋田県林業労働対策基金 | 018 (864) 0161 | 010-0931 | 秋田市川元山下町8-28(県森連会館3F) |
| 山形県 | (財)山形県林業公社 | 023 (623) 3505 | 990-0044 | 山形市緑町1-9-30(緑町会館6F) |
| 福島県 | (社)福島県林業協会 | 024 (521) 3245 | 960-8043 | 福島市中町5-18(県林業会館内) |
| 茨城県 | (社)茨城県林業協会 | 029 (225) 5949 | 310-0011 | 水戸市三の丸1-3-2(県林業会館内) |
| 栃木県 | (財)栃木県森林整備公社 | 028 (643) 5330 | 320-0024 | 宇都宮市栄町5-7 |
| 群馬県 | (財)群馬県森林・緑整備基金 | 027 (360) 6206 | 370-3503 | 北群馬郡榛東村大字新井2935 |
| 埼玉県 | (社)埼玉県農林公社 | 0494 (25) 0291 | 368-0034 | 秩父市日野田町1-1-44(埼玉県秩父農林振興センター内) |
| 千葉県 | (社)千葉県緑化推進委員会 | 0438 (60) 1521 | 299-0265 | 袖ヶ浦市長浦拓2号580-148 |
| 東京都 | (財)東京都農林水産振興財団 | 042 (528) 0643 | 190-0013 | 立川市富士見町3-81 |
| 神奈川県 | (社)かながわ森林づくり公社 | 0465 (85) 1881 | 258-0021 | 足柄上郡開成町吉田島2489-2 |
| 新潟県 | (社)新潟県農林公社 | 025 (285) 7711 | 950-0965 | 新潟市新光町15-2 |
| 富山県 | (社)富山県農林水産公社 | 076 (441) 6747 | 930-0096 | 富山市舟橋北町4-19(県森林水産会館6F) |
| 石川県 | (財)石川県林業労働対策基金 | 076 (237) 0121 | 920-0209 | 金沢市東蚊爪町1-23-1 |
| 福井県 | (財)福井県林業従事者確保育成基金 | 0776 (38) 0345 | 918-8567 | 福井市江端町20-1 |
| 山梨県 | (財)山梨県林業公社 | 055 (230) 1400 | 400-0031 | 甲府市丸の内1-9-11(県民会館内) |
| 長野県 | (財)長野県林業労働財団 | 026 (225) 6080 | 380-8567 | 長野市大字中御所字岡田30-16(県林業センター内) |
| 岐阜県 | (社)岐阜県森林公社 | 058 (277) 1063 | 500-8384 | 岐阜市藪田南5-14-53(県民ふれあい会館9F) |
| 静岡県 | (社)静岡県山林協会 | 054 (255) 4485 | 420-8601 | 静岡市葵区追手町9-6(県庁西館9F) |
| 愛知県 | (財)愛知県林業振興基金 | 052 (953) 3608 | 460-0002 | 名古屋市中区丸の内3-5-16 |
| 三重県 | (財)三重県農林水産支援センター | 059 (259) 0855 | 514-1101 | 津市久居明神町2501-1 |
| 滋賀県 | (財)びわ湖造林公社 | 077 (522) 8349 | 520-0807 | 大津市松本1-2-1(大津合同庁舎6F) |
| 京都府 | (財)京都府林業労働支援センター | 075 (821) 9277 | 604-8424 | 京都市中京区西ノ京橋ノ口町123 |
| 大阪府 | (社)大阪府木材連合会 | 06 (6538) 7524 | 550-0013 | 大阪市西区新町3-6-9 |
| 兵庫県 | (財)兵庫県営林緑化労働基金 | 078 (361) 8010 | 650-0004 | 神戸市中央区中山手通7-28-33 |
| 奈良県 | (財)奈良県林業基金 | 0742 (27) 4860 | 630-8301 | 奈良市高畑町1116-6(なら土連会館内) |
| 和歌山県 | (社)わかやま森林と緑の公社 | 0739 (83) 2022 | 649-2103 | 西牟婁郡上富田町生馬1504-1 |
| 鳥取県 | (財)鳥取県林業担い手育成財団 | 0857 (28) 0121 | 680-0947 | 鳥取市湖山町西2-413 |
| 島根県 | (社)島根県林業公社 | 0852 (32) 0253 | 690-0886 | 松江市母衣町55-4(松江商工会議所ビル6F) |
| 岡山県 | (財)岡山県林業振興基金 | 086 (225) 9382 | 700-0866 | 岡山市岡南町2-5-10 |
| 広島県 | (財)広島県農林振興センター | 082 (541) 6187 | 730-0051 | 広島市中区大手町4-2-16 |
| 山口県 | (財)やまぐち森林担い手財団 | 083 (932) 5286 | 753-0048 | 山口市駅通り2-4-17(県林業会館内) |
| 徳島県 | (財)徳島県林業労働力確保支援センター | 088 (622) 8158 | 770-0939 | 徳島市かちどき橋1-41(県森連内) |
| 香川県 | 香川県森林組合連合会 | 087 (861) 4352 | 760-0008 | 高松市中野町23-2 |
| 愛媛県 | (財)えひめ農林漁業担い手育成公社 | 089 (934) 6153 | 790-0003 | 松山市三番町4-4-1(県林業会館4F) |
| 高知県 | (財)高知県山村林業振興基金 | 0887 (57) 0366 | 782-0078 | 香美郡土佐山田町大平80(森林総合センター内) |
| 福岡県 | (財)福岡県水源の森基金 | 092 (712) 1443 | 810-0001 | 福岡市中央区天神3-10-25(森連ビル内) |
| 佐賀県 | (財)佐賀県森林整備担い手育成基金 | 0952 (25) 7133 | 840-0041 | 佐賀市城内1-1-59(県庁林業課内) |
| 長崎県 | (社)長崎県林業協会 | 095 (861) 5185 | 850-0063 | 長崎市飽の浦町5-3 |
| 熊本県 | (財)熊本県林業従事者育成基金 | 096 (340) 1151 | 862-0950 | 熊本市水前寺6-5-19(県住宅供給公社ビル204号) |
| 大分県 | (財)大分県森林整備センター | 097 (546) 3009 | 870-0844 | 大分市大字古国府字内山1337-15 |
| 宮崎県 | (社)宮崎県林業労働機械化センター | 0985 (29) 6008 | 880-0804 | 宮崎市宮田町13-16(県庁10号館) |
| 鹿児島県 | (財)鹿児島県林業担い手育成基金 | 0995 (54) 3131 | 899-5302 | 姶良郡蒲生町上久徳182-1 |
| 沖縄県 | (社)沖縄県林業協会 | 098 (888) 0677 | 900-0024 | 那覇市字古波蔵112(雇用改善指導相談室) |

就業ガイド 漁業

活用しよう!! WEB iju info
WEB版 iju infoは
 バックナンバー等お役立ち情報満載!
 URL: <http://web-iju.info/>

漁業に就くには?

「漁師って憧れるよな」そんな気持ちに一度でもなったことがあるなら、漁師という職業をもっと身近に考えてみては? 「漁師はツテがなければできない」とあきらめることはない。これまでまったく漁業に関係ない人生を歩んできた人でも、漁師になるチャンスはある。

そのサポートをしてくれる機関が全国漁業就業確保育成センターだ。これから漁師を目指す人に、必要な情報を提供したり、研修を行ったり、講習会を開いたりしている。一口に漁師といっても漁法や魚種は多種多様。まずは、全国漁業就業確保育成センターが発信する情報の収集から始めてみてはどうだろうか。

まずは、情報収集

- ・全国漁業就業確保育成センターの…
 - ホームページを見る
 - パンフレットを入手する
 - 話を聞く
- などして、漁法や魚種、地域、漁業についてよく調べる。就業者の体験談なども参考にしながら、自分が目指す漁業を見きわめていく。沿岸漁業、沖合漁業、遠洋漁業はそれぞれライフスタイルが全く違うので、その点もよく考えよう。
- 全国漁業就業確保育成センター <http://www.ryoushi.jp/>

行動を起こす

- ・漁業チャレンジ準備講習会に参加する。
- ・漁業就業支援フェアに参加する。
- ・求人情報をあたる。
 - 全国漁業就業確保育成センターのホームページ、船員求人情報ネット、ハローワーク、就職情報誌などで探す。
 - 各地にある漁業就業確保育成センターや全国の漁協などに直接、問い合わせる。

沖合漁業・遠洋漁業

船に乗る

- ・漁業会社の乗組員としてスタート。甲板部か機関部の新人として働くが、いずれも中心となるのは漁労作業。
 - 甲板員は、漁労作業、船の運航保安、見張りなどを行う。
 - 機関員は、エンジンの操作、保守点検や修理などを行う。

まずは、船員としてキャリアを積み、必要な資格を取る

- ・船長や機関長になるには三級海技士の資格が必要。水産高校などを経ている人も3年以上の乗船履歴があれば受験できるので、自分の目指す先を見きわめて勉強しよう。
 - 甲板員なら航海士の資格(海技士・航海)を目指して勉強しよう。
 - 機関員なら機関士の資格(海技士・機関)を目指して勉強しよう。

船のリーダーになる

- ・漁船の船団の最高責任者は漁労長。尊敬を込めて大船頭(おおせんどう)とも呼ばれる憧れのポジションだ。船長がその船の運航についてのみ指揮を執るのに対し、漁労長は漁の指揮、船の運航などすべてをとりしきる。最近では船長が漁労長を兼ねることが多い。

沿岸漁業

漁師になる

- ・個人経営の漁師の見習いや養殖業の新人として働く。
- ・定置網、巻き網、底びき網など比較的大きな船の乗組員として働く。

漁師のキャリアを積み、必要な資格を取る

- ・漁法や漁業技術はその土地により異なる。地域の漁業者としてキャリアを積もう。
- ・漁協の組合員になる要件を満たす。
 - 「年間90～120日以上漁業を行った実績」「その土地に定住して漁業を続ける意志がある」「漁協の理事会の承認」などがあるが、地域によって条件が異なるので、よく聞いて確認しよう
- ・必要に応じて船舶免許、漁業無線等を取得する。

独立して、自分の船を持つ

- ・船を持つには資金が必要だ。小さな船でも数百万円はするし、中古船を安く譲り受ける場合でも整備などに費用がかかるので、独立を目指すなら資金を準備しておこう。
- ・地域や漁業の種類によって、必要とされる知事の許可等を取得する。

漁業は大きく分けて3タイプ

日帰りの沿岸漁業

漁場

基本的に日帰りできる場所。「目の前の海で捕る」という、古くからあるもっとも一般的な漁業だ。

操業日数

日帰りだが、早朝に出航して昼頃戻ってくる漁や、夕方出て翌朝帰ってくる漁、あるいは昼間に行う漁など、操業時間帯はさまざま。魚に合わせて働く。

漁法

主な漁法は、定置網/中型巻き網/小型底びき網/養殖/一本釣り/刺し網/採貝・採藻だが、地域によってもさまざまな漁法がある。ほとんどの沿岸漁業者は個人経営で、従業員は家族の場合が多い。1~2名の乗船で外洋に出ないため、船は小さい。日本の漁師の85%が沿岸漁業者。

少し遠出する沖合漁業

漁場

日本近海の沖合いがほとんどだが、範囲は広い。港から数時間程度の近場もあれば、漁によってはロシア水域の一部にまで及ぶ。

操業日数

漁場までの距離や漁法、捕る魚によってかなり幅がある。巻き網漁が1~2日、イカ釣り漁で4~5日。底びき網漁は、日帰り操業もあれば2週間程度の操業もある。

漁法

主な漁法は、大中型巻き網漁/沖合底びき網漁/沖合イカ釣り漁/近海マグロ漁/近海カツオ漁/サンマ棒受網漁。比較的近場で操業する船は、人も食料も多くは積まないの、20~30トンくらい。何十日も外洋の荒波にもまれる船は、120~140トンになる。

地球の裏側まで行く遠洋漁業

漁場

赤道直下の太平洋からインド洋、ニュージーランドやアルゼンチン近海の南太平洋、さらには北大西洋からアフリカ近海まで、まさに世界の海が仕事場。

操業日数

漁場に到着するまで10日~1カ月かかる(船だけ先に行かせて漁師は飛行機で移動することもある)。一度出航すると、短くて1カ月、長ければ1年半は戻ってこない。定期的に近くの港に寄り、休養する。

漁法

主な漁法は、遠洋マグロ漁/遠洋カツオ漁/大型イカ釣り漁。「長い日数をかけても採算の合う魚」ということで、マグロとカツオが2本柱。長い航海で大量の魚を積み込むため、船は非常に大きい。遠洋マグロ船が200~500トン、遠洋カツオ船で400~500トン。

●漁業全般について情報を集める

| 全体的な漁業就業の相談窓口 | 電話番号 | 〒 | 所在地 |
|----------------|----------------|----------|--------------------------------|
| 全国漁業就業確保育成センター | 03 (3585) 6319 | 107-0052 | 東京都港区赤坂1-9-13三會堂ビル8階(社)大日本水産会内 |

●地域の漁業について情報を集める

| 地域 | 都道府県漁業就業確保育成センター | 電話番号 | 〒 | 所在地 |
|-----------------|-----------------------|----------------|-------------------------|--|
| 北海道 | 北海道漁業就業確保育成センター | 011 (271) 5051 | 060-0003 | 札幌市中央区北3条西7丁目 水産ビル(社)北海道水産会内 |
| 東北 | 青森県沿岸漁業就業確保育成センター | 017 (734) 9593 | 030-8570 | 青森市長島1丁目1-1 青森県農林水産部水産振興課内 |
| | 青森県沖合・遠洋漁業就業確保育成センター※ | 0178 (33) 3314 | 031-0822 | 八戸市白銀町三島下95 八戸水産会館3F八戸漁業指導協会 |
| | 岩手県漁業就業確保育成センター | 019 (629) 5817 | 020-8570 | 盛岡市内丸10-1 岩手県林業水産部水産振興課内 |
| | 秋田県漁業就業確保育成センター | 0185 (27) 3003 | 010-0531 | 男鹿市船川港台島宇鶴ノ崎16番地 秋田県水産振興センター内 |
| | 山形県漁業就業確保育成センター | 0234 (24) 6161 | 998-0838 | 酒田市山居町2丁目14-23 山形県庄内総合支庁水産課内 |
| 福島県漁業就業確保育成センター | 024 (521) 7377 | 960-8065 | 福島市杉妻町2-16 福島県農林水産部水産課内 | |
| 関東 | 茨城県漁業就業確保育成センター | 029 (301) 4070 | 310-8555 | 水戸市笠原町978-6 茨城県農林水産部漁政課内 |
| | 千葉県漁業就業確保育成センター | 043 (242) 6811 | 260-0026 | 千葉市中央区千葉港4-3 水産会館千葉県漁業協同組合連合会内 |
| 北陸 | 新潟県漁業就業確保育成センター | 025 (243) 3681 | 950-0078 | 新潟市万代島4-1 新潟県漁業協同組合連合会内 |
| | 富山県漁業就業確保育成センター | 076 (431) 9595 | 930-0096 | 富山市舟橋北町4-19(社)富山県農林水産公社内 |
| | 石川県漁業就業確保育成センター | 076 (234) 8818 | 920-0022 | 金沢市北安江3丁目1-38 石川県漁連内 |
| | 福井県漁業就業確保育成センター | 0776 (24) 1203 | 910-0005 | 福井市大手2丁目8-10 福井県漁業協同組合連合会内 |
| 中部 | 静岡県漁業就業確保育成センター | 054 (221) 2744 | 420-8601 | 静岡市葵区追手町9-6 静岡県農業水産部水産振興室内 |
| | 愛知県漁業就業確保育成センター | 0533 (68) 5196 | 443-0021 | 蒲郡市三谷町若宮97 愛知県水産試験場企画普及室内 |
| | 三重県漁業就業確保育成センター | 059 (259) 0850 | 514-1101 | 津市久居明神町2501-1(財)三重県農林水産支援センター(担い手支援グループ) |
| 近畿 | 和歌山県漁業就業確保育成センター | 073 (441) 3000 | 640-8585 | 和歌山市小松原通1-1 和歌山県農林水産部水産課内 |
| 中国 | 鳥取県漁業就業確保育成センター | 0857 (26) 7313 | 680-8570 | 鳥取市東町1-220 鳥取県農林水産部水産振興局水産課内 |
| | 島根県漁業就業確保育成センター | 0852 (21) 0001 | 690-0007 | 松江市御手船場町575 漁業協同組合JFしまね内 |
| | 山口県漁業就業確保育成センター | 0832 (31) 2212 | 750-0065 | 下関市伊崎町1-4-24 山口県漁業協同組合内 |
| 四国 | 香川県漁業就業確保育成センター | 087 (832) 3472 | 760-8570 | 高松市番町4-1-10 香川県農林水産部水産課内 |
| | 高知県漁業就業確保育成センター | 088 (821) 4828 | 780-0850 | 高知市丸ノ内1-7-52 高知県水産経営指導課内 |
| | 徳島県漁業就業確保育成センター | 088 (621) 2474 | 770-8570 | 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県農林水産部水産課内 |
| 九州 | 福岡県漁業就業確保育成センター | 092 (643) 3560 | 812-8577 | 福岡市博多区東公園7-7 福岡県水産振興課内 |
| | 長崎県漁業就業確保育成センター | 095 (824) 3624 | 850-8570 | 長崎市江戸町2-13 長崎県水産振興課内 |
| | 熊本県漁業就業確保育成センター | 096 (356) 8551 | 860-0053 | 熊本市田崎2丁目5-31 熊本県漁業協同組合連合会内 |
| | 大分県漁業就業確保育成センター | 097 (532) 6611 | 870-0021 | 大分市府内町3-5-7 大分県漁業協同組合内 |
| | 宮崎県漁業就業確保育成センター | 0985 (28) 6111 | 880-0858 | 宮崎市港2-6 宮崎県漁業協同組合連合会内 |
| | 鹿児島県漁業就業確保育成センター | 099 (286) 3426 | 890-8577 | 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県農林水産部水産振興課内 |
| 沖縄 | 沖縄県漁業就業確保育成センター | 098 (866) 2300 | 900-8570 | 那覇市泉崎1-2-2 沖縄県農林水産部水産課内 |

※印は沖合・遠洋についてのみの問い合わせ先。

I・J・Uターニングガイド

このコーナーでは、Iターン、Jターン、Uターンし、地方で企業等への就職、農林漁業への就業、田舎暮らし（定住）を希望する人たちに、関連情報を提供する窓口を都道府県の主な主要都市ごとにまとめていく。

農業・林業・漁業の就業関連情報、地元企業の求人情報の分類に分けて、窓口ごとに提供できる情報に●印をつけている。身近にあるこうした窓口を積極的に活用して、情報を収集しよう。

最近、「自然や生き物が好き」「田舎に住みたい」といった人とともに、「農林水産業にビジネスチャンスを感じる」などという若者が増え、農林水産業が職業の選択肢の一つとして認知されてきた。また、Iターン・Jターン・Uターンして、

地方の企業で働きたいという人も増えてきた。

これらの社会的ニーズに加え、今後は2007年以降『団塊の世代』約700万人の定年を迎えたり、国民の食の安全や環境に対する関心の高まりから、都市から農山漁村への定住を求める田舎暮らしなどの傾向も強まっている。

また、05年3月に国土交通省が行ったアンケートでは、都市住民が都会での就業を続け、生活のかなりの部分を農山漁村で過ごす「二地域居住」という新しいライフスタイルのニーズが年々増加しているという結果も出ている。

地域に定住し就業するということは、同時に農山漁村に住み、暮らすこと。つまり地域社会の一員となり、例えば農業に就けば、農業用水などの利用・管理に

ともなう共同作業をし、定住すれば地域の伝統行事や冠婚葬祭などの習慣にも参加・協力する。隣人と触れ合い、情報交換することで地域社会にとけ込むことが大切になってくる。それは現代の都会人が、過去に置き忘れ、苦手な部分だろう。そのためには、なんでも相談できる人、その地域内に確保することが大事になるし、地元住民とも積極的に付き合うことが重要となる。

今後、多くの人たちがIターン・Jターン・Uターンすることによって、都市住民は「このころの時代」と呼べる多様なライフスタイルを農山漁村で創造することができ、農山漁村側は地域コミュニティ活動や地域文化活動などの新たな担い手を得て活性化していくと思われる。これら双方のニーズをつなげることで新

たな時代にあった社会をつくり上げることができるだろう。



活用しよう!! WEB iju info
WEB版 iju infoは
バックナンバー等お役立ち情報満載!
URL: <http://web-iju.info/>

| 所在地 |
|---|
| 不二ビル8階 (財)都市農山漁村交流活性化機構内 有楽町電気ビル 南館1F |
| 都道府県会館15階 北海道東京事務所内 大阪駅前第1ビル 住友生命八重洲ビル5階 大阪駅前第1ビル9階 青森県大阪事務所内 南海東京ビル1階 いわて銀河プラザ内 大阪駅前第1ビル9階 岩手県大阪事務所内 岩手県庁2階 都道府県会館12階 宮城県東京事務所内 都道府県会館7階 秋田県東京事務所内 大阪駅前第1ビル9階 都道府県会館13階 山形県東京事務所内 大阪駅前第1ビル8階 七十七ビル3階ふるさと暮らし情報センター内 日動八重洲ビル3階 都道府県会館13階 山梨県東京事務所内 大阪駅前第3ビル21階 山梨県大阪事務所内 東京富山会館ビル5階 近畿富山会館3階 都道府県会館14階 石川県東京事務所内 住友生命御堂筋ビル2階 中日ビル4階 石川県名古屋事務所内 ふくい南青山291 2階 |
| 都道府県会館12階 長野県東京事務所内 表参道・新潟館ネスパス2階 県庁労働雇用課内 都道府県会館13階 静岡県東京事務所内 アスト3階 京都テルサ西館3階 神戸クリスタルタワー12階 都道府県会館12階 和歌山県東京事務所内 都道府県会館10階 鳥取県東京事務所内 大阪駅前第3ビル22階 鳥取県大阪事務所内 福島ビル1階 にほんばし島根館内 島根ビル2階 島根県大阪事務所内 ごうぎん広島ビル3階 島根県広島事務所内 都道府県会館10階 岡山県東京事務所内 岡山県産業ビル4階 岡山県大阪事務所内 虎ノ門琴平タワー22階 広島県東京事務所内 大阪駅前第1ビル8階 広島県大阪情報センター内 |
| 日本橋プラザビル1階 おいでませ山口館内 阪神産経桜橋ビル2階 山口県大阪事務所内 都道府県会館14階 徳島県東京事務所内 徳島ビル4階 徳島県大阪事務所内 都道府県会館9階 香川県東京事務所内 大阪駅前第1ビル7階 香川県大阪事務所内 都道府県会館11階 愛媛県東京事務所内 肥後橋センタービル1階 虎ノ門11森ビル8階 センバセントラルビル1階 都道府県会館11階 大阪駅前第1ビル9階 都道府県会館14階 大阪駅前第1ビル8階 |
| 銀座熊本館3階 大阪駅前第3ビル21階 新西銀座ビル8階 大阪駅前第3ビル21階 福岡天神センタービル10階 都道府県会館15階 宮崎県東京事務所内 大阪駅前第1ビル9階 宮崎県大阪事務所内 千代田ビル9階 かごしま遊楽館内 千代田ビル9階 かごしま遊楽館内 大阪駅前第1ビル9階11号 鹿児島県大阪事務所内 大阪駅前第1ビル9階11号 鹿児島県大阪事務所内 博多ビル8階 鹿児島県福岡事務所内 |

●道府県I・J・Uターン就職情報等提供・相談窓口 (注) 農業＝農業就業情報、林業＝林業就業情報、漁業＝漁業就業情報、定住＝定住情報、求人＝地元企業求人情報

| 地域 | 団体名 | 農業 | 林業 | 漁業 | 定住 | 求人 | 電話番号 | |
|------|--------------------------|--------------------------|----|----|----|----|--------------|-------------------|
| 全国 | ふるさとプラザ東京 | 全国のグリーーツーリズム(ふるさと体験)情報提供 | | | | | 03-3548-2310 | 東京都中央区八重洲1-5-3 |
| | ふるさと情報プラザ | 全国の自治体観光パンフレット等の提供 | | | | | 03-3284-0855 | 東京都千代田区有楽町1-7-1 |
| 北海道 | 北海道IJU(移住)情報センター就職相談コーナー | ● | | | ● | ● | 03-5212-9208 | 東京都千代田区平河町2-6-3 |
| 青森県 | 北海道東京事務所大阪支所 | ● | | | ● | ● | 06-6344-4151 | 大阪市北区梅田1-3-1-900 |
| | あおもりキャリアセンター | ● | | | | ● | 03-3271-0700 | 東京都中央区八重洲2-2-1 |
| 岩手県 | 青森県大阪情報センター | ● | | | | ● | 06-6341-2184 | 大阪市北区梅田1-3-1-900 |
| | 岩手県Uターンセンター | ● | | | ● | ● | 03-3524-8284 | 東京都中央区銀座5-15-1 |
| 宮城県 | いわてUターンセンター | ● | | | ● | ● | 06-6341-3258 | 大阪市北区梅田1-3-1-900 |
| | (財)ふるさといわて定住財団 | ● | ● | | ● | ● | 019-653-8976 | 盛岡市内丸10-1 |
| 秋田県 | ふるさと宮城人材ネットワーク東京情報センター | | | | ● | ● | 03-5212-9048 | 東京都千代田区平河町2-6-3 |
| 山形県 | Aターンプラザ秋田 | | | | ● | ● | 03-5251-9115 | 東京都千代田区平河町2-6-3 |
| | 秋田県大阪事務所 | | | | | ● | 06-6341-7897 | 大阪市北区梅田1-3-1-900 |
| 福島県 | 山形県Uターン情報センター | ● | ● | ● | ● | ● | 03-5212-8996 | 東京都千代田区平河町2-6-3 |
| | 山形県大阪事務所 | ● | | | | | 06-6341-6816 | 大阪市北区梅田1-3-1-800 |
| 群馬県 | ふるさと福島就職情報センター | ● | ● | | | ● | 03-3545-6140 | 東京都中央区銀座4-14-11 |
| 山梨県 | ぐんまUターンコーナー | ● | ● | | | ● | 03-3231-4836 | 東京都中央区日本橋3-4-12 |
| | ふるさと山梨就職相談室 | ● | ● | | ● | ● | 03-5213-2890 | 東京都千代田区平河町2-6-3 |
| 富山県 | ふるさと山梨就職情報コーナー | ● | | | | | 06-6344-5961 | 大阪市北区梅田1-1-3 |
| | 富山県東京Uターン情報センター | | | | | ● | 03-3816-1655 | 東京都文京区白山5-1-3 |
| 石川県 | 富山県大阪Uターン情報センター | | | | | ● | 06-6445-2811 | 大阪市西区靱本町1-9-15 |
| | 石川県東京Uターン相談室 | ● | ● | ● | | ● | 03-5212-9016 | 東京都千代田区平河町2-6-3 |
| 福井県 | 石川県大阪Uターン相談室 | ● | ● | ● | | ● | 06-6363-3077 | 大阪市北区西天満4-14-3 |
| | 石川県名古屋Uターン相談室 | | | | | ● | 052-261-6067 | 名古屋市中区栄4-1-1 |
| 長野県 | 東京・福井Uターンセンター | ● | ● | ● | ● | ● | 03-5778-0291 | 東京都港区南青山5-4-41 |
| | 福井県大阪事務所 | ● | ● | ● | ● | ● | 06-6231-1024 | 大阪市中央区瓦町2-2-14 |
| 新潟県 | 東京Iターン相談室 | ● | ● | | ● | ● | 03-5212-9187 | 東京都千代田区平河町2-6-3 |
| 岐阜県 | にいがたUターン情報センター | ● | ● | ● | ● | ● | 03-5771-7713 | 東京都渋谷区神宮前4-11-7 |
| | 岐阜県労働雇用課 | | | | | ● | 058-271-4135 | 岐阜市藪田南2-1-1 |
| 静岡県 | 静岡Uターン就職情報センター | | | | | ● | 03-5212-9035 | 東京都千代田区平河町2-6-3 |
| | おしごと広場みえ | | | | | ● | 059-222-3309 | 津市羽所町700 |
| 京都府 | 京の田舎暮らし・ふるさとセンター | ● | | | ● | | 075-682-1800 | 京都市南区東九条下殿田町70 |
| 和歌山県 | 兵庫県 | ひょうご・しごと情報広場 若者しごと倶楽部 | | | | ● | 078-366-3731 | 神戸市中央区東川崎町1-1-3 |
| | きのくにUターンセンター | ● | ● | ● | ● | ● | 03-5212-9057 | 東京都千代田区平河町2-6-3 |
| 鳥取県 | ふるさと鳥取Uターンコーナー(東京) | | | | ● | ● | 03-5215-5117 | 東京都千代田区平河町2-6-3 |
| | ふるさと鳥取Uターンコーナー(大阪) | ● | ● | | | ● | 06-6455-0233 | 大阪市北区梅田1-1-3-2200 |
| 島根県 | 島根県ふるさと定住・雇用情報コーナー(東京) | | | | ● | ● | 03-3516-6555 | 東京都中央区日本橋室町1-5-3 |
| | 島根県ふるさと定住・雇用情報コーナー(大阪) | | | | ● | ● | 0120-70-2357 | 大阪市北区西天満3-13-18 |
| 岡山県 | 島根県ふるさと定住・雇用情報コーナー(広島) | ● | ● | ● | ● | ● | 082-541-2410 | 広島市中区立町1-23 |
| | ふるさと岡山就職相談コーナー | ● | ● | ● | ● | ● | 03-5212-9081 | 東京都千代田区平河町2-6-3 |
| 広島県 | ふるさと岡山就職相談コーナー | ● | ● | ● | ● | ● | 06-6261-3206 | 大阪市中央区備後町3-2-13 |
| | 東京ふるさと就職情報コーナー | | | | | ● | 03-3580-0851 | 東京都港区虎ノ門1-2-8 |
| 山口県 | 大阪ふるさと就職情報コーナー | | | | | ● | 06-6345-5821 | 大阪市北区梅田1-3-1-800 |
| | ひろしま夢ぶらざ田舎暮らし相談センター | | | | ● | | 082-544-1122 | 広島市中区本通8-28 |
| 徳島県 | ふるさと山口・東京Uターン相談コーナー | ● | ● | ● | ● | ● | 03-3231-1863 | 東京都中央区日本橋2-3-4 |
| | ふるさと山口・大阪Uターン相談コーナー | ● | ● | ● | ● | ● | 06-6341-0755 | 大阪市北区梅田2-4-13 |
| 香川県 | 徳島県Uターンコーナー(東京) | ● | | | | ● | 03-5212-9024 | 東京都千代田区平河町2-6-3 |
| | 徳島県Uターンコーナー(大阪) | ● | ● | | | ● | 06-6251-3273 | 大阪市中央区南船場3-9-10 |
| 愛媛県 | 香川県東京人材Uターン・コーナー | ● | | | | ● | 03-5212-9100 | 東京都千代田区平河町2-6-3 |
| | 香川県大阪人材Uターン・コーナー | ● | | | | ● | 06-6342-4855 | 大阪市北区梅田1-3-1-700 |
| 高知県 | Uターン情報コーナー | | | | | ● | 03-5212-9071 | 東京都千代田区平河町2-6-3 |
| | 愛媛県大阪事務所 | | | | | ● | 06-6441-2829 | 大阪市西区江戸堀1-9-1 |
| 佐賀県 | 高知県東京事務所 | | | | ● | | 03-3501-5541 | 東京都港区虎ノ門2-6-4 |
| | 高知県大阪事務所 | | | | ● | | 06-6244-4351 | 大阪市中央区本町2-6-8 |
| 長崎県 | 佐賀県首都圏営業本部 | ● | | | ● | ● | 03-5212-9073 | 東京都千代田区平河町2-6-3 |
| | 佐賀県大阪事務所 | ● | | | | ● | 06-6344-8031 | 大阪市北区梅田1-3-1-900 |
| 熊本県 | 長崎県東京事務所 | | | | | ● | 03-5212-9025 | 東京都千代田区平河町2-6-3 |
| | 長崎県大阪事務所 | | | | | ● | 06-6341-0012 | 大阪市北区梅田1-3-1-800 |
| 大分県 | 長崎県地域振興部地域政策課 | ● | ● | ● | ● | ● | 095-895-2243 | 長崎市江戸町2-13 |
| | くまもとUターン情報コーナー | ● | | | ● | ● | 03-3572-5022 | 東京都中央区銀座5-3-16 |
| 宮崎県 | 熊本県大阪事務所 | ● | | | ● | ● | 06-6344-3883 | 大阪市北区梅田1-1-3-2100 |
| | 銀座おおいた情報館 Uターンコーナー | ● | ● | ● | ● | ● | 03-6228-8770 | 東京都中央区銀座2-2-2 |
| 鹿児島県 | 大分県大阪事務所 | ● | ● | ● | ● | ● | 06-6345-0071 | 大阪市北区梅田1-1-3-2001 |
| | 大分県福岡事務所 | ● | ● | ● | ● | ● | 092-721-0041 | 福岡市中央区天神2-14-8 |
| 鹿児島県 | ふるさと宮崎就職相談窓口(東京) | ● | ● | ● | ● | ● | 03-5212-9007 | 東京都千代田区平河町2-6-3 |
| | ふるさと宮崎就職相談窓口(大阪) | ● | | | | ● | 06-6345-7631 | 大阪市北区梅田1-3-1-900 |
| | 鹿児島県新規就農東京相談所 | ● | ● | | | ● | 03-3506-9177 | 東京都千代田区有楽町1-6-4 |
| | ふるさと人材相談室(東京) | | | | ● | ● | 03-3506-9177 | 東京都千代田区有楽町1-6-4 |
| | 鹿児島県新規就農大阪相談所 | ● | | | | | 06-6341-5618 | 大阪市北区梅田1-3-1-900 |
| | 鹿児島県ふるさと人材相談室大阪事務所 | | | | ● | ● | 06-6341-5618 | 大阪市北区梅田1-3-1-900 |
| | 鹿児島県新規就農福岡相談所 | ● | | | | | 092-441-2852 | 福岡市博多区博多駅中央街8-36 |

アンテナショップの紹介

ここで紹介しているのは、道府県などが、東京などに開設しているアンテナショップ。

i j u info サポーターと称しているのは、本誌の展示・配布にご協力いただいているからだ。

地元の観光情報や特産品の展示や販売、ふるさとの味を食べさせてくれる飲食店に分類し、そのアンテナショップで提供しているものに●印をつけている。

Ｉターン、Ｊターン、Ｕターンを考えている地域のアンテナショップを訪ね、情報を集めたり、ふるさとの味を楽しもう。

住所

| |
|-----------------------|
| 東京交通会館1階 |
| 北陸銀行ビル1階 |
| ダイヤ八重洲口ビル1階 |
| 青森県会館1階 |
| 南海東京ビルディング1階 |
| 都道府県会館7階 |
| 虎ノ門三井ビル1階 |
| 東池ビル1・2階 |
| 出光ナガホリビル1階 |
| 七十七ビル3階 ふるさと回帰支援センター内 |
| ニュー新橋ビル1階 |
| 都道府県会館11階 栃木県東京事務所内 |
| 日動八重洲ビル3階 |
| 日本橋プラザビル1階 |
| 東京交通会館2階 |
| 東京交通会館地下1階 |
| 東宝ツインタワービル1階 |
| ラピロス六本木2階 |
| 東京交通会館B1階 |
| 福島ビル1階 |
| 日本橋プラザビル1階 |
| 新橋マリンビル1・2階 |
| カネシンビル1階 |
| 新宿サザンテラス内 |
| 千代田ビル1～3・9階 |
| 東京交通会館3階 |



長野県東京観光情報センター

感動体験! さわやか信州へようこそ。長野県東京観光情報センターは、JR有楽町駅前の東京交通会館の2階にあり、県内各市町村発行の観光パンフレット、イベント情報等を取り揃えております。春の訪れを歓喜するように咲く花、高原の涼風に戯れる瑞々しい緑、錦繡を描く燃え立つような紅葉、息をのむ美しさで聳える白銀の山々、といった四季折々の信州の魅力をご用意しています。また、信州の特産品約30品目を販売しております。心からみなさまのお越しをお待ち申し上げます。

- 営業時間 9:30～18:00 ●休日 年末年始
- URL <http://www.pref.nagano.jp/xsoumu/tokyo/>

(財) 沖縄観光コンベンションビューロー東京事務所

ココは「南の島」の案内所です。観光ガイドブック・観光施設・ホテル等の資料を取り揃え、沖縄についてのご質問になんでもお答えします。日本で唯一の亜熱帯の島“沖縄”独特の自然、文化、芸能の島人(しまんちゅ)が笑顔で貴方をお迎えいたします。

- 営業時間 9:00～17:30
- 休日 土・日・祝祭日・年末年始
- URL <http://www.ocvb.or.jp/index.php>

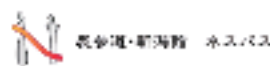
読者プレゼントコーナー

ココにあり!
ふるさとの逸品
新潟県の味の至宝!

表参道・新潟館 ネスパス
「ここは、都会にある新潟です。」

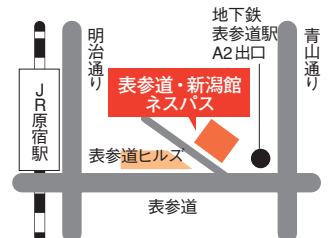


「表参道・新潟館 ネスパス」は、「食」を中心とした県産品の販売や多彩な食の魅力を紹介するイベント、観光情報、Uターン就職情報、生活情報を提供しています。「にいがた」の新鮮情報を首都圏の皆様がいち早くお届けします。今回は、新潟の地酒(720ml)とお味噌のセットを5名様にプレゼントします。ぜひ、新潟の味をご堪能ください。



〒150-0001
東京都渋谷区神宮前4-11-7
物産販売 10:30～19:30
飲食(食楽園) 11:00～23:00
飲食(静香庵) 11:30～22:00
<http://www.nespace.info>

- JR山手線「原宿駅」表参道口より徒歩10分
- 地下鉄千代田線、銀座線、半蔵門線「表参道駅」A2出口より徒歩1分



応募方法: ハガキに、氏名、年齢、郵便番号、住所、電話番号、本誌の感想等をご記入の上、「iju info プレゼント係」(〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-25-5 虎ノ門34MTビル5F 全国農業会議所)までお送りください。締切は12月18日(当日消印有効)。当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

●なお、応募ハガキのなかから、文章を抜粋して読者ページに掲載することがあります。その場合は住所(県名のみ)、氏名、年齢を掲載しますので、あらかじめご了承ください(プレゼント抽選の権利は失いません)。

| 地域 | 団体名 | 観光情報 | 地元産品 展示・販売 | 飲食 | 電話番号 | |
|----------|--------------------------|------|---------------|----|--------------|--------------------|
| 全国 | むらからまちから館 | ● | ● | | 03(5208)1521 | 東京都千代田区有楽町2-10-1 |
| 北海道 | まるごと北海道物産本舗雷門店 | | ● | ● | 03(3842)0510 | 東京都台東区雷門2-12-10 |
| | 北海道フーディスト八重洲店 | | ● | ● | 03(3275)0770 | 東京都中央区八重洲2-2-1 |
| 青森県 | あおもり北彩館東京店 | ● | ● | | 03(3237)8371 | 東京都千代田区富士見2-3-11 |
| 岩手県 | いわて銀河プラザ | ● | ● | | 03(3524)8282 | 東京都中央区銀座5-15-1 |
| 秋田県 | 秋田県東京事務所産業情報課 | ● | ● | | 03(5212)9115 | 東京都千代田区平河町2-6-3 |
| 山形県 | やまがたプラザゆとり都 | ● | ● | ● | 03(3504)8711 | 東京都千代田区霞が関3-8-1 |
| 宮城県 | 宮城ふるさとプラザ「コ・コ・みやぎ」 | ● | ● | ● | 03(5956)3511 | 東京都豊島区東池袋1-2-2 |
| 青森・岩手・秋田 | 青森・岩手・秋田 きた東北発見プラザjengo | ● | ● | ● | 06(6241)7144 | 大阪府大阪市中央区南船場3-4-26 |
| 福島県 | ふくしまふるさと情報センター | ● | ● | | 03(3543)0333 | 東京都中央区銀座4-14-11 |
| | いわき・ら・ら(いわき市東京事務所) | ● | ● | | 03(3592)2247 | 東京都港区新橋2-16-1 |
| 栃木県 | とちぎ企業・観光誘致センター | ● | 展示のみ | | 03(5212)8715 | 東京都千代田区平河町2-6-3 |
| 群馬県 | 群馬観光物産プラザ | ● | ● | | 03(3231)4836 | 東京都中央区日本橋3-4-12 |
| 山梨県 | 富士の国やまなし館 | ● | ● | | 03(3241)3776 | 東京都中央区日本橋2-3-4 |
| 福井県 | ふくい南青山291 | ● | ● | | 03(5778)0291 | 東京都港区南青山5-4-41 |
| 長野県 | 長野県東京観光情報センター | ● | ● | | 03(3214)5651 | 東京都千代田区有楽町2-10-1 |
| 新潟県 | 表参道・新潟館ネスパス | ● | ● | ● | 03(5771)7711 | 東京都渋谷区神宮前4-11-7 |
| 富山県 | いさいき富山館 | ● | ● | | 03(3231)5032 | 東京都千代田区有楽町2-10-1 |
| 石川県 | 加賀・能登・金沢江戸本店 | ● | ● | | 03(3500)3883 | 東京都千代田区有楽町1-5-2 |
| 岐阜県 | オリベスタイル | ● | ● | ● | 03(5771)5223 | 東京都港区六本木6-1-24 |
| 和歌山県 | わかやま喜集館 | ● | ● | | 03(3216)8000 | 東京都千代田区有楽町2-10-1 |
| 島根県 | にほんばし島根館 | ● | ● | | 03(5201)3310 | 東京都中央区日本橋室町1-5-3 |
| 山口県 | おいでませ山口館 | ● | ● | | 03(3231)1863 | 東京都中央区日本橋2-3-4 |
| 香川・愛媛県 | 香川・愛媛せとうち旬彩館 | ● | ● | ● | 03(3574)2028 | 東京都港区新橋2-19-10 |
| 高知県 | コウチ・マーケット | ● | ● | | 03(5565)1295 | 東京都中央区築地4-10-5 |
| 熊本県 | 熊本県東京事務所 銀座熊本館 | ● | ● | | 03(3572)5022 | 東京都中央区銀座5-3-16 |
| 宮崎県 | 新宿みやざき館「KONNE」 | ● | ● | ● | 03(5333)7764 | 東京都渋谷区代々木2-2-1 |
| 鹿児島県 | かごしま遊楽館 | ● | ● | ● | 03(3506)9177 | 東京都千代田区有楽町1-6-4 |
| 沖縄県 | (財)沖縄観光コンベンションビューロー東京事務所 | ● | ● | | 03(5220)5311 | 東京都千代田区有楽町2-10-1 |



北海道フーディスト八重洲店

ゆったりとお買い物いただける広い店内。素材、味、安全にこだわった、本物の北海道の味をおよそ1000品目取り揃えています。また、イートインコーナーでは、ランチやスイーツの他、お酒とおつまみも取り揃えており、お気軽にお楽しみいただけます。ぜひ、一度お立ち寄りください。

- 営業時間 10:00~20:00
- 休日 年末年始
- URL <http://www.foodist.co.jp>

越前・若狭の特撰館「ふくい南青山291」

注目のホットスポット表参道からすぐ行ける「ふくい南青山291」は、まさに福井のセレクトショップ。おしゃれな街にふさわしい外観と落ち着いた店内が自慢です。高感度な人たちが集う南青山の地域特性を活かし、福井の本物、確かさを発信しています。全国2位の長寿県を支える健康食材や伝統工芸品、越前の漆器・焼物・和紙などを展示・販売。ゆっくりとお買い物を楽しんでいただけます。また、観光や福井県へのUターンを始め、福井で暮らす情報をご紹介しますので、お気軽にお立ち寄りください。

- 営業時間 11:00~19:00 ●休日 無休(但し、年末年始は除く)
- URL <http://www.ma291.jp>

オリベスタイル

岐阜県のアンテナショップ『オリベスタイル』は、地場産品(食品、工芸品、木工家具、生活雑貨)を消費者へ「ライフスタイル提案型」でまとめた新しい形のアンテナショップです。岐阜県の衣食住に関わる「現代の匠やクラフトマン」がコラボレーションし、時代に対応した商品を提案しています。飛騨春慶、美濃焼、美濃和紙等の伝統的工芸品や、「飛騨・美濃すぐれもの」認定の加工食品、地酒をはじめ、飛騨家具も展示して皆様のお越しをお待ちしております。

- 営業時間 10:00~19:00
- 休日 無休(但し、臨時休業有)
- URL <http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s21101/ippin/ippin.html>

かごしま遊楽館

1階の物産販売コーナーではさつまいも加工品をはじめ、「かるかん」、「げたんは」などの郷土菓子や本格焼酎、黒酢、きびなご、黒牛、黒豚など鹿児島を代表する「うまいもん」が勢揃い! 2階レストランでは、本場のかごしま黒豚のしゃぶしゃぶをオリジナルのそばつゆで食べられます。また、3階工芸品コーナーでは薩摩切子や大島袖、薩摩焼、屋久杉製品等、鹿児島県の匠の技を展示・販売しています。皆様のお越しをお待ちしております。

- 営業時間 [1] 特産物販売コーナー/10:00~20:00 [2] 観光案内コーナー/10:00~19:00 [3] レストラン/11:00~22:30 [4] 工芸品展示・販売コーナー/10:00~18:00 ●休日 [1] [3] [4]/年末年始 [2]/土・日・祝日・年末年始
- URL <http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/kanko-tokusan/yurakukan/index.html>



次号予告 2008 春号(2008年1月下旬発行)

特集記事

四国地方の IJU ライフ

発行人/谷脇修
 編集人/砂田嘉彦
 プランニング/池田辰雄・富永章・中園良行・阿久津正・石井葉子・植田智己
 ・碓氷晴之・黒谷伸・白川智一・堀部篤・山村勝廣
 取材協力/大浦佳代・神山安雄・佐藤亮子・三好かやの
 発行/全国農業会議所
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-25-5 虎ノ門34MTビル
 協力/都道府県農業会議
 印刷・編集協力/株式会社丸井工文社
 デザイン/有限会社アイランドコレクション
 本誌に関するお問い合わせ TEL. 03 (5251) 3907
 iju info は全国農業会議所の登録商標です。© iju info

送付のご案内 (無料)



「iju info」は季刊誌(年4回発行)です。
 1月末、4月末、7月末、10月末に発行いたします。
 本誌は、お申し込み頂いた方に無料で送付いたします。
 送付を希望される方は、本誌の WEB サイトからお申し込みください。
 URL <http://web-iju.info/>
 携帯 <http://web-iju.info/i/>
 また、FAX もしくは郵送でのお申し込みも受け付けています。
 郵便番号、住所、氏名、電話番号をご記入のうえ、下記まで送付ください。
 ご登録頂いた個人情報は、「iju info」の送付以外には使用いたしません。
 また、個人情報保護法に基づき、発行所である全国農業会議所が定める個人
 情報保護規程により適正に運用いたします。

【iju info】に関するお問い合わせ
 全国農業会議所 iju info メディアチーム
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-25-5 虎ノ門34MTビル
 TEL. 03 (5251) 3907 FAX. 03 (5156) 0363

本誌は全国農業会議所もしくは全国新規就農相談センターに情報提供に関する登録をいただいた方に送付しております。

※全国農業会議所とは?

全国農業会議所は、市町村に設置されている農業委員会、都道府県の農業
 会議と併せて構成される農業委員会系統組織のナショナルセンターです。3
 段階とも「農業委員会等に関する法律」で定められた組織で、公職選挙法を
 準用した農業者の代表である農業委員を基礎として構成されています。
 3段階の組織を通じて、農業者や地域の声を結集し、農地・構造・経営対
 策を積極的に推進することで、農業・農村の発展と農業者の経営確立、さら
 に社会・経済の発展をめざしています。
 農業委員会系統組織は1987年度から農業内外からの新規就農希望者の相
 談活動に取り組んできました。
 その就農相談の窓口として、農林水産省の支援を受け、全国農業会議所内
 に全国新規就農相談センター、都道府県農業会議内に都道府県新規就農相談
 センター(都道府県青年農業者等育成センターと共同窓口)を設置しています。



from Editor

近所付き合い

「新規就農して経営がうまくいっている人は、地域の人との付き合いもうまくいっている」

北海道の酪農ヘルパー組織のリーダーで、就農に深くかかわる酪農経営者から聞いた言葉だ。

「地域の一員になることが大切」

Iターンし、農業や林業、漁業に新たに就業した人から共通して聞かれる言葉だ。

「会社の人間関係が嫌になったから、田舎で暮らそう」「一人で気ままにやりたい」と考えても、とくに問題はない。

しかし、農林漁業を職業とするには、地域での付き合いや人間関係なくしてはうまくいかない部分がある。独立し

て業を起こすなら、なおさらだ。

なぜ、「近所(地域)付き合い」と「経営」の関係がリンクするのか。

大雑把に言えば、それは「職場⇄地域」に近い状況があるからだ。

地域の人との付き合いを深め、その一員として地域にとけ込み、人的なネットワークをつくっていく。そうすると自然に、また結果的に、Iターンした人がつまづかないよう地域の人たちが応援してくれるようになる。それがおおまかな構図だ。そう考えると、これは個人経営者に求められる資質と言え換えることができるだろう。

農業を例に挙げると、経営に必要な情報が集まったり、この人にならと農地を預けてくれたりする。機械が故障したり、病害虫による被害や自然災害など、緊急事態が発生した際に手助けをしてくれたりすることも。一人なら、失敗し、痛手を負うところを、回避できたという事例もよく聞くことだ。

田舎は相互扶助的な社会が息づいていて、「社会にいかされている」ということが、都会よりはっきり感じられる場所だ。

ポジティブな面ばかり挙げすぎた。

一方で、新たに加わった側にも、同じ職業に就く人として、また同じ地域に暮らす人として、一定の役割を求められるなど、人間関係が濃い。そうしたことに起因するネガティブな部分もある。

◆ ◆ ◆
 親戚縁者もない場所で業を起こすとなれば、業を問わず、地域の人たちとの良好な関係づくりは欠かせない。

熊本で農業を始めた経営者は、都会からきた若い就農希望者に、村で暮らす心得を簡単な言葉で伝える。「道を歩いている人がいれば誰にでもあいさつすること」「会合に呼ばれば必ず顔を出すこと」と。周囲は、移り住んだ人の姿を注目している。【編集部】

全国農業

NATIONAL
AGRICULTURAL
NEWS

新聞

週刊 金曜日発行
月600円、年7,200円
(消費税込)

■購読の申込みは市町村農業委員会へお気軽に連絡ください。

■発行所
全国農業会議所
〒105-0001
東京都港区虎ノ門1-25-5
虎ノ門34MTビル
電話 03-5251-3910
ホームページ
<http://www.nca.or.jp/shinbun>

この国の
農と食を
伝えます。

全国農業新聞は農業者の
公的代表機関である
農業委員会系統組織が発行する
週刊の農業総合専門紙です。

農業者の視点でお届けします

- 1 特徴のある週刊新聞> 解説に力点をおいたニュース報道と企画編集
- 2 時代に鋭く斬り込む> 農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに
- 3 経営に役立つ> 経営者マインドと実務情報
- 4 喜びや悩みを共感できる> 読者の心に訴える
- 5 深みと味がある> 単なる情報で終わらない
- 6 読みやすく親しみやすい> 老若男女が楽しく読める



農業を通して独立することができました。



空気のきれいな場所に暮らすようになって、
家族が健康になりました。



夫婦で協力して作物を作る達成感は、
他の職業では味わえません。



夢・いのち・チカラ。
育むのは、



自然のなかで土いじりをしていると、心が安らぎます。



自然が相手の農業にはマニュアルがない。
だから毎日がおもしろい。



就農してはじめての出荷。
今でも忘れられない感動の出来事です。



農業を仕事にするための総合イベント

新・農業人フェア7

入場無料

入退場自由

服装自由

履歴書不要

家族・友人連れ歓迎

農業法人等合同会社説明会

農業法人等への就職希望者のために、従業員を募集している農業法人等経営者と面談できるブースを設置します。

新規就農相談会

都道府県ごとのブース、受け入れ希望市町村ごとのブースなどを設置し、農業を始めるための個別相談に応じます。

職業紹介・派遣登録

農業法人等への就職希望者のために、求人情報を提供します。また、派遣社員として働きたい方の登録を行います。

農業インターンシップ

農業法人で就業体験を希望する人(学生・社会人)のためのブースを設置し、相談に応じます。

田舎の農地利用相談会

田舎に所有する農地の利用方法など農地に関する様々な相談に応じます。

チャレンジ!ファームスクール

合宿形式による農作業実習の概要について説明します。

新規就農セミナー

農業法人への就職、新規に農業を始めるためのガイダンス、新規就農者、農業法人就職者による事例発表などを行います。

2007年度開催情報

開催時間 10:30>16:00

※札幌会場のみ17:00まで開催しております。

| | | | |
|----|-----------|-----------|------------------|
| 東京 | 池袋サンシャイン | 展示ホールA2・3 | 2007年 6月 9日(土) |
| | 池袋サンシャイン | 展示ホールA2・3 | 2007年 9月 15日(土) |
| | 東京しごとセンター | | 2007年 11月 17日(土) |
| | 池袋サンシャイン | 展示ホールA2・3 | 2008年 3月 15日(土) |
| 札幌 | ロイトン札幌 | ロイトンホール | 2008年 2月 16日(土) |
| 大阪 | 梅田スカイビル | アウラホール | 2007年 5月 26日(土) |
| | OMM | 展示ホールA・B | 2007年 12月 22日(土) |
| | 梅田スカイビル | アウラホール | 2008年 2月 24日(日) |

お問い合わせ: 全国新規就農相談センター

TEL.03-3507-3088

<http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>

主催: 全国農業会議所・全国新規就農相談センター・(社)日本農業法人協会・研修農場ネットワーク
後援: 農林水産省・厚生労働省

田舎暮らしフェア 同時開催

10:30>16:00

※札幌会場のみ17:00まで開催しております。

セカンドライフとして田舎暮らしを希望する方のために、相談会やセミナーを開催します。

東京

池袋サンシャイン
'07 9/15 (土)

池袋サンシャイン
'08 3/15 (土)

札幌

ロイトン札幌
'08 2/16 (土)

大阪

OMMビル
'07 12/22 (土)

梅田スカイビル
'08 2/24 (日)

※会場・ホールは「新・農業人フェア」と同様です。